

第二章 資料編

動物救護センターの設立と収容動物

C · O · N · T · E · N · T · S

神戸市動物管理センター	69
動物救護センターの運営・管理関係資料	71
動物の一時保管契約書	72
動物の一時保管契約の一部変更契約書	73
所有権放棄届	74
逸走の家畜（犬、ねこ等）の取得届についての上申書	75
保護している遺失物法上の「逸走の家畜」 と思われる犬、ねこ等一覧表	76
誓約書（飼い主引取り）	77
誓約書（里親）	78
救護保護台帳	79
診療記録簿	80
診療報告書	81
動物移動記録	82
収容相談台帳	83
神戸動物救護センター日計表（1）	84
神戸動物救護センター日計表（2）	85
被災動物保護収容頭数報告書	86
業務日誌	87
動物収容施設（室内）音湿度記録簿	88
神戸および三田動物救護センターにおける 収容動物の健康カルテ	89
収容被災犬および猫の加療日数	90
収容被災犬および猫の性別比率	91
異常が認めれた収容犬および猫の部位別頭数	92
収容被災犬および猫の年齢別頭数	93
異常が認められるまでの日数	94
収容被災犬および猫の入院加療日数	95
一時預り・里親へのアンケート調査 （兵庫県南部地震動物救援本部）	96
譲渡動物の行動と里親の対応調査 （社団法人 日本愛玩動物協会）	147

神戸市動物管理センター

▶ テーマ

- 人と動物が調和し共生できる社会
- 法律に基づく動物愛護の施設
(動物の保護及び管理に関する法律・条例)

▶ 事業内容

- 動物愛護と適正飼育の啓発
- 狂犬病予防
- 飼えなくなった犬・猫の引取り
- 負傷動物の収容と救急治療
- 人畜共通感染症の調査・研究
- 動物の収容・保管・返還



▶ 施設の概要

- | | | |
|--------|--------------------|---------------|
| ● 竣工年月 | ・ 焼却棟 | 昭和57年 4 月 |
| | ・ 管理棟・収容棟 | 昭和58年 3 月 |
| | ・ 負傷動物棟 | 平成 7 年 9 月23日 |
| ● 敷地面積 | | 4, 898㎡ |
| ● 建物面積 | ・ 管理棟 (R, C, 平屋) | 239㎡ |
| | ・ 収容棟 (R, C, 二階建て) | 602㎡ |
| | ・ 焼却棟 | 238㎡ |
| ● 総工費 | | 約3億 2 千万円 |

▶ 主要設備等

◆ 収容・保管

- 犬収容室：自動給餌器、自動給水装置、強制換気装置、床面洗浄装置
- 負傷動物舎：エアコン

▶ 治療・検査

- 治療室 (負傷動物の救急処置)
- 検査室 (人畜共通感染症の研究等)

▶ 焼却関連

- 3 次焼却階段式炉
(能力：167kg/h)



▶ 指導・教育

- 会議室 (飼い方教室)：飼い方指導用ビデオ
- 相談室 (電話による相談コーナー)：貸出用動物図書、獣医学専門書

動物救護センターの運営・管理関係資料

動物の種類	犬・ねこ・その他()
年齢	性別 雄・雌 体色
特記事項(其の他登録番号)	

神ノNo
三ノNo
動物台帳No

動物の一時保管契約書

兵庫県南部地震動物救援本部（以下「甲」という。）と_____（以下「乙」という。）とは、次のとおり動物の一時保管契約を締結する。

- 第1条 乙は兵庫県南部地震の発生により被災し、一時的に飼育が困難となった自らが所有する動物の一時保管を甲に委託するものとし、甲はこれを受託するものとする。
- 第2条 契約期間は、契約締結日から1カ月間（平成 年 月 日）とする。
- 2 乙が次条第1項の努力を行ったにも拘わらず、引き続き甲が保管依頼せざるを得なくなったときは、乙の申し出により、甲、乙協議の上、契約満了日から1カ月を越えない範囲内で契約期間を延長することができるものとする。
- 3 契約期間の延長を行うこととなったときは、この契約満了日から1週間以内に甲と乙との間で動物の一時保管契約の一部変更契約を締結するものとする。ただし、乙がやむを得ない理由により1週間以内に契約締結ができない旨の申し出があったときは、その期間を延長することができるものとする。
- 第3条 乙は、甲に保管を委託している間に、自ら飼育ができる状態にするか、知人等に保管依頼を行うよう努めるものとする。
- 2 乙は、契約期間中に、自ら飼育できる状態になったとき又は知人等に保管依頼を行えるようになったときは、速やかにその旨を甲に連絡し、当該動物を引き取るものとする。
- 3 乙は、契約期間中に、当該動物の所有権を放棄することとなったとき、又は放棄することが予測されることとなったときは、速やかにその旨を甲に連絡し、甲に対して所有権放棄書を提出するものとする。
- 第4条 契約期間が満了後、乙は1週間以内に動物を引き取らなければならないものとする。ただし、乙がやむを得ない理由により1週間以内に引き取りができない旨の申し出があったときは、甲、乙協議の上、その期間を延長することができるものとする。
- 第5条 契約期間が満了後、乙が前条の手続きをとることなく1カ月が経過したときは、乙が動物の所有権放棄を行ったものとみなし、甲は、当該動物を新たな所有者等に譲渡できるものとする。この場合、乙は、甲が行った行為に対して異議を申し出ないものとする。
- 第6条 保管に関する経費は、甲の負担とするが、保管動物が犬の場合は、狂犬病予防法に基づく登録申請料及び狂犬病予防注射に関する手数料は、乙の負担とする。
- 第7条 甲は、自ら動物の保管を行うものとするが、保管施設の状態等により、自ら保管が困難な場合は、善意で保管を申し出た者（以下「一時里親」という。）に動物の保管依頼を行うことができるものとする。
- 第8条 甲及び一時里親は、契約期間中、保管委託を受けた動物に関して適正な保管を行うものとするが、やむを得ない事情により、当該動物が死亡、逃亡又は負傷したとしてもその責は負わないものとし、乙は損害賠償等を求めないものとする。
- 第9条 契約締結後の動物の保管施設への搬入及び契約満了後の動物の引き取りについては、乙が行うものとする。
- 2 一時里親への動物の搬入、契約満了後の動物の引き取り等に係る細目については、甲、乙の協議により決定するものとする。

この契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を所持する。

平成 年 月 日

甲 兵庫県南部地震動物救援本部 本部長 鷲尾 勝彦 ⑤

乙 住 所

()

氏 名 _____ ⑥

動物の種類	犬・ねこ・その他（ ）
年齢	性別 雄・雌 体色
特記事項(犬の場合登録番号)	

押-No
二-No
動物台帳No

動物の一時保管契約の一部変更契約書

平成 年 月 日、甲（兵庫県南部地震動物救援本部）と乙（ ）との間に締結した動物の一時保管契約の一部を次のとおり変更する契約を締結する。

第2条第1項「契約期間は、契約締結日から1カ月間（平成 年 月 日）とする。」を「契約期間は、契約締結日から平成 年 月 日までとする。」に改める。

第2条第2項及び第3項を削る。

この契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を所持する。

平成 年 月 日

甲 兵庫県南部地震動物救援本部
本部長 鷲尾 勝彦 印

乙 住所(住民票の住所) _____

_____ (印)

[現住所] _____

_____ (印)

氏名 _____ 印

入所 年 月 日
 取扱 A B D

種-No
三-No
台帳番号No

所有権放棄届

平成 年 月 日

兵庫県南部地震動物救援本部長 様

届出者 住 所 (〒)
 (☎)
 氏 名 (印)

下記の動物の所有権を放棄し、無条件・無償にて貴本部に譲渡いたします。

この動物の取り扱いについては、すべて貴本部にお任せし、いかなることにとも今後一切の要求をしないことを申し添えます。

記

犬 種類 (雑種) 名前 () 年齢 (歳・若・中・老)
 毛色 (茶・白・黒・薄茶・斑・ページュ)
 性別 (♂・♀・手術済・未手術)
 特記事項 ()

猫 種類 (日本猫) 名前 () 年齢 (歳・若・中・老)
 毛色 (トラ・キジ・ソウキン・クロ・シロ・三毛)
 性別 (♂・♀・手術済・未手術)
 特記事項 ()

その他 種類 () 性別 (♂・♀・不明)

()種ワクチン接種(未接種 接種(月 日))不妊手術(月 日)(未実施)
 フィラリア(未処置 投薬日(月 日))

狂犬病予防注射実施日(月 日)狂犬病予防法登録番号()

平成 年 月 日

警察署長 様

届出者 住 所 神戸市中央区中山手通7丁目28-33県立産業会館内
(☎078-362-5583~4)
組織名 兵庫県南部地震動物救援本部
氏 名 本部長 鷲尾 勝彦 様

逸走の家畜（犬、ねこ等）の取得届についての上申書

私は、動物愛護の精神をもって、犬・ねこ等の愛玩動物の保護を目的とするボランティア団体「兵庫県南部地震動物救援本部」の代表者ですが、この度の兵庫県南部地震の発生により、所有者が不明になるなど、遺失物法上の逸走の家畜になったと思われる犬、ねこ等を保護（拾得）し、

- 1 神戸動物救護センター（神戸北署管内）
- 2 三田動物救護センター（三田署管内）

の2カ所で飼養しながら、順次本来の所有者に返還してきました。

しかし、震災後1カ月が経過した現在でも

神戸動物救護センターで犬 頭、ねこ 匹、その他の動物 匹、

三田動物救護センターで犬 頭、ねこ 匹、その他の動物 匹、

の所有者が判明せず、また法律上の扱いも不安定ですので、遺失物法に基づき拾得届を別表のとおり提出致します。

なお、届出以後も当神戸又は三田動物救護センターにおいて責任をもって飼養し、所有者から返還願いがあった場合は、飼養（保護）に要した経費等一切の請求することなく返還いたします。

〔別表〕

平成 年 月 日

組 織 名 兵庫県南部地震動物救援本部

保護場所 動物救護センター

保護している遺失物法上の「逸走の家畜」と思われる犬、ねこ等一覧表

区 分	番 号	種 別	性 別	色	推定年齢 (体 重)	首 輪 等 の 特 徴	保護日時	保護場所	備 考
犬	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	計								
ね こ	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	計								
その 他の 動物	1								
	2								
	計								

上記の届出事項のすべてを確認したことを証明します。

平成 年 月 日

所 属 _____

氏 名 _____ (印)

入所 年 月 日

取扱 A B D

台帳番号 _____

誓約書 (飼い主引取り)

兵庫県南部地震動物救援本部

神戸動物救護センター 御中

平成 年 月 日

住所 _____ TEL _____

氏名 _____ ③

私は、下記の動物を兵庫県南部地震動物救援本部・神戸動物救護センターより引取り、再び家族の一員として迎え、担当獣医師の不妊手術や治療等に関する指示に従い、生涯永く飼育することを約束します。

しかし、やむをえず飼育が困難な場合は、貴センターまたは担当者に返還いたします。

記 _____

犬

種類 (雑種 _____) 名前 (_____) 年齢 (_____ 歳・若・中・老)

毛色 (茶・白・黒・薄茶・斑・ベージュ _____)

性別 (♂・♀・手術済・未手術)

特記事項 (_____)

猫

種類 (日本猫 _____) 名前 (_____) 年齢 (_____ 歳・若・中・老)

毛色 (トラ・キジ・ゾウキン・クロ・シロ・三毛 _____)

性別 (♂・♀・手術済・未手術)

特記事項 (_____)

その他

種類 (_____) 性別 (♂・♀・不明)

※1) 放し飼いをしない。2) _____ 月に不妊手術を受ける。3) _____ 月中に狂犬病予防注射と登録を受ける。

(_____) 種ワクチン接種 (未接種 接種 (_____ 月 _____ 日)) 不妊手術 (_____ 月 _____ 日)

フィラリア (未処置 投薬日 (_____ 月 _____ 日))

※不妊手術済証と狂犬病予防注射済証の写しを下記まで郵送してください。

651-11

神戸市北区山田町下谷上中一里山 神戸市動物管理センター内
神戸動物救護センター迄

狂犬病予防注射実施日 (_____ 月 _____ 日) 狂犬病予防法登録番号 (_____)

登録料 ¥ _____ 注射料 ¥ _____

入所 年 月 日
 取扱 A B D

台帳番号 _____

誓約書(里親)

兵庫県南部地震動物救援本部
 神戸動物救護センター 御中

平成 年 月 日

住所 _____ TEL _____

氏名 _____ ㊟

私は、下記の動物を兵庫県南部地震動物救援本部・神戸動物救護センターより譲り受け、家族の一員として迎え、飼育方法や不妊手術等に関して担当者の指示に従い、生涯永く飼育することを約束します。

しかし、やむをえず飼育が困難な場合は、貴センターまたは担当者に返還します。

また、貴センター又は担当者が返還を要求したときは速やかに返還すると共に、一切の経費の請求はいたしません。

記

犬

種類(雑種) 名前() 年齢() 歳・若・中・老
 毛色(茶・白・黒・薄茶・斑・ベージュ)
 性別(♂・♀・手術済・未手術)
 特記事項()

猫

種類(日本猫) 名前() 年齢() 歳・若・中・老
 毛色(トラ・キジ・ゾウキン・クロ・シロ・三毛)
 性別(♂・♀・手術済・未手術)
 特記事項()

その他

種類() 性別(♂・♀・不明)

※1) 放し飼いをしない。 2) 月に不妊手術を受ける。 3) 月中に狂犬病予防注射と登録を受ける。

() 種ワクチン接種(未接種 接種(月 日)) 不妊手術(月 日)
 フィラリア(未処置 投薬日(月 日))

※不妊手術済証と狂犬病予防注射済証の写しを下記まで郵送してください。

651-11

神戸市北区山田町下谷七中一里山 神戸市動物管理センター内
 神戸動物救護センター迄

狂犬病予防注射実施日(月 日) 狂犬病予防法登録番号()

登録料 ¥ _____ 注射料 ¥ _____

救護保護台帳（犬・猫・その他〔 〕）台帳番号 _____

依頼種類 A迷子 B一時預かり C里親 D放棄 依頼年月日 ____年 ____月 ____日

依頼の条件

A迷子（捨得者権利放棄〔有・無（一時預かり期間 ____月 ____日まで 引取り予定日 ____月 ____日）〕）			
B一時預かり予定期間	日間	依頼種類変更	月 ____日 ____（ ____ ⇒ ____ ）

依頼者が必ず記入すること 飼い主との続柄（ _____ ）

依頼者氏名	電 話	（ _____ ）
罹災時住所	現住所	

BCD飼主

飼主氏名	電 話	（ _____ ）
罹災時住所	現住所	
____ 依頼病院及び ____ 主治医（住所 _____ 市 病院名 _____ 電話 _____ ）		

収容時の状況

種類	性別	雄 雌	体格	毛色	年齢	（ _____ ）歳 仔若中老				
登録済み	無有(色)	呼び名	鑑札住所番号	生番	住番号	咬癖	有無			
食事の習慣	ワクチン接種			不妊手術の有無		有 無				
不妊手術の希望	手術希望依頼口			月 ____日						

収容時の外傷及び疾病

外傷及び疾病	有 無	治療処置	有 無							
外傷及び疾病名	治療処置の概要									

収容後のワクチン接種 不妊手術 収容後は赤ボールペンで記入

狂犬病予防注射	月 ____日	ジステンパー等	月 ____日	
不妊手術実施日	月 ____日	不妊手術実施者		

結 果

ア	保護継続			
イ	死亡	年 ____月 ____日		
ウ	入院（ _____ ）	その他（ _____ ）		
エ	飼い主へ			
オ	返還	返還月日	月 ____日	
番号	飼主氏名	住所	電話	
カ	里親	里親月日	月 ____日	
番号	里親氏名	住所	電話	

写真

罹災証明書の確認
 身分証明書の確認

動物救護センター
診療記録簿

(No.)

年度 ()

畜舎 主理 又は は	氏名		連絡先					
	住所		電話		() 番			
種別	犬・猫・	種類	年齢	年	月	性別		
動物の名称		毛色		初診	平成	年	月	日
大・中・小型	体重	kg	特徴	転帰	平成	年	月	日
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								

診 療 報 告 書

(診療終了後、救護センターに届けて下さい) 平成_____年_____月_____日

担当獣医師氏名_____

本口、以下の診療・処置を行いましたので報告致します。(No. /)

台帳番号	動物種	病名又は主症状	措置結果	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終
No.	犬・猫		ワ・初・中・終	No.	犬・猫	ワ・初・中・終

*注 処置結果：ワ…ワクチン接種、初…初診 中…治療継続中または経過観察中のもので特に症状に変化の認められたもの 終…翌日以降治療を要しないもの、該当するものに○をつけて下さい。また、ワクチン接種・初診については翌日以降診察、治療を必要とするものは「中」に、必要の無いものには「終」にも○をつけておいて下さい。

病名・主症状：簡単に分かりやすく記述して下さい。同一の症状で治療中、経過観察中のものは口付、台帳番号のみ記入して下さい。

動物病院への入退院について（本日の入退院）

台帳番号	入院先病院名	病院へ入院・病院から返還	入院目的
No.		入院・返還	
No.		入院・返還	
No.		入院・返還	
No.		入院・返還	

動物移動記録

No : _____ 台帳No : _____ 不妊手術No : _____
 動物名 : _____ 入所 : _____年 _____月 _____日 取り扱い : A・B・C
 種類 : 犬・猫 _____ 性別 : ♂ ♀ _____ 年齢 : _____
 出所日時 : _____年 _____月 _____日 a.m. p.m. _____ : _____
 獣医氏名 : _____ 印 _____ 印 _____
 病院名 : _____ TEL : _____
 移動理由 : 不妊手術・去勢手術・手術実施日 _____年 _____月 _____日
 治療 (主な病名又は主症状を記録) _____

 帰所日時 : _____年 _____月 _____日 a.m. p.m. _____ : _____
 入院治療報告 通算No : _____
 入院期間 : _____年 _____月 _____日から _____年 _____月 _____日まで
 診断名 : _____
 検査内容 : 血液検査・X線検査・ECG・エコー _____
 治療内容 : 内科療法 : 軽度の外科療法・軽度の外科処置・手術・他 _____

 転帰, 情報 : 治癒・軽快・要抜糸・要加療・要観察・ _____
 _____ 病院へ転院 (TEL _____)
 死亡 (年月日主な原因, 病名又は主症状を記録) _____

収容相談台帳

受付月日	月 日	月 日	月 日
	氏名 住所 市 区 電話	氏名 住所 市 区 電話	氏名 住所 市 区 電話
動物の種類	犬・猫・その他	犬・猫・その他	犬・猫・その他
承認・不承認	承認・不承認	承認・不承認	承認・不承認
予定期間	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
緊急性	なし 普通 あり	なし 普通 あり	なし 普通 あり
ワクチン	有(年 月)・無	有(年 月)・無	有(年 月)・無
フケリア予防	有・無	有・無	有・無
不妊手術	有・無	有・無	有・無
性格	人に	良	良
		否	否
	動物に	良	良
		否	否
その他疾病			

神戸動物救護センター日計表(1)

年 月 日

		犬	猫	その他	計	延べ頭数
イ.	開所以来の延べ収容頭数					
ウ.	前日現在の収容頭数					
新 し た く 動 収 容 物	A 所有権不明動物					
	B 一時預かり動物					
	C 所有者放棄動物					
	D 出戻り動物					
	1. 計(A+B+C+D)					
移 っ た で 入 数	E. 病院⇒センター					
	F. 三田⇒センター					
	G. ⇒センター					
	2. 計(E+F+G)					
出 た て 動 い っ 物	H. 所有者不明動物					
	I. 一時預かり動物					
	J. 所有者放棄動物					
	3. 計(H+I+J)					
移 た 動 で 出 数	K. センター⇒病院					
	L. センター⇒三田					
	M. センター⇒					
	4. 計(K+L+M)					
開所以来の延べ収容頭数(イ+1)						
今日現在収容頭数(ロ+1+2-3-4)						

神戸動物救護センター日計表(2)

年 月 日

場 所 別 取 容 頭 数	犬	猫	犬	猫	その他	計	延べ頭数
	A棟	①					
	B棟	②					
	C棟	③					
	D	④					
	E						
	F 病院入院						
	G その他						
計(A+B+C+D+E-F+G)							
治 療 頭 数	H 初 診						
	I ワクチン接種						
	J 継続治療						
	K 病院移動治療						
計(H+I+J+K)							
不妊手術実施頭数		雄					
		雌					
ボ ラ ン テ ィ ア 関 係	日帰り		宿 泊 者 人 数			計	延べ人数
	人 数		本日帰り	連泊人数	新入人数		
	1.	市獣会員					
	2.	福祉協会					
	3.	獣医師					
	4.	獣医学生					
	5.	A H T					
	6.	トリマー					
7.	一般						
合計(1+2+3+4+5+6+7)							

被災動物保護収容頭数報告書

(月 前期・後期)

保護・収容動物の区分		犬	猫	その他	合計
飼 上 不 明 動 物	収容頭数				
	里親成立頭数				
	飼主判明後返還頭数				
	他施設へ移管頭数				
	収容後死亡頭数				
	病院で入院治療中の頭数				
	その他				
	現在収容頭数				
	収容頭数				
	里親成立頭数				
一 時 預 り 動 物	飼主へ返還頭数				
	他施設へ移管頭数				
	預かり中死亡頭数				
	病院で入院治療中の頭数				
	その他				
	現在収容頭数				
里 親 希 望 動 物	収容頭数				
	里親成立頭数				
	飼主引き取り返還頭数				
	他施設へ移管頭数				
	預かり中死亡頭数				
	病院で入院治療中の頭数				
そ の 他 動 物	その他				
	現在収容頭数				
合 計 頭 数	現在数				
	累計				
診 療 頭 数 (延頭数)	現在数				
	累計				
備	考				

報告 年 月 日

業 務 日 誌

□付 年 月 □

来所者名及び用件
電話受付の内容と対応
来書文書の内容と対応
その他

出 勤																				
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

センター長	獣医師会	福祉協会	

動物収容施設（室内）温度湿度記録簿

神戸動物救護センター

() 月) AM10:00

PM2:00

温度

湿度

温度

湿度

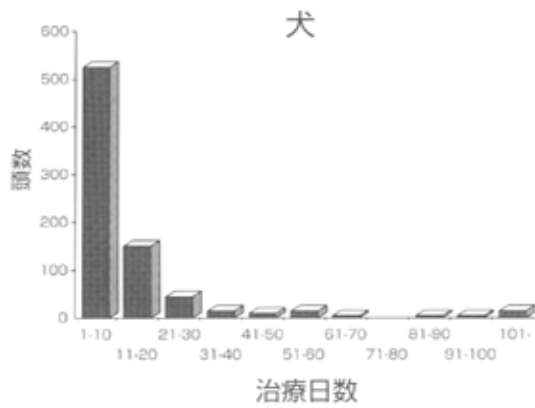
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				

神戸および三田動物救護センター における収容動物の健康カルテ

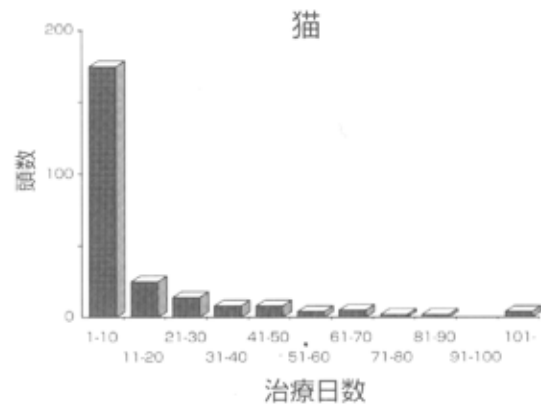
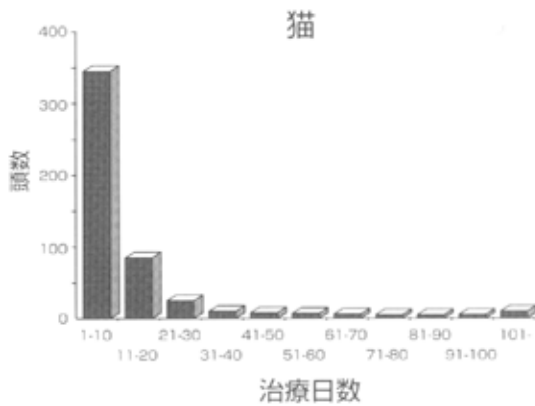
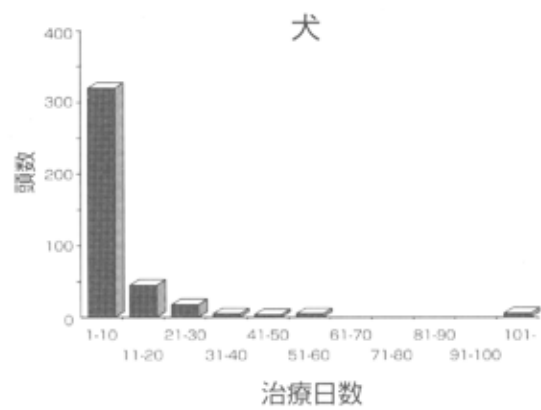
・収容被災犬および猫の加療日数	90
・収容被災犬および猫の性別比率	91
・異常が認められた収容犬および猫の部位別頭数	92
・収容被災犬および猫の年齢別頭数	93
・異常が認められるまでの日数	94
・収容被災犬および猫の入院加療日数	95

収容被災犬および猫の加療日数

神戸動物救護センター

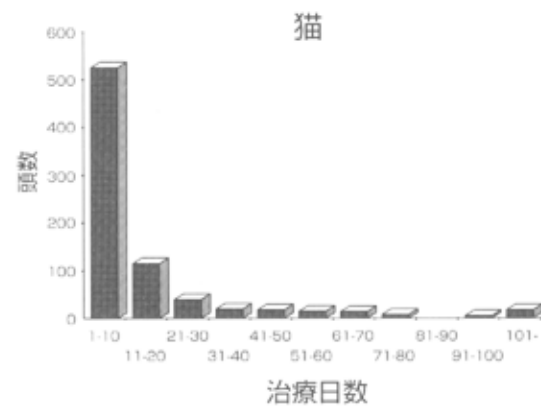
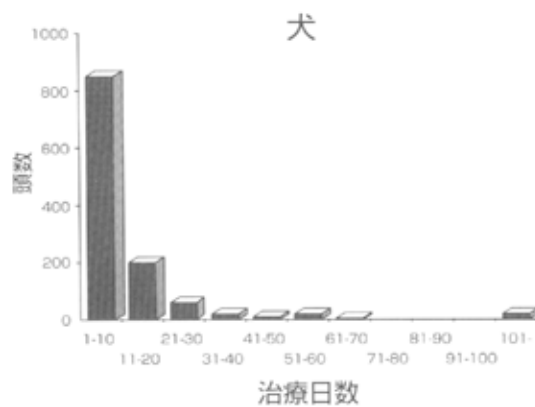


三田動物救護センター



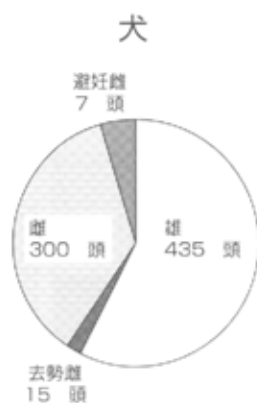
集計データ

(神戸と三田動物救護センターのデータを合わせたもの、以下同じ)

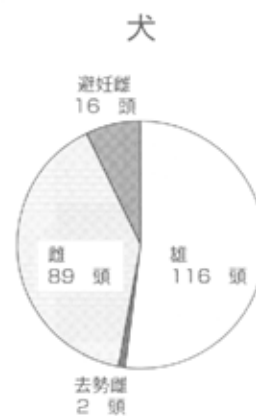


収容被災犬および猫の性別比率

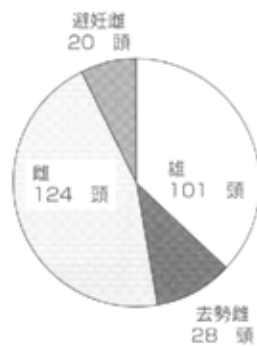
神戸動物救護センター



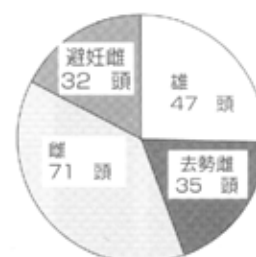
三田動物救護センター



猫

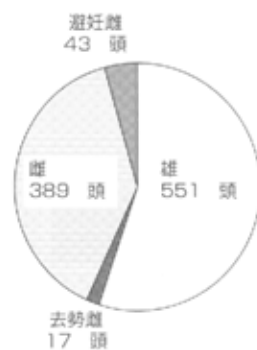


猫

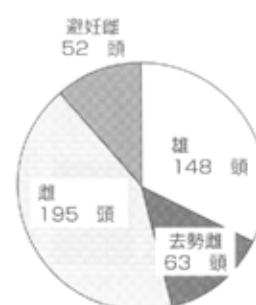


集計データ

犬



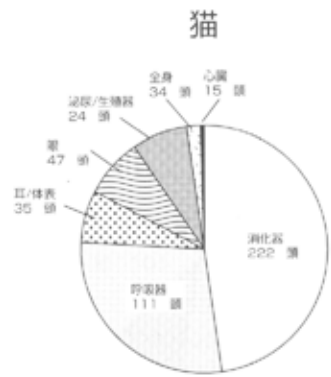
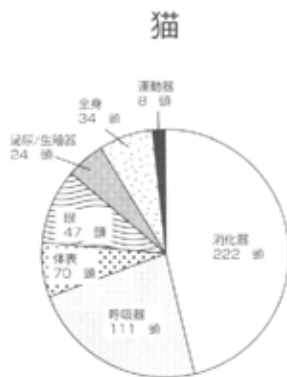
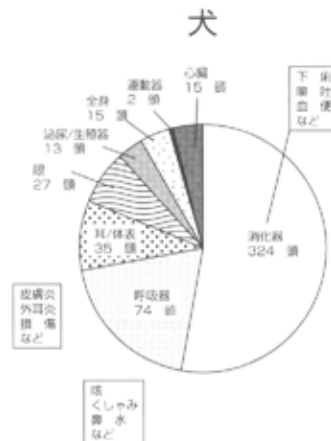
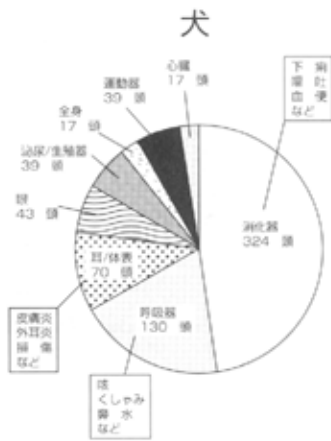
猫



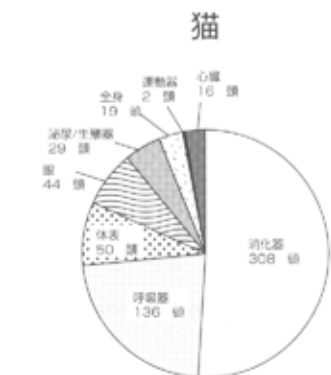
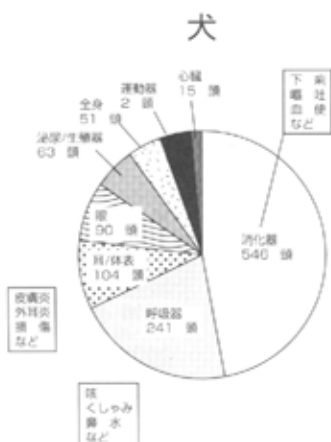
異常が認められた収容犬および猫の部位別頭数

神戸動物救護センター

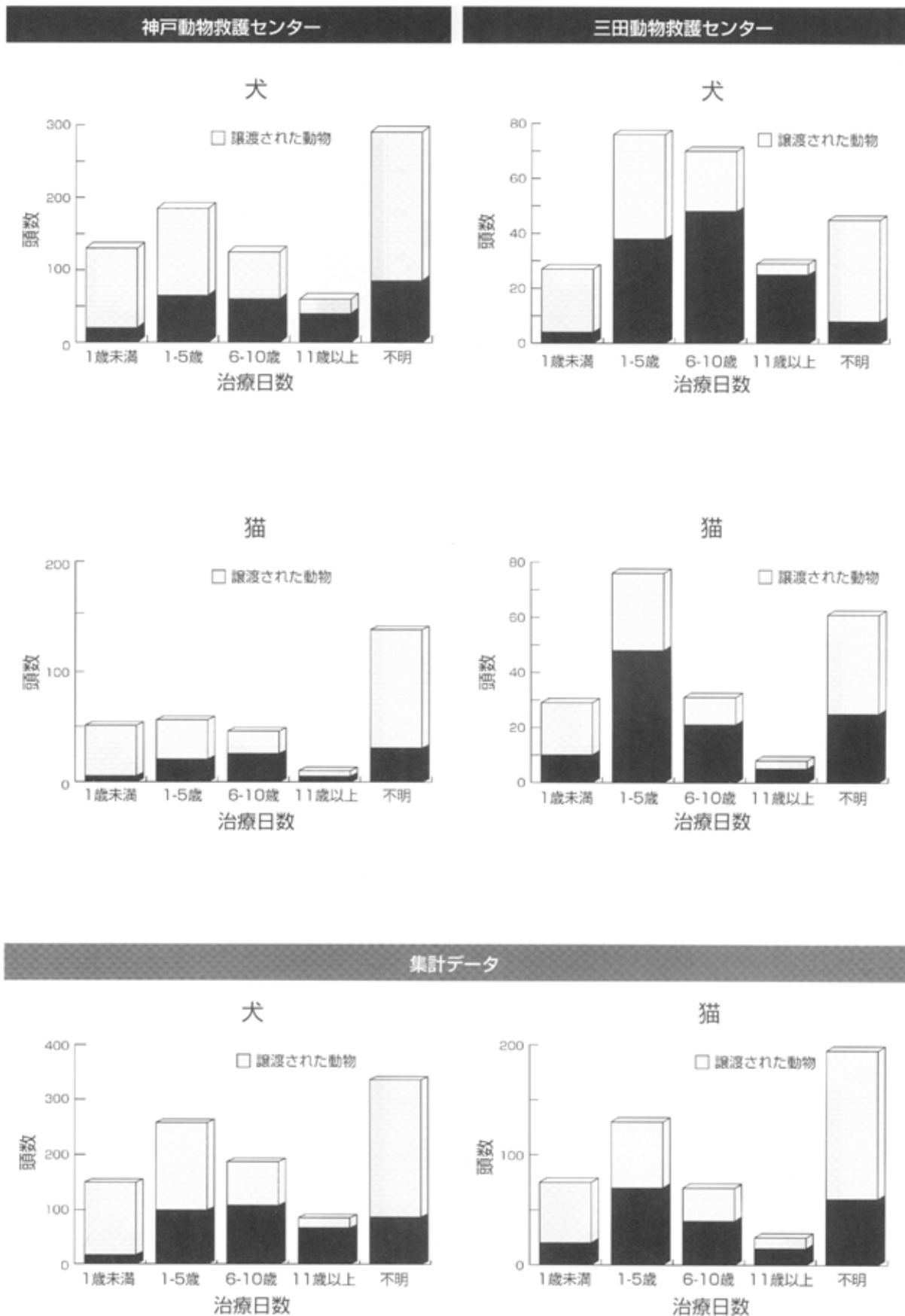
三田動物救護センター



集計データ

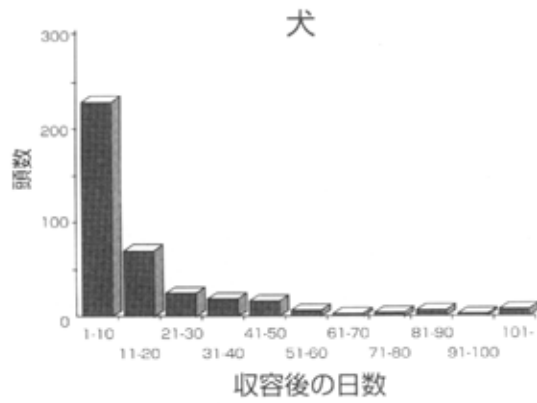


収容被災犬および猫の年齢別頭数

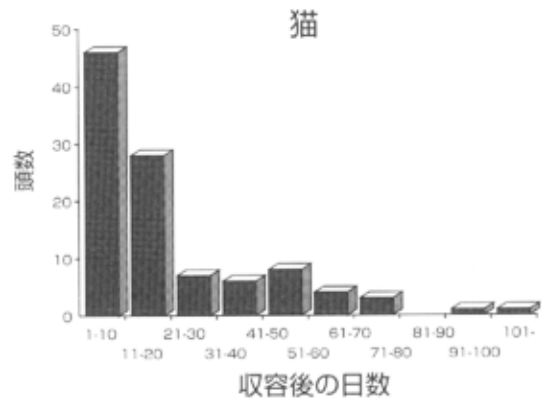
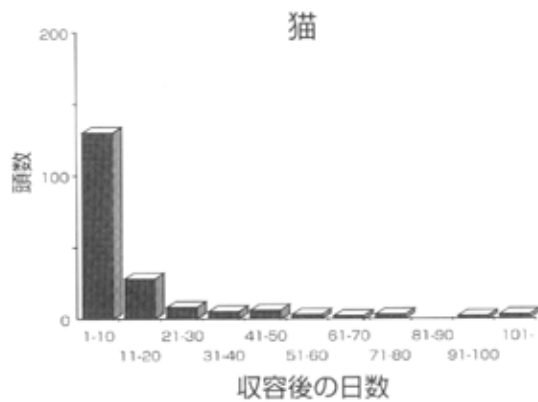
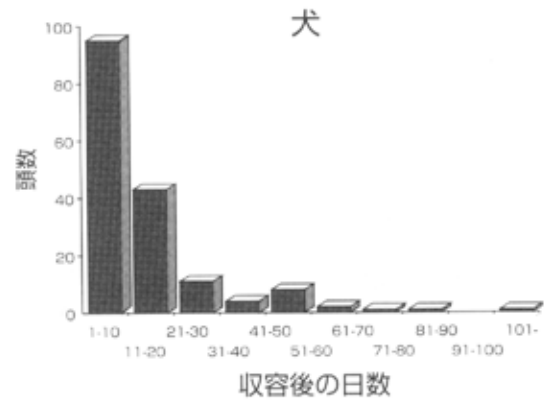


異常が認められるまでの日数

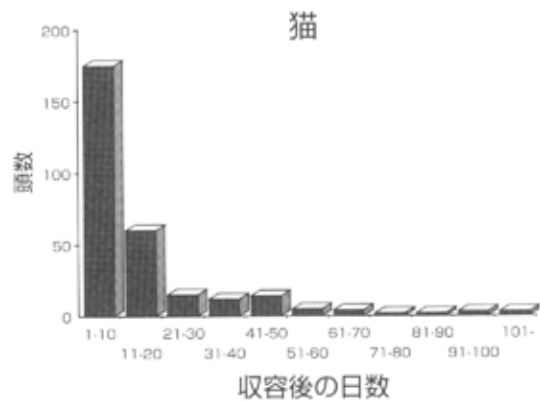
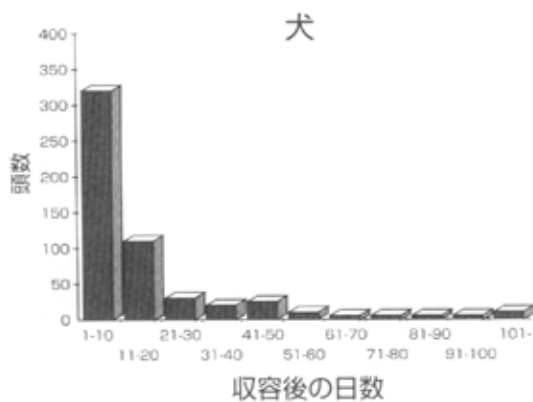
神戸動物救護センター



三田動物救護センター

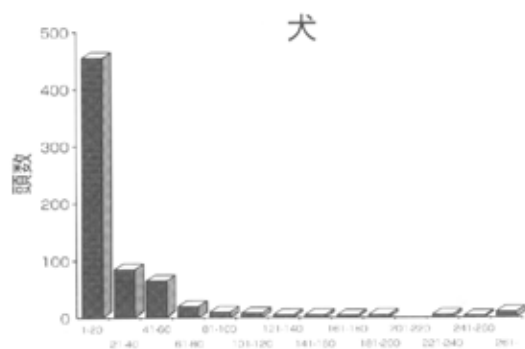


集計データ



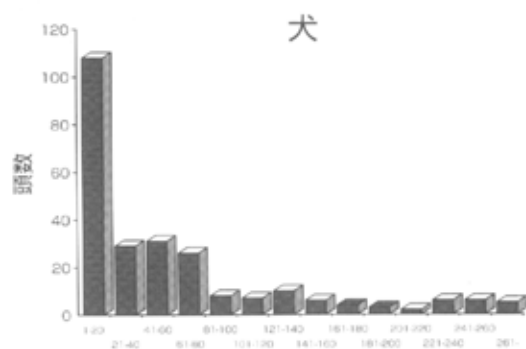
収容被災犬および猫の入院加療日数

神戸動物救護センター

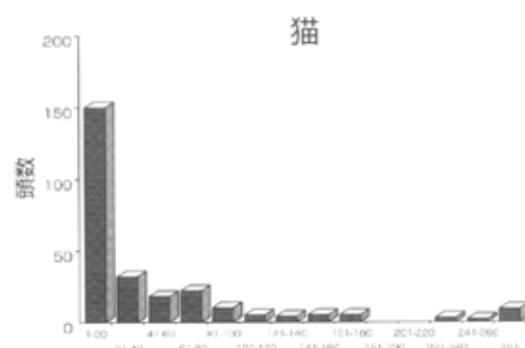


病院収容日数

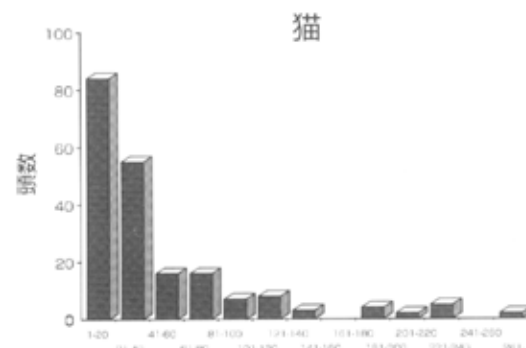
三田動物救護センター



病院収容日数

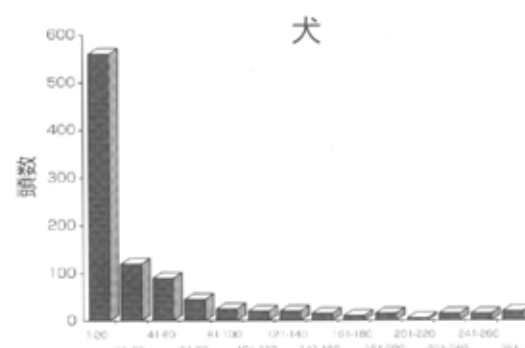


病院収容日数

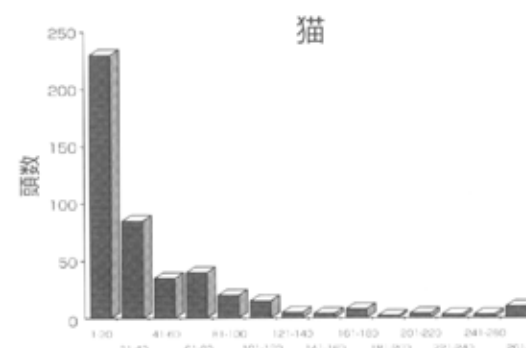


病院収容日数

集計データ



病院収容日数



病院収容日数

一時預かり・里親へのアンケート調査

- 目次

被災動物の里親調査票	98
調査の結果(グラフ)	102
里親へのアンケート結果(コメント)	121
一時預けた人へのアンケート結果 (コメント)	143

兵庫県南部地震動物救援本部

被災動物の里親調査票

※この調査票は、当該目的意外には使用いたしません。したがって、調査関係者以外に内容がもれることはありませんので、ありのままをお答え下さい。

※設問への回答はできるかぎり、実際に世話し、イヌおよびネコの様子や状況に詳しい方がお答えください。

※調査票は譲渡一頭につき一枚です。複数の動物を譲り受けた方は、調査票も複数お使い下さい。

お名前(里親)	年齢	性別	住所 TEL ()
	歳	男、女	
家族構成	飼育環境		飼育形態
	(一戸建て、集合住宅)		(室内、屋外、自由)
当センターから引き取った動物の種類			
(イヌ、ネコ) (オス、メス) 年齢(約 才) その他(具体的に)			
今回引き取った動物以外に動物はいますか			
イヌ： オス 匹 ネコ：オス 匹 メス 匹 メス 匹			

設問1 当センターの被災動物動物をどのようなお気持ちで引き取ろうと思われましたか。(MA)

(あてはまる選択肢の番号を○で囲んで下さい。○は2つまで)

1. 何となく
2. 何とかしなくては
3. 動物が好きだから
4. かわいそうだから
5. 子供にせがまれて
6. 純血種が欲しかったから
7. その他(できるだけ具体的にお気持ちをお書き下さい)

()

設問2 引き取られた動物を選んだ理由は何ですか。(MA)

1. 何となく
2. 目が合ったから
3. 好きな動物種だから
4. 飼いやすそうだったから
5. かわいそうにみえたから
6. 純血種だったから
7. その他(できるだけ具体的にお気持ちをお書き下さい)

()

設問3 狂犬病予防法にもとづく登録の有無についておたずねします。

(あてはまる選択肢を選び、()付きのものは必要な事柄をご記入下さい)

1. 既に登録済みを引き取った
2. 自己登録をした(平成 年 月 日、登録番号)
3. まだ登録していない(理由)

設問4 不妊手術の有無について、おたずねします。

(あてはまる選択肢を選び()付きのものは必要な事柄をご記入下さい)

1. 既に手術済みを引き取った
2. 自己負担で手術した(平成 年 月 日)
3. まだ手術させていない(理由)

設問5 引き取った動物の現状はどうですか。

(あてはまる選択肢で()付きのものは、該当する項目にも○をつけて下さい。

1. 健康でいる
2. いなくなった
3. 病気である ((a)治療中, (b)未受診, (c)受診したが、都合により未治療
(d)治療を要しない経過観察中

※(c)の場合、できればその理由 ()

設問5-1 <前問で2と答えた方へ>その理由と時期についてお答えください(SQ)

[理由について]

1. 逃げた
2. 死亡した
3. 譲渡した

[時期について]

平成 年 月 日頃

設問5-2 <前問で譲渡したと答えた方へ>よろしかったら譲渡先を教えてください。(SQ)

譲渡先のお名前

住所

TEL

設問6 引き取った動物の状況やご感想について、下記の事柄にお答え下さい。

(1) 引き取られた動物はよくなりましたか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

感想(具体的に)：

(2) 飼う上で何か問題がありましたか。

1. とくになかった 2. あった 3. わからない

問題点(具体的に)：

(3) 今回引き取られた動物は、ご家庭にとって、辛いでしたか。

1. はい 2. いいえ 3. そうとはいえない 4. わからない

感想(具体的に)：

(4) 今回、動物の譲渡について何かご苦勞をかけたか。

1. 苦勞した 2. 苦勞しなかった 3. わからない

感想(具体的に)：

設問7 当動物センターを何でお知りになりましたか。(MA)

(あてはまる回答の番号をすべて○で囲んで下さい)

1. テレビ 2. 新聞 3. 雑誌 4. 口伝え
5. 団体(具体的に)
6. その他(具体的に)

設問8 もし当動物救護センターがなかったら、どうされましたか。

1. 里親にならなかったと思う
2. 他の施設を探してでも、被災動物の里親になったと思う
3. わからない

設問9 このたびの震災に限らず、日常的に飼育できなくなった動物も含めた成犬・成猫の譲渡に関する制度や、今後もこのような災害時等に際し、動物救護センターのような施設の設置について、すべての動物飼育者にお考えいただきたい問題ですので、おたずねします。

(1) 今後も(震災以外でも)成犬・成猫のための施設の運営を望みますか。

1. 望む(理由)
2. 望まない(理由)
3. わからない

(2) 成犬・成猫の譲渡を望みますか。

1. 望む（理由 _____ ）
2. 望まない（理由 _____ ）
3. わからない

(3) 成犬・成猫の譲渡が有料である場合はどうですか。

1. 有料であっても望む
2. 無料が原則であってほしい
3. わからない

(4) もし有料だとすると、どのような項目を有料にしてもよいと思いますか。

（あてはまる項目の番号にすべて○をつけて下さい。）

1. ワクチン接種料
2. 不妊手数料
3. 犬登録料
4. 保管料
5. その他（具体的に _____ ）

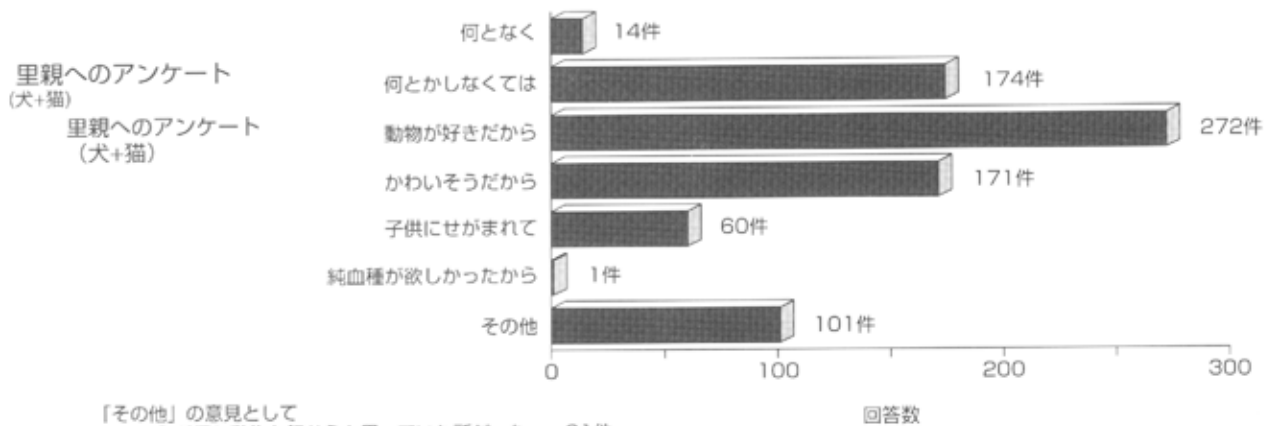
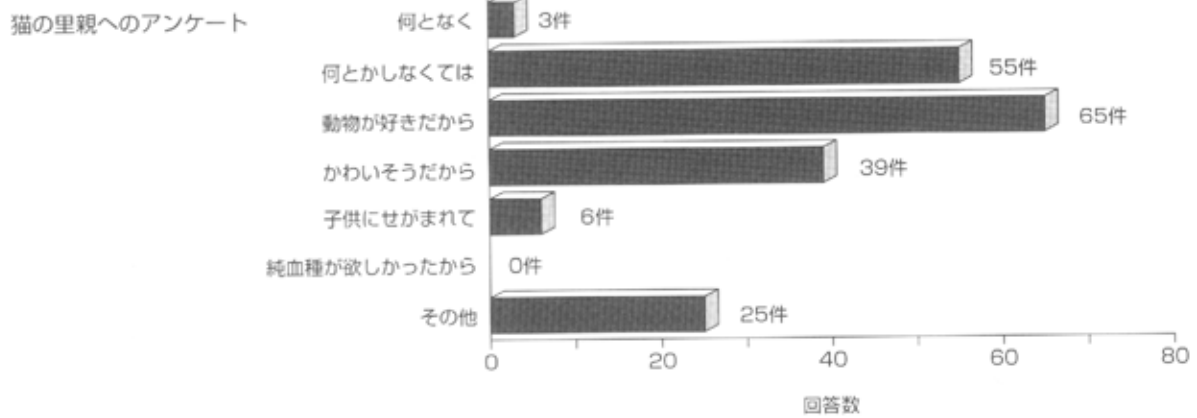
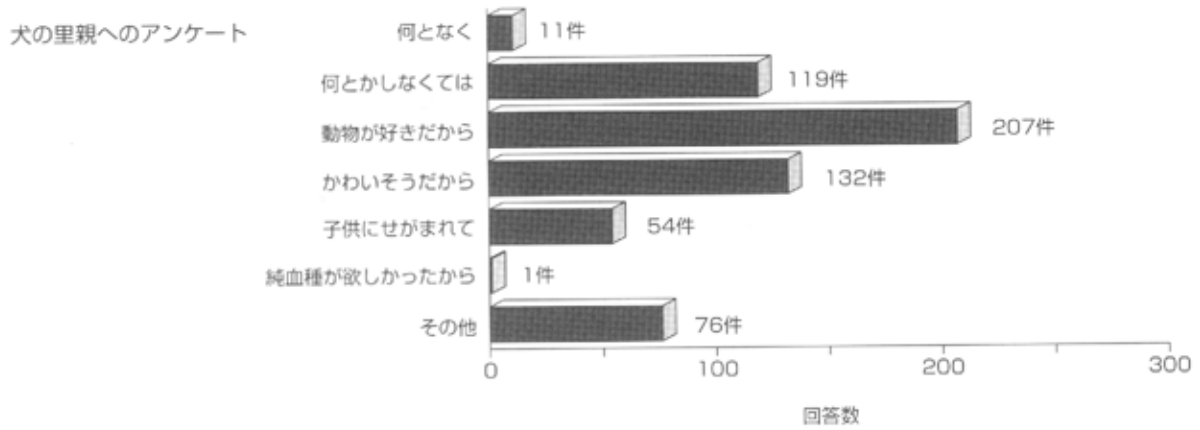
(5) もし有料だとすると、どれくらい負担してもよいと思いますか。

最低 _____ 円 最高 _____ 円

(6) 一日の保管料としては、どれくらいなら負担してもよいと思いますか。

最低 _____ 円 最高 _____ 円

設問1 被災動物をどのようなお気持ちで引き取ろうと思われましたか

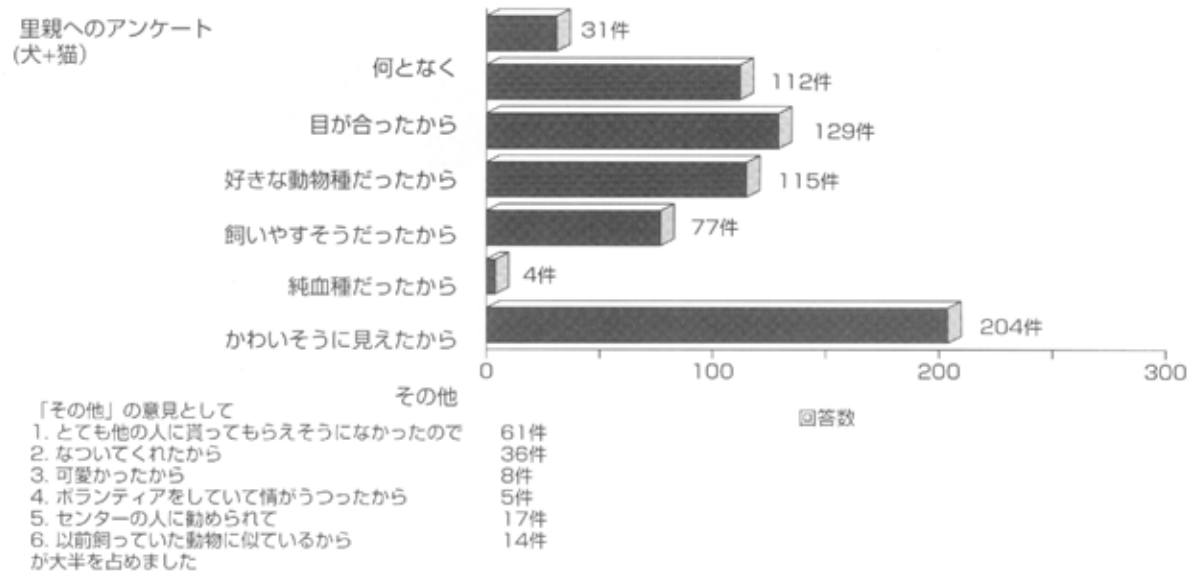
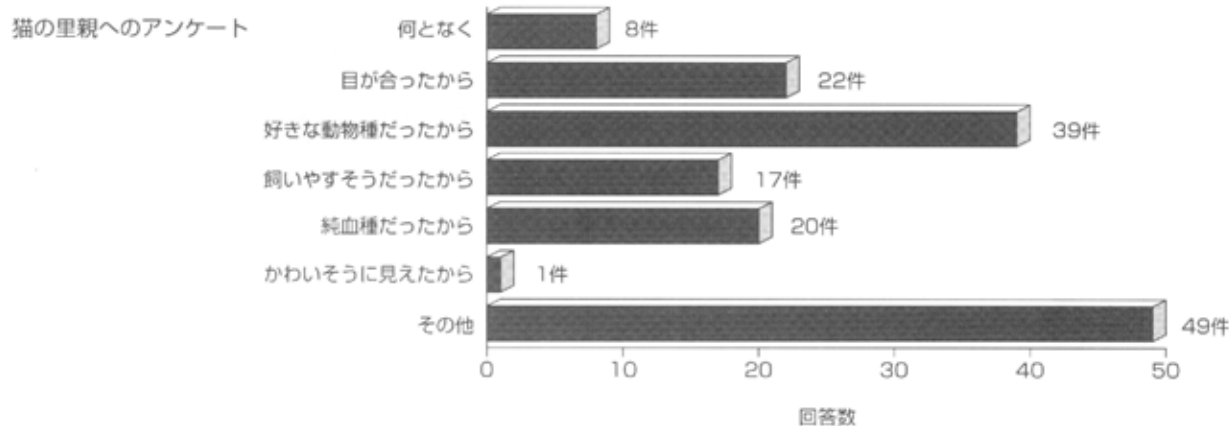
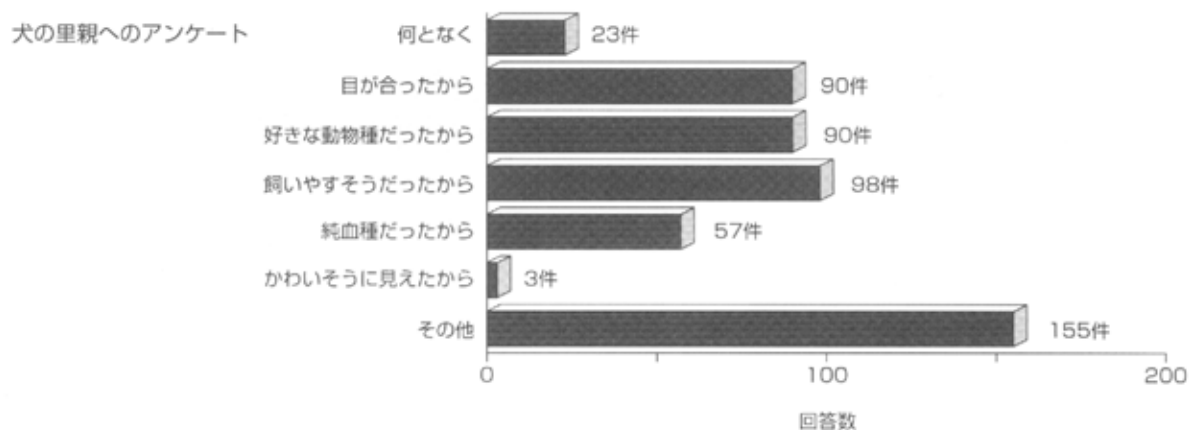


「その他」の意見として

1. ちょうど何か動物を飼おうと思っていた所だった
2. ボランティアの一貫として
3. とても他の人に買ってもらえそうになかったため
4. ボランティア活動をしていて情がうつたが大半を占めました

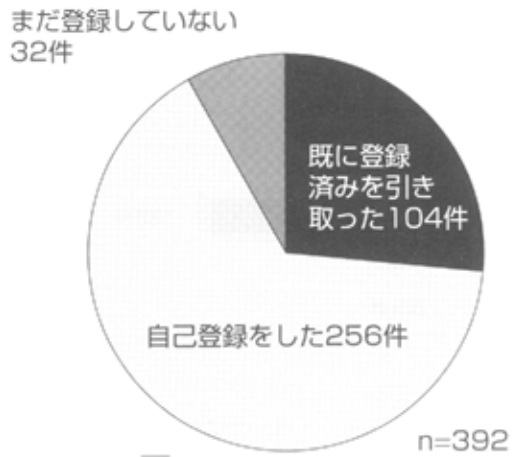
61件
36件
8件
5件

設問2 引き取られた動物を選んだ理由は何ですか

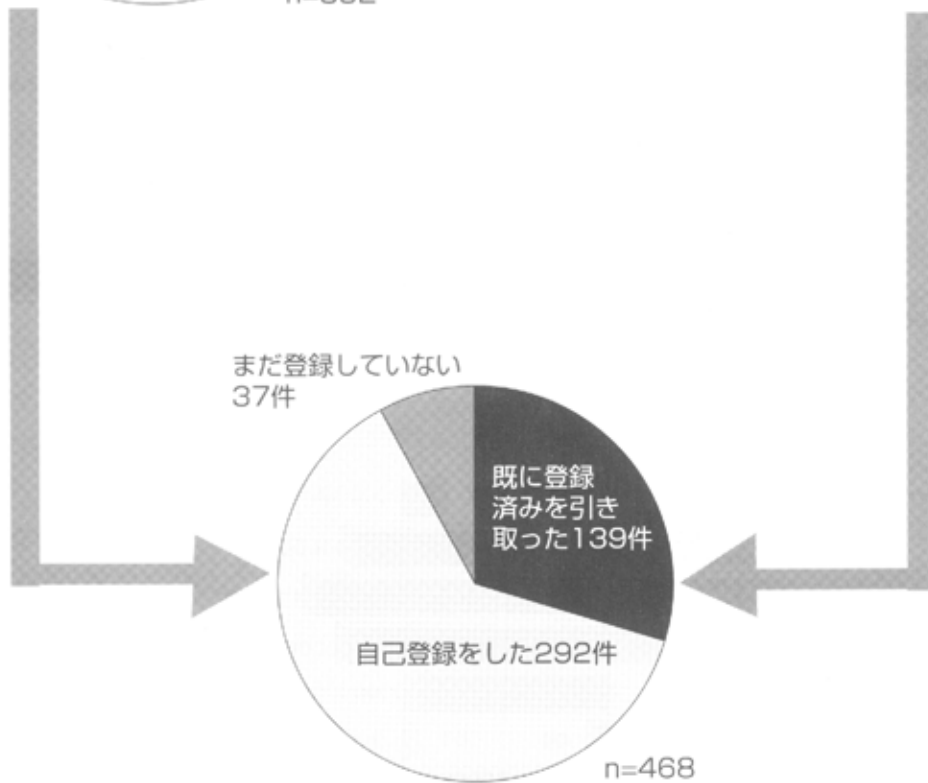
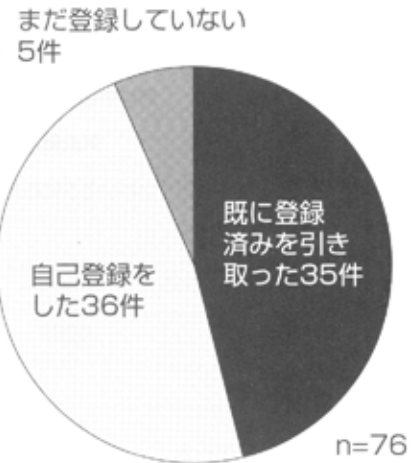


設問3 狂犬病予防法にもとづく登録の有無についておたずねします

犬の里親へのアンケート結果

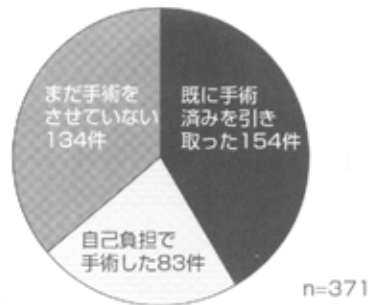


犬を一時預けた人へのアンケート結果

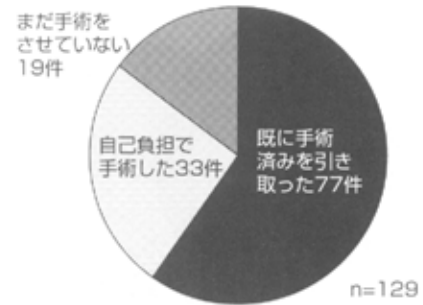


設問4 不妊手術の有無について、おたずねします

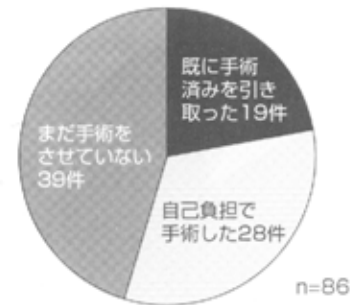
犬の里親へのアンケート結果



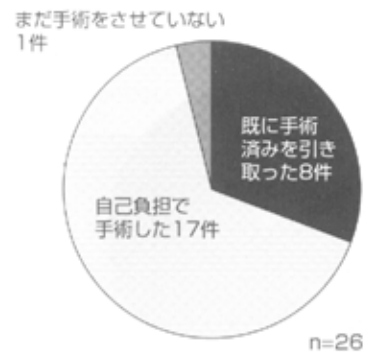
犬を一時預けた人へのアンケート結果



猫の里親へのアンケート結果



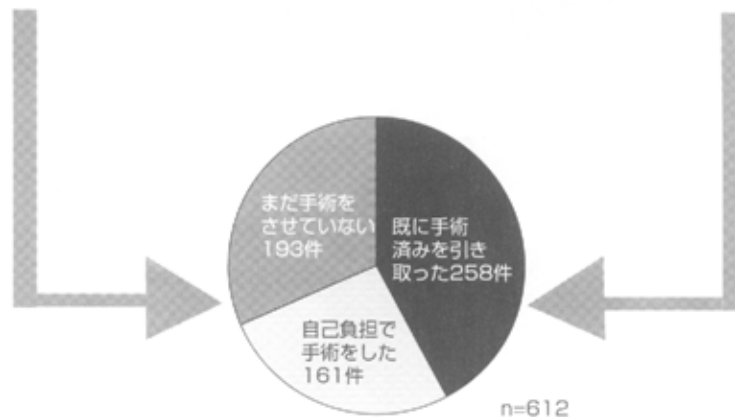
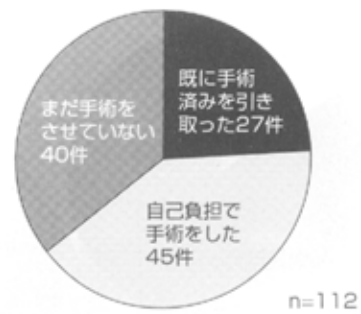
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)

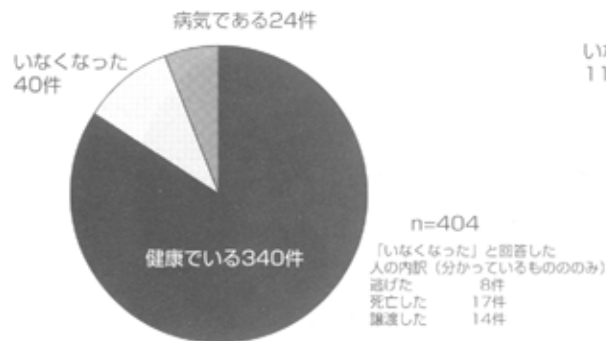


一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)

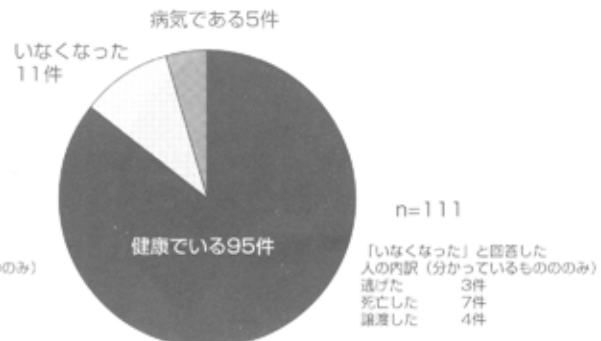


設問5 引き取った動物の現状はどうか

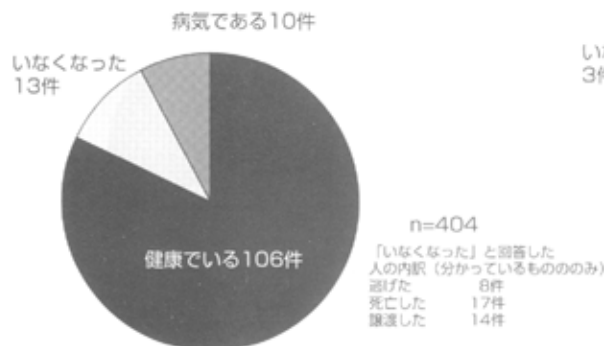
犬の里親へのアンケート結果



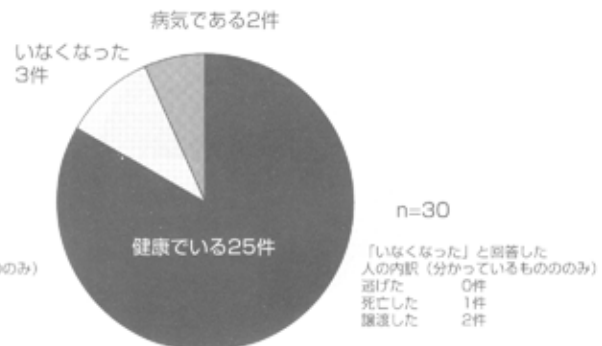
犬を一時預けた人へのアンケート結果



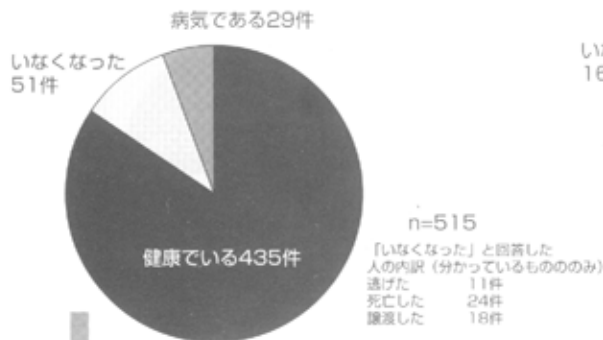
猫の里親へのアンケート結果



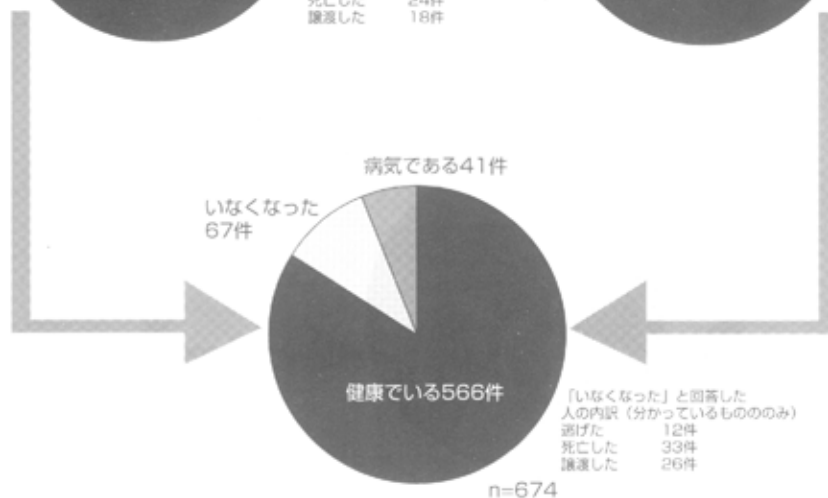
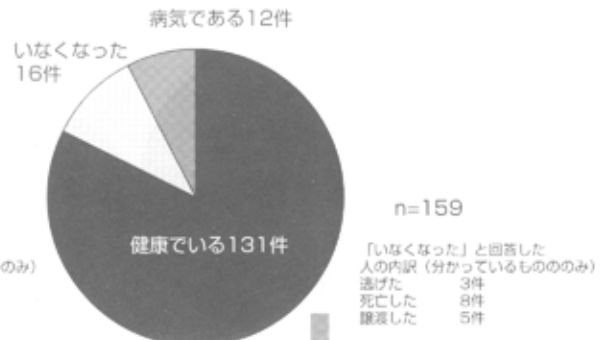
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果(犬+猫)



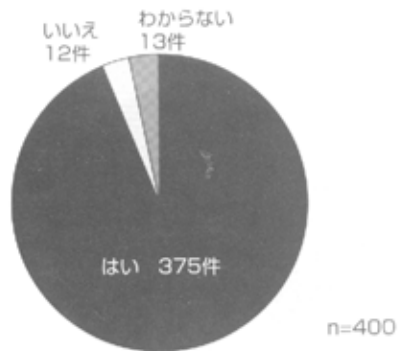
一時預けた人へのアンケート結果(犬+猫)



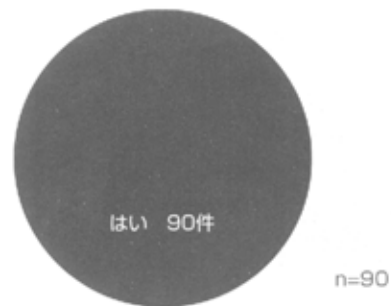
設問6 引き取られた動物の状況やご感想について、おたずねします

(1) 引き取られた動物は良くなりましたか

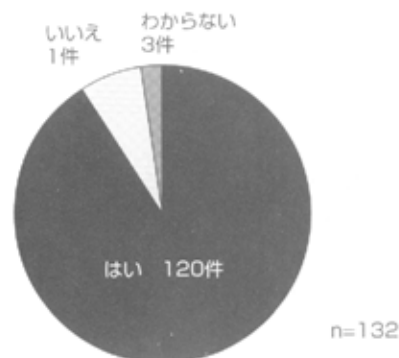
犬の里親へのアンケート結果



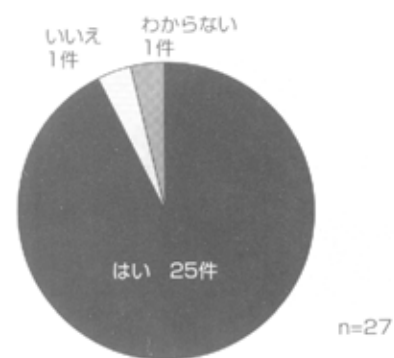
犬を一時預けた人へのアンケート結果



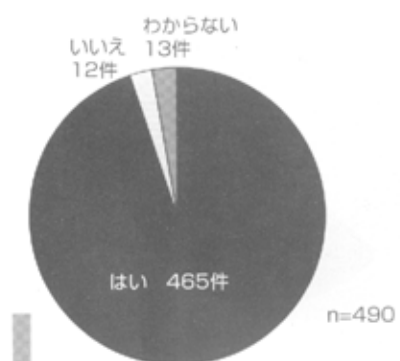
猫の里親へのアンケート結果



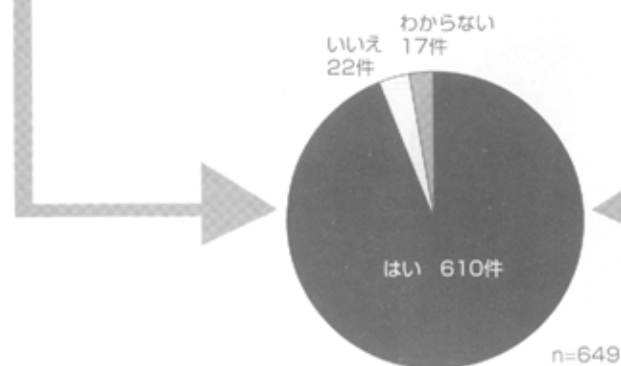
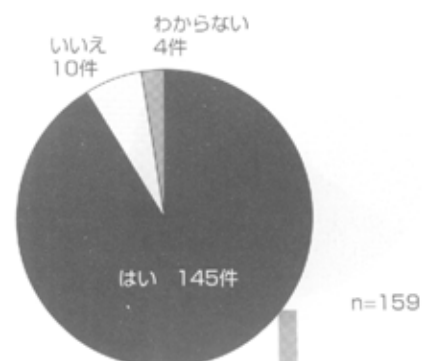
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果（犬+猫）



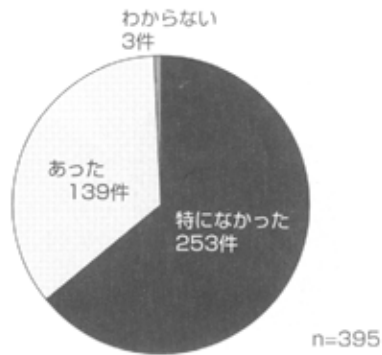
一時預けた人へのアンケート結果（犬+猫）



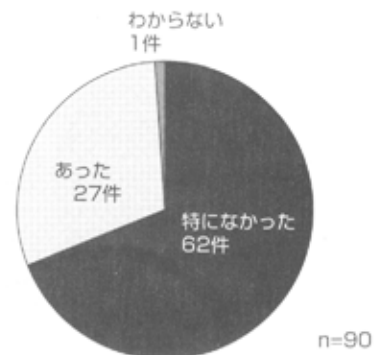
設問6

(2) 飼う上で何か問題がありましたか

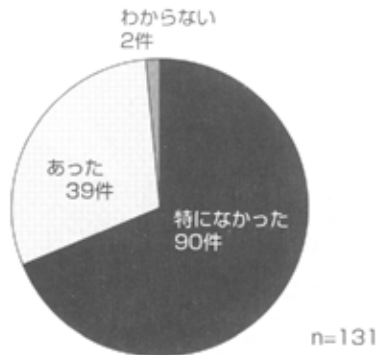
犬の里親へのアンケート結果



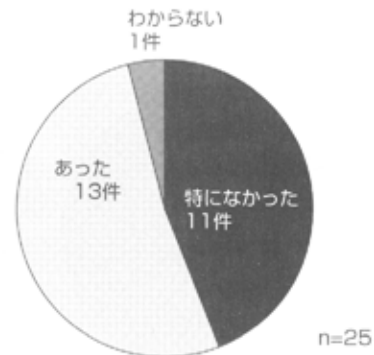
犬を一時預けた人へのアンケート結果



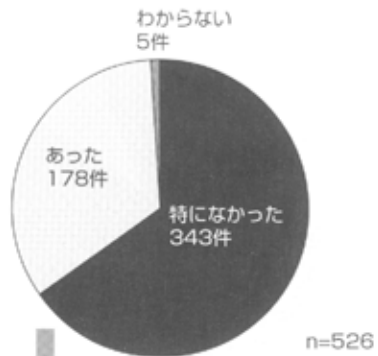
猫の里親へのアンケート結果



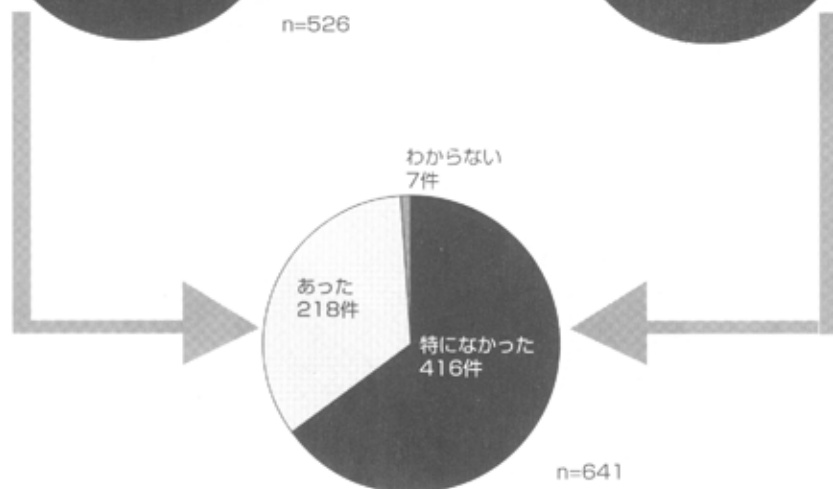
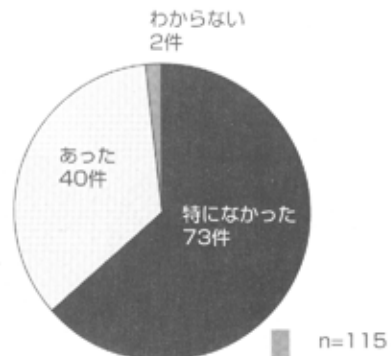
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)



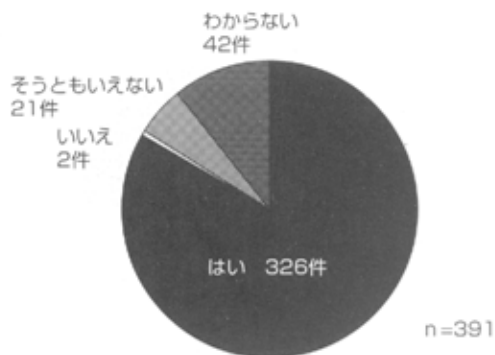
一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)



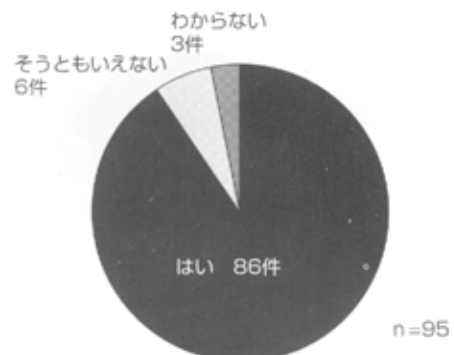
設問6

(3) 今回引き取られた動物はご家庭にとって幸いでしたか

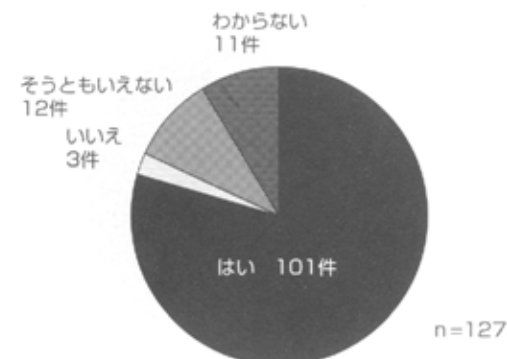
犬の里親へのアンケート結果



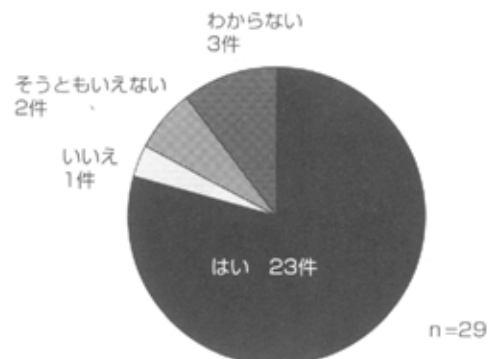
犬を一時預けた人へのアンケート結果



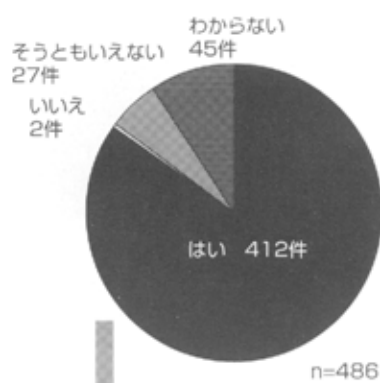
猫の里親へのアンケート結果



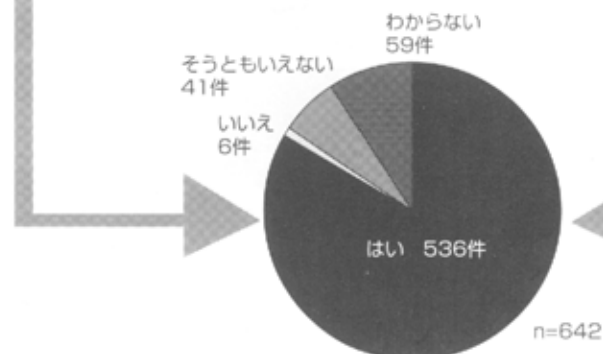
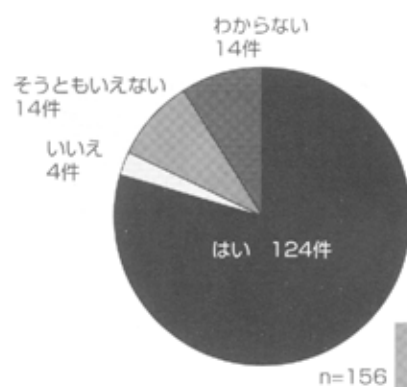
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)



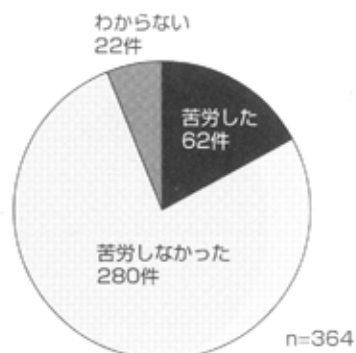
一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)



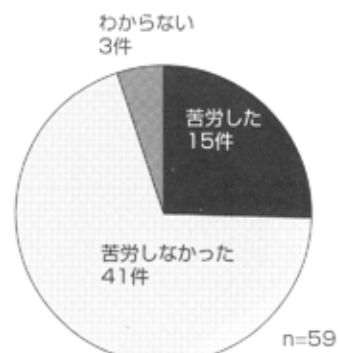
設問6

(4) 動物の譲渡について何かご苦労をされましたか

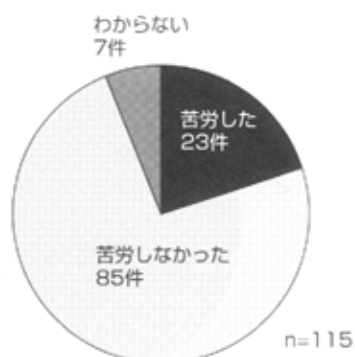
犬の里親へのアンケート結果



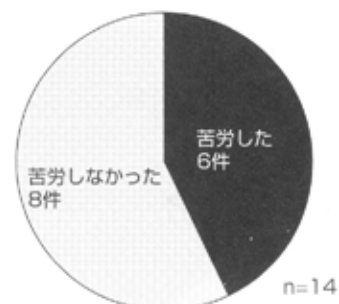
犬を一時預けた人へのアンケート結果



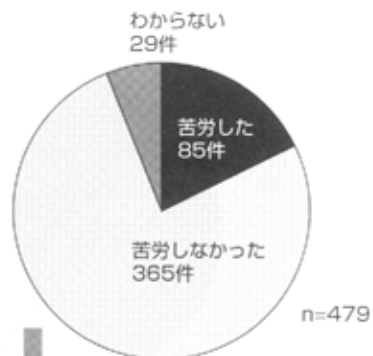
猫の里親へのアンケート結果



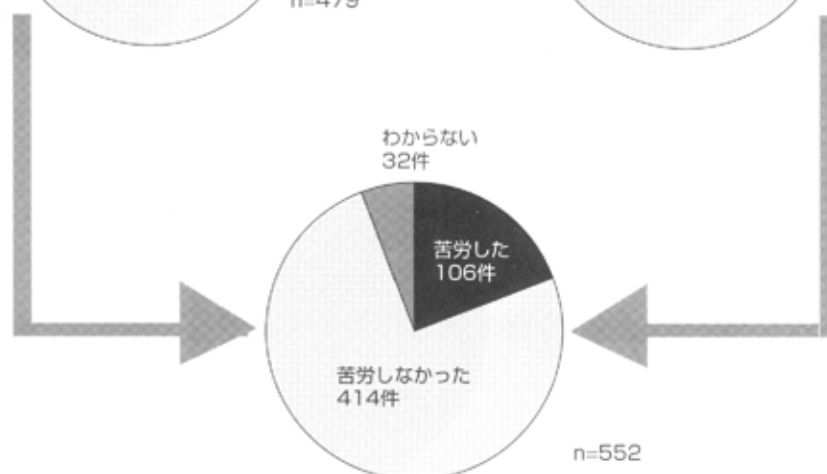
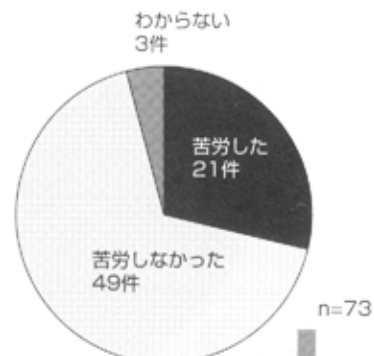
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)

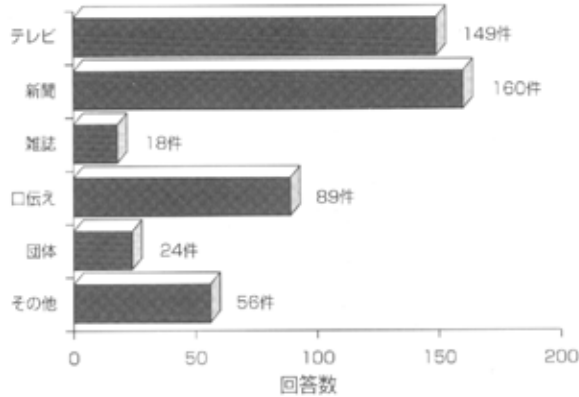


一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)

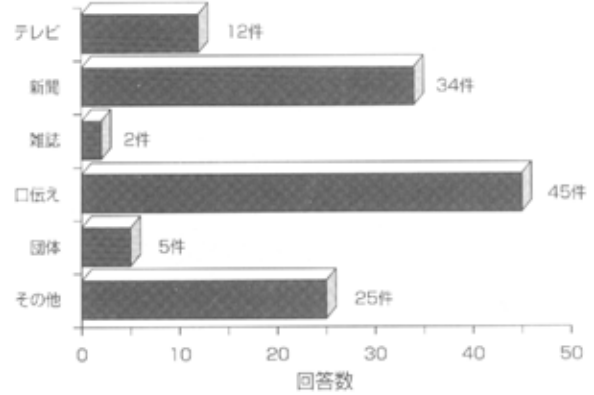


設問7 当動物救護センターを何でお知りになりましたか

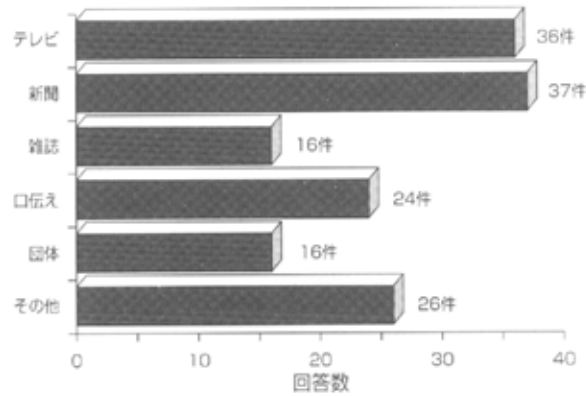
犬の里親へのアンケート



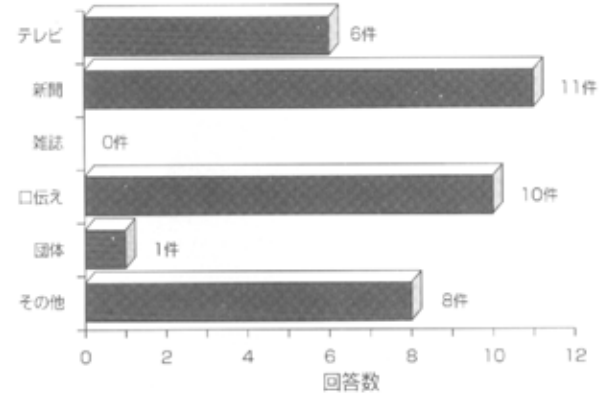
犬を一時預けた人へのアンケート結果



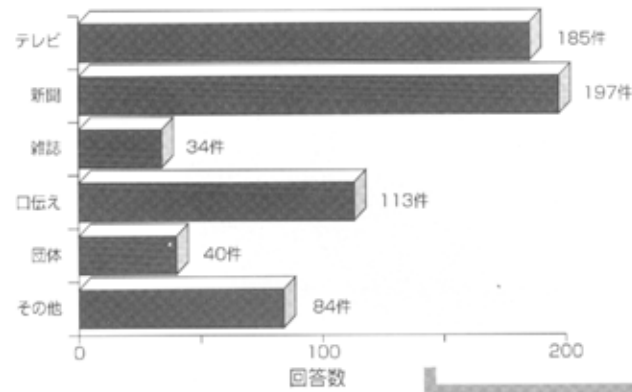
猫の里親へのアンケート



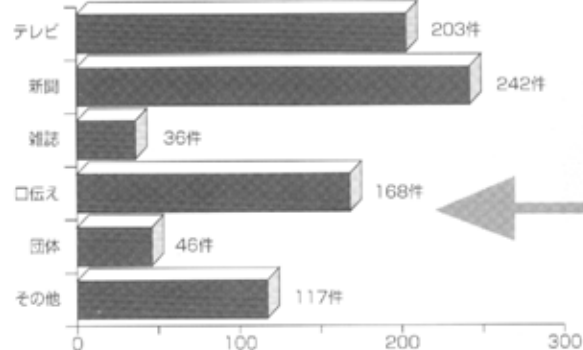
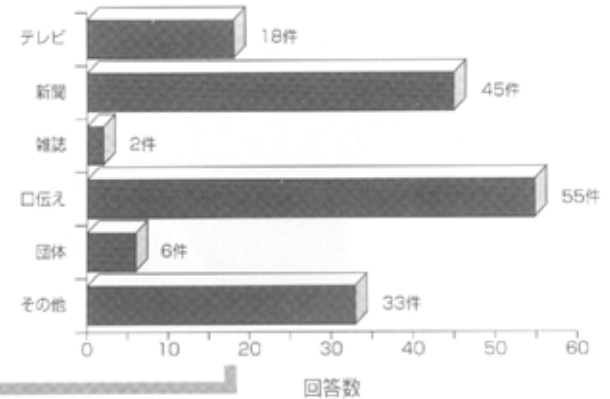
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート (犬+猫)



一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)

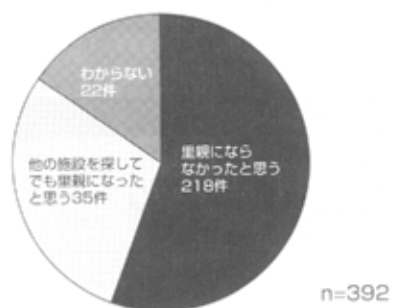


「団体」、「その他」のコメントは里親と一時預けを1つにまとめた。

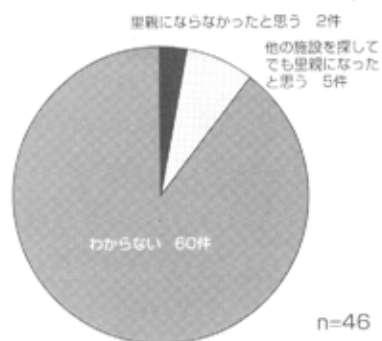
- | | | |
|---------|-----------------------|-----|
| 具体的な団体名 | 1. 獣医師会 | 26件 |
| | 2. 大学 | 9件 |
| | 3. 保健所 | 8件 |
| | 4. 動物愛護協会 | 4件 |
| 具体的なその他 | 1. 知り合いの獣医師や動物病院のスタッフ | 57件 |
| | 2. ラジオ | 12件 |
| | 3. ボランティアをしていた | 9件 |
| | 4. 電話で問い合わせた | 6件 |
| | 5. センターの前を通った | 5件 |

設問8 もし当動物救護センターがなかったらどうされましたか

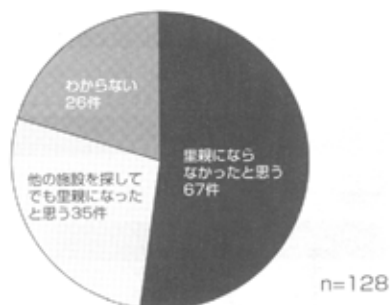
犬の里親へのアンケート結果



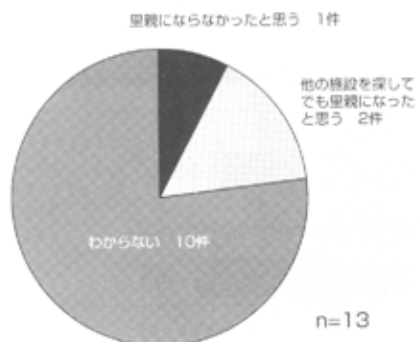
犬を一時預けた人へのアンケート結果



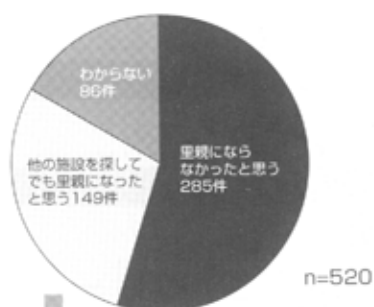
猫の里親へのアンケート結果



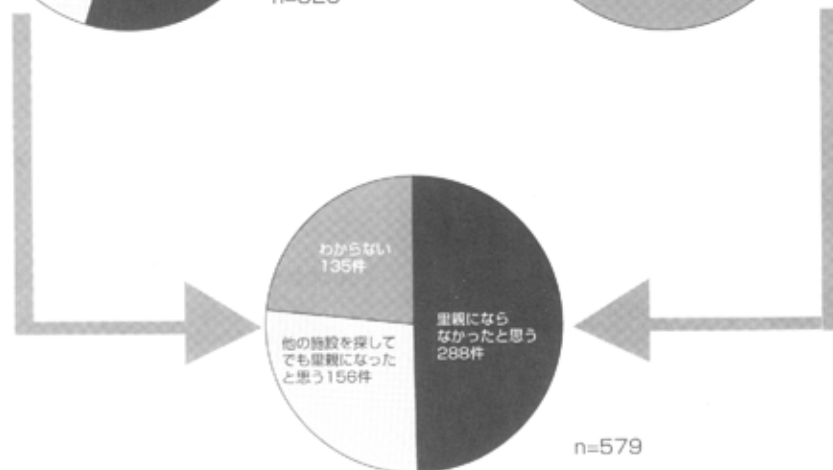
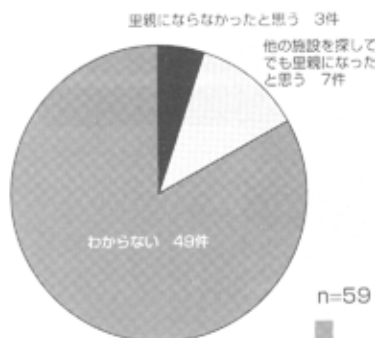
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)



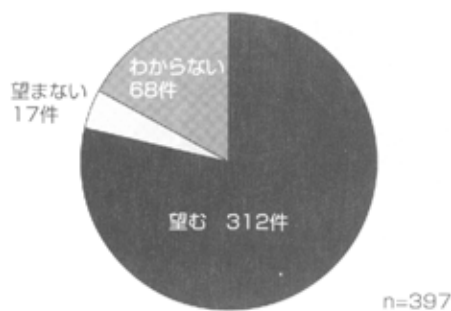
一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)



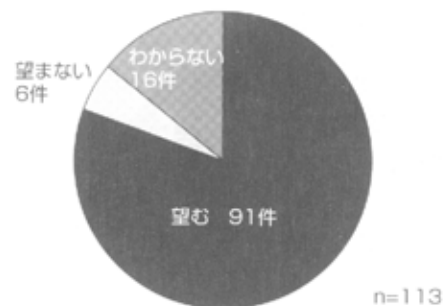
設問9 災害時、および日常的な救護センターの設置についておたずねします

(1) 今後も（震災以外でも）成犬、成猫の譲渡のための施設の運営を望みますか

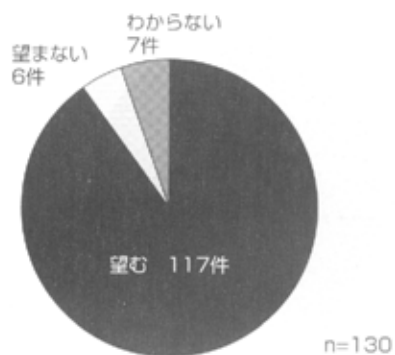
犬の里親へのアンケート結果



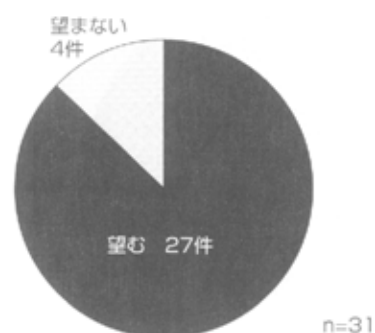
犬を一時預けた人へのアンケート結果



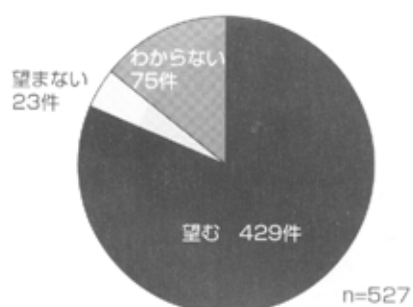
猫の里親へのアンケート結果



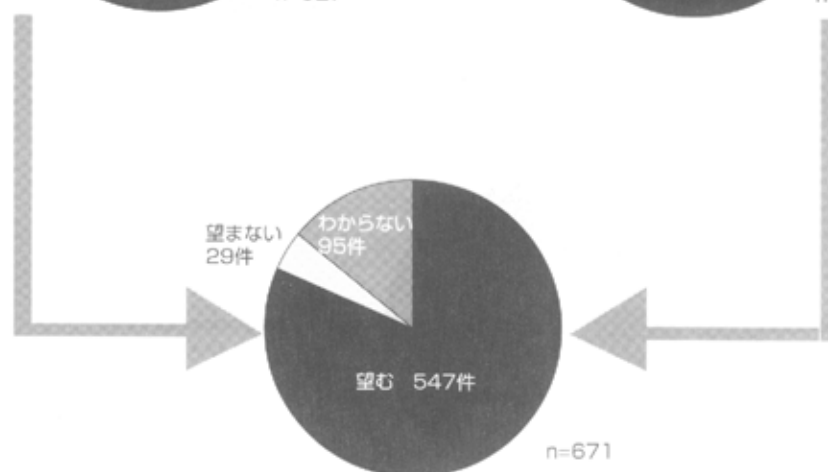
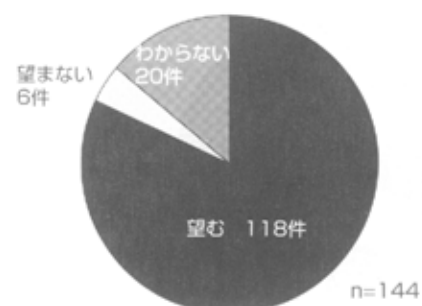
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果（犬+猫）



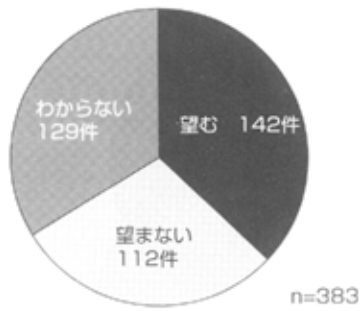
一時預けた人へのアンケート結果（犬+猫）



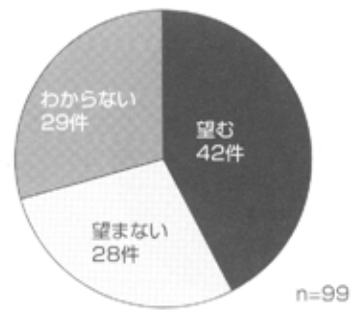
設問9

(2) 成犬、成猫の譲渡を望みますか

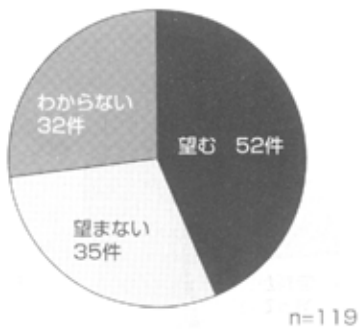
犬の里親へのアンケート結果



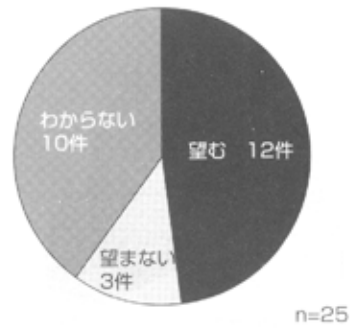
犬を一時預けた人へのアンケート結果



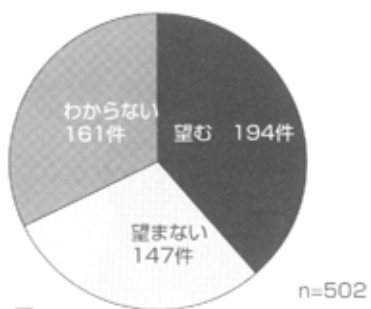
猫の里親へのアンケート結果



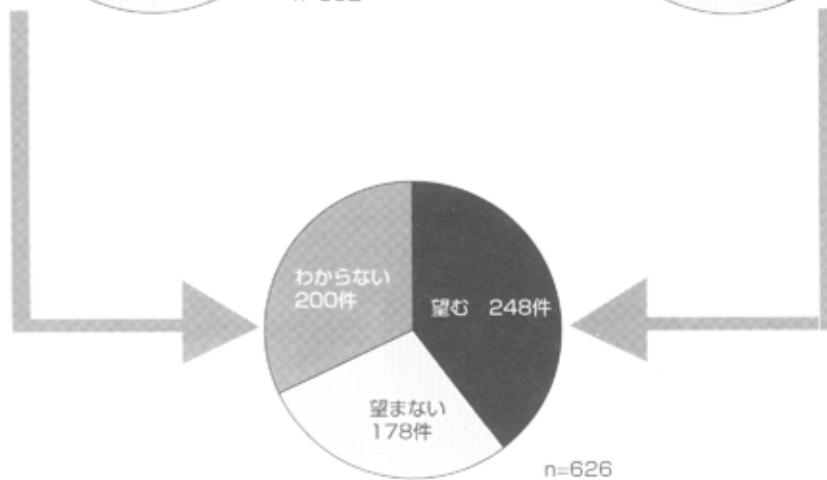
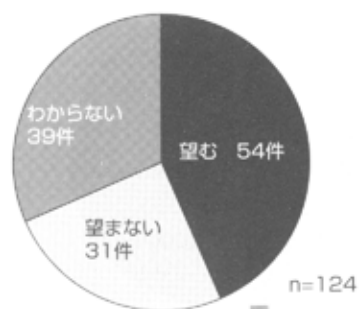
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)



一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)



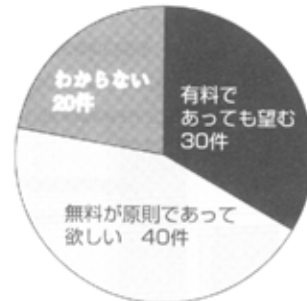
設問9

(3) 成犬、成猫の譲渡が有料である場合はどうしますか

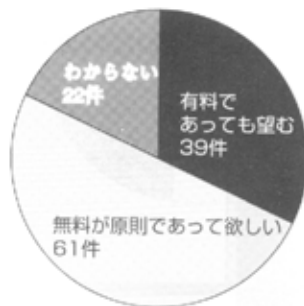
犬の里親になった人へのアンケート結果



犬を一時預けた人へのアンケート結果



猫の里親になった人へのアンケート結果



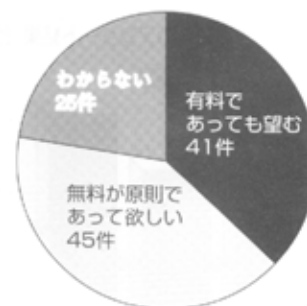
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果(犬+猫)



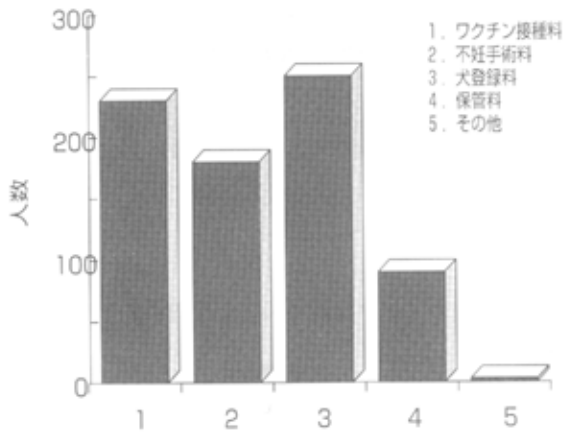
一時預けた人へのアンケート結果(犬+猫)



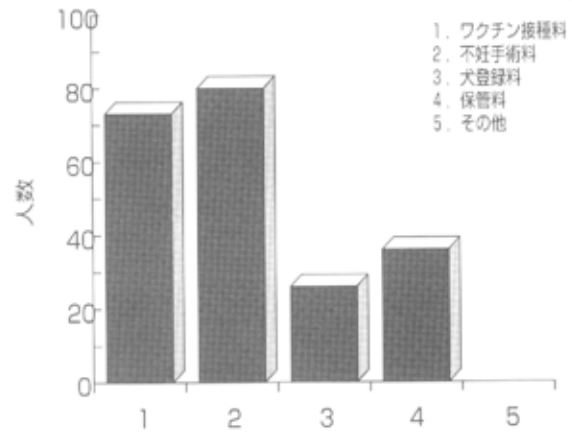
設問9

(4) もし有料だとするとどのような項目を有料にしてもいいとおもいますか

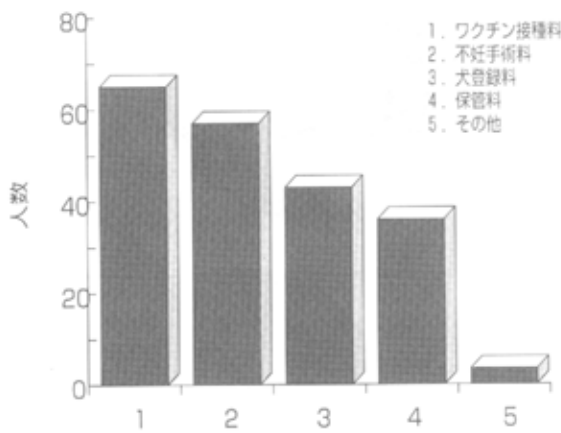
犬の里親へのアンケート結果



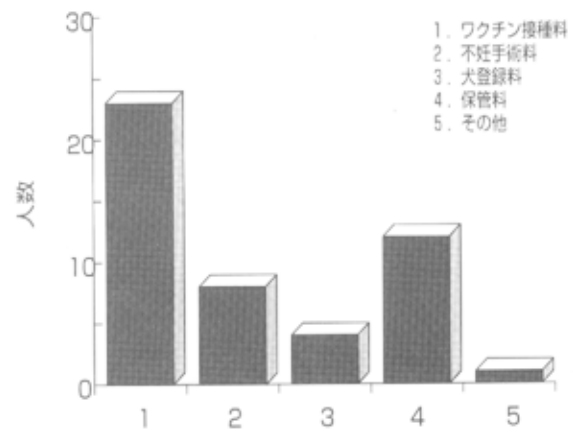
犬を一時預けた人へのアンケート結果



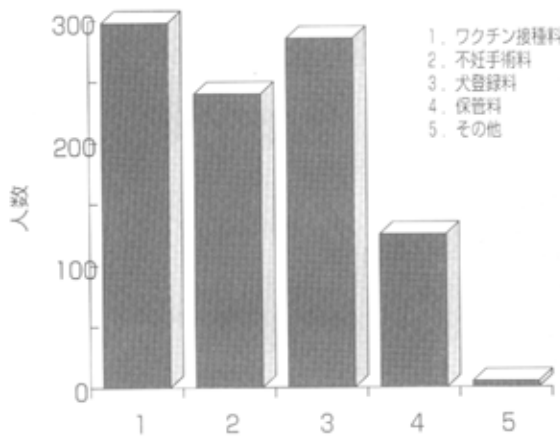
猫の里親へのアンケート結果



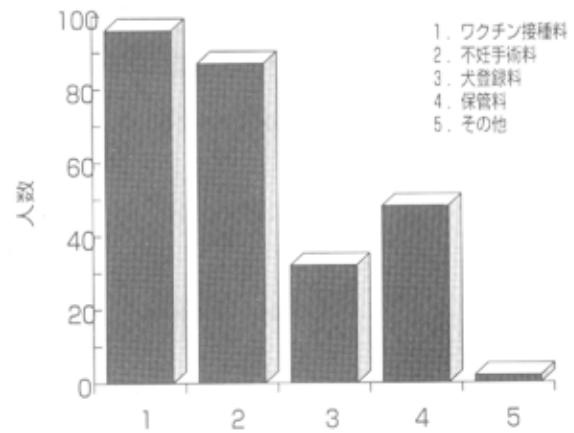
猫を一時預けた人へのアンケート結果



里親へのアンケート結果 (犬+猫)

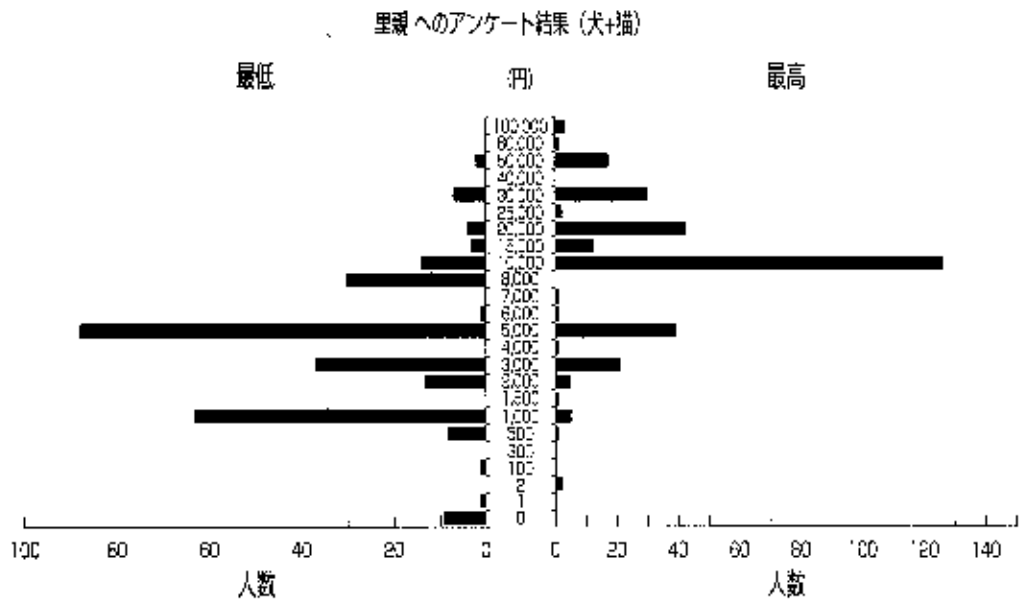
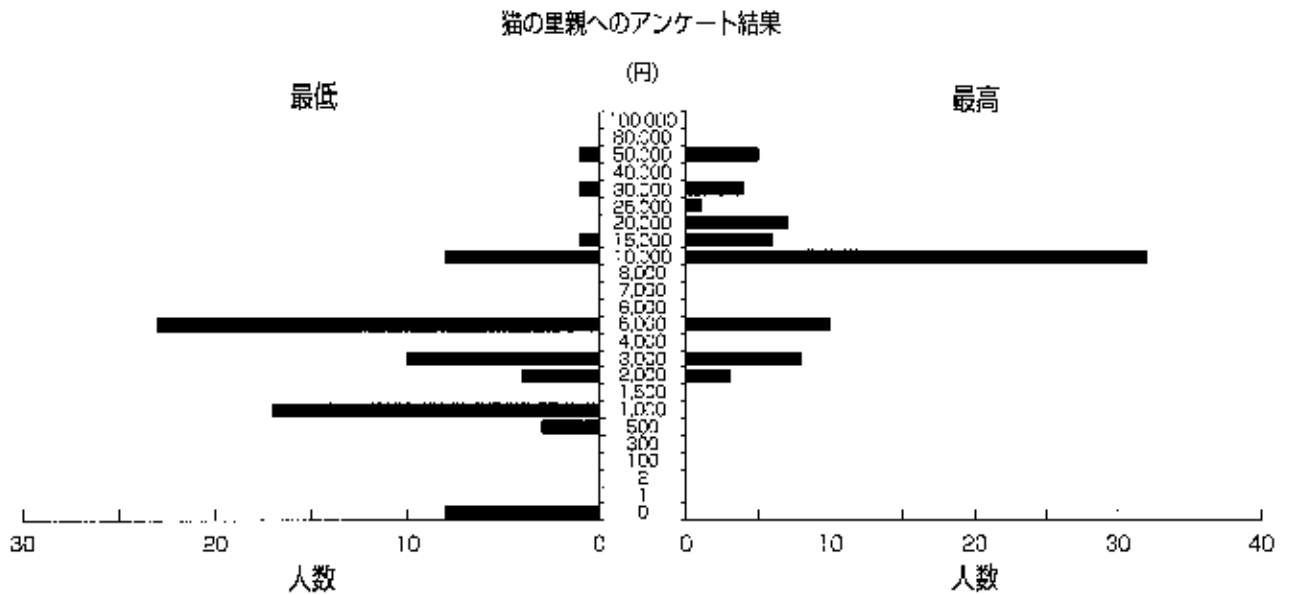
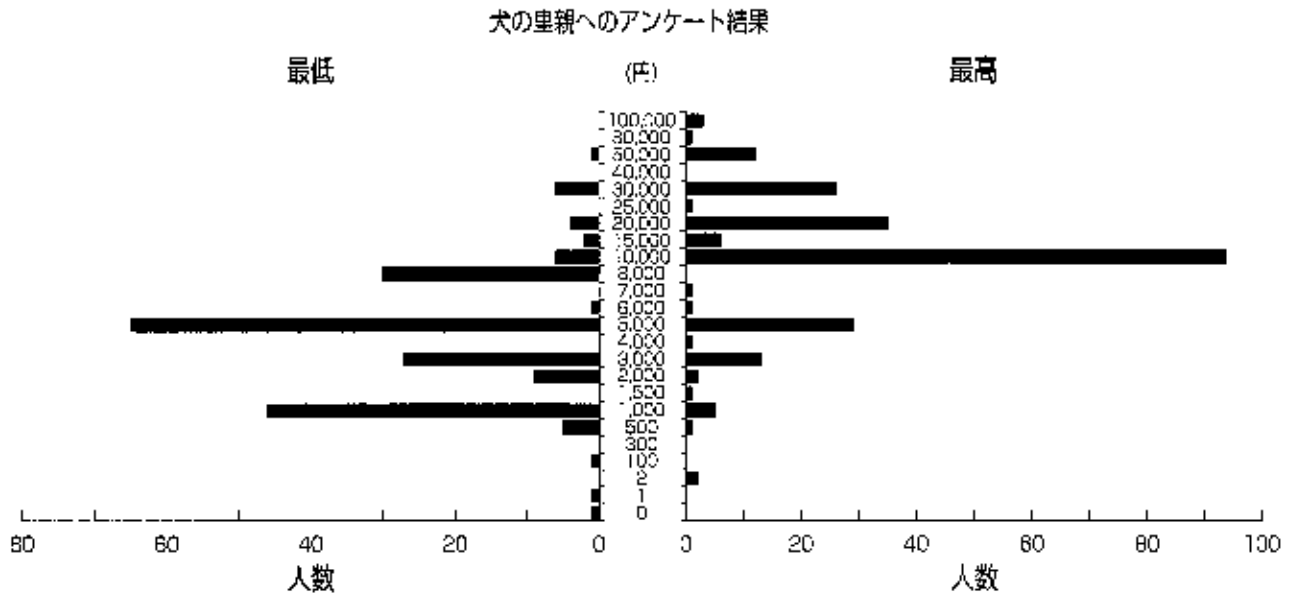


一時預けた人へのアンケート結果 (犬+猫)



設問9

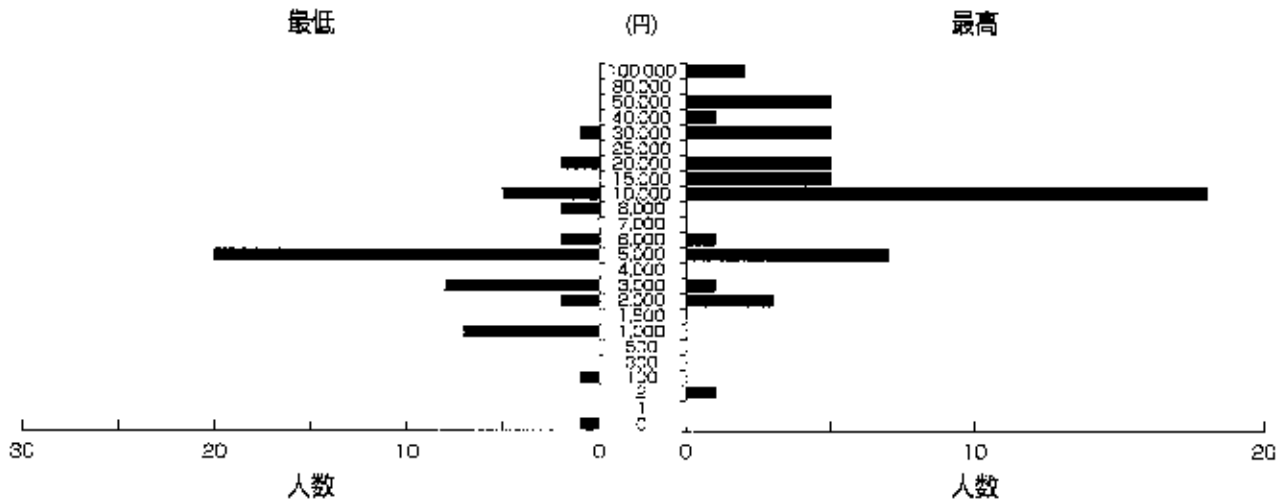
(5) もし有料だとするとどれくらいなら負担しても良いですか



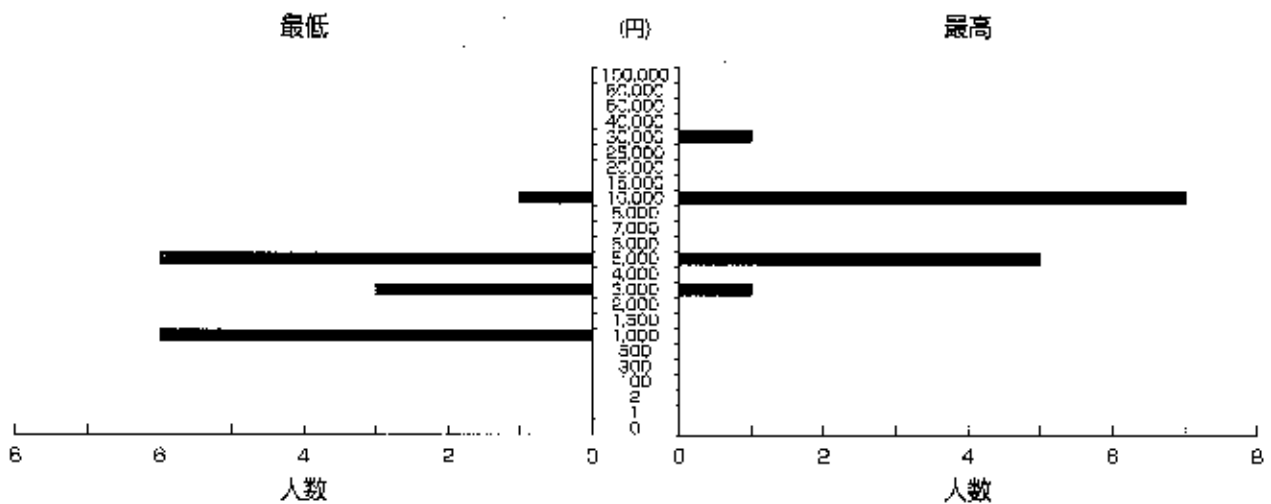
設問9

(5) もし有料だとするとどれくらいなら負担しても良いですか

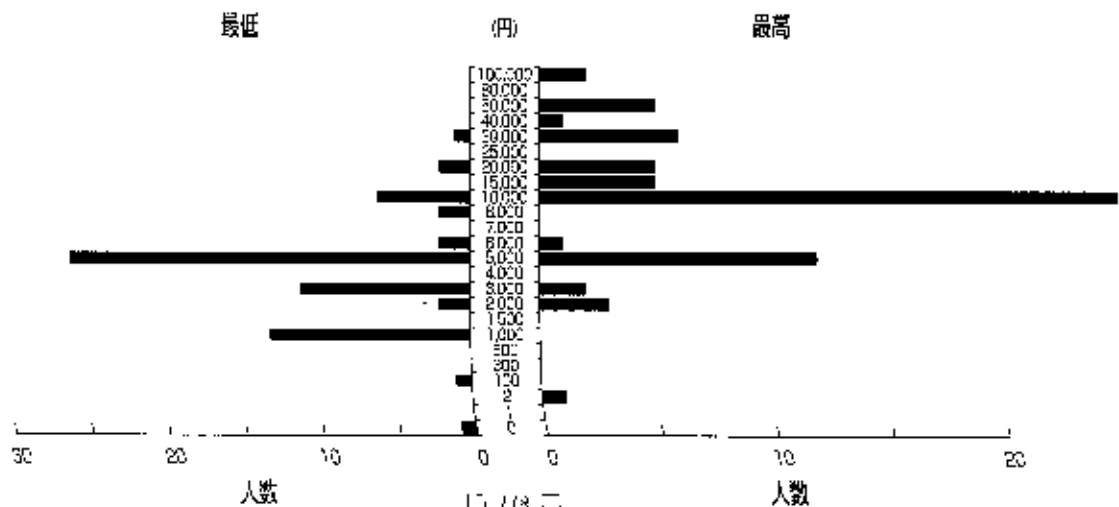
犬を一時預けた人へのアンケート結果



猫を一時預けた人へのアンケート結果

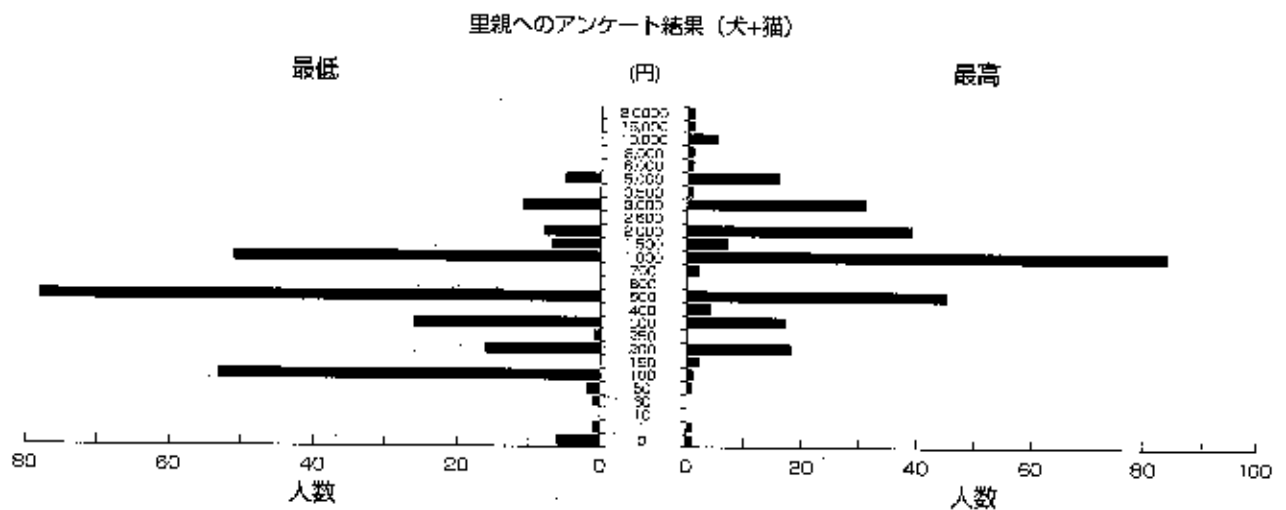
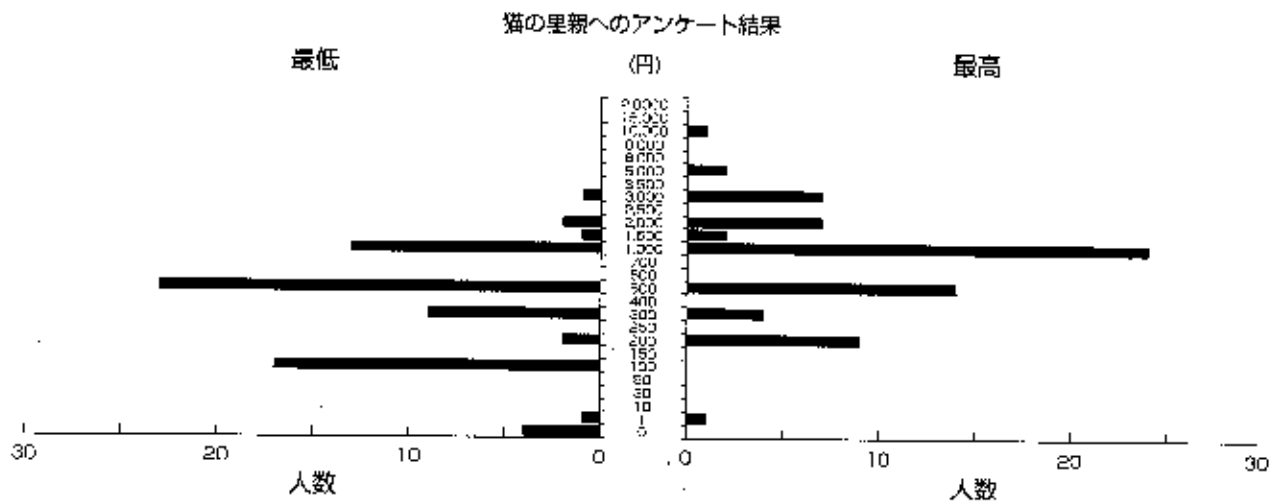
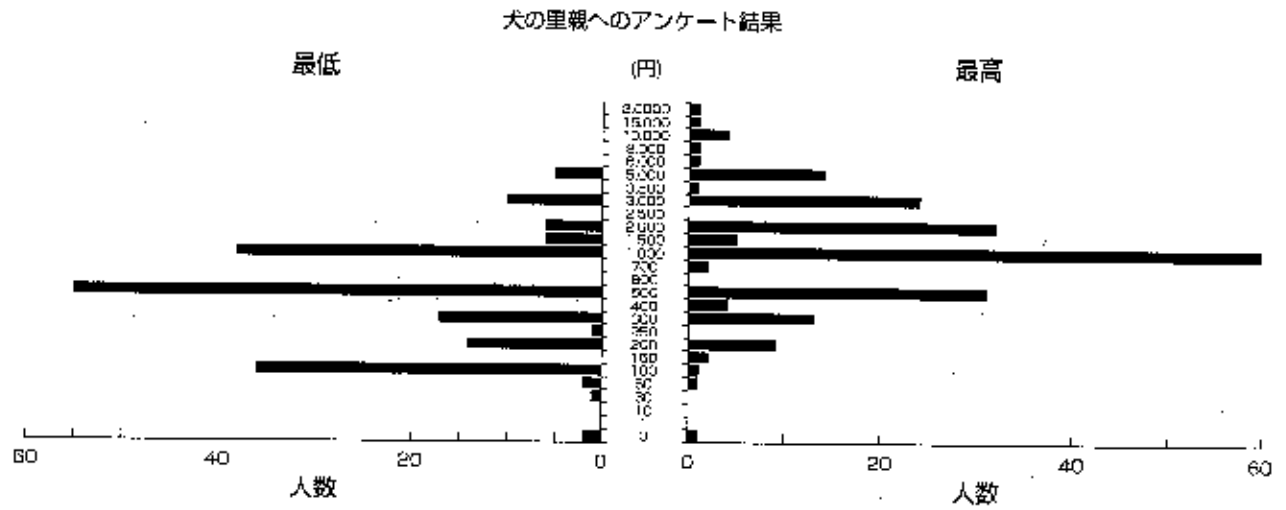


一時預けた人へのアンケート結果 (犬-猫)



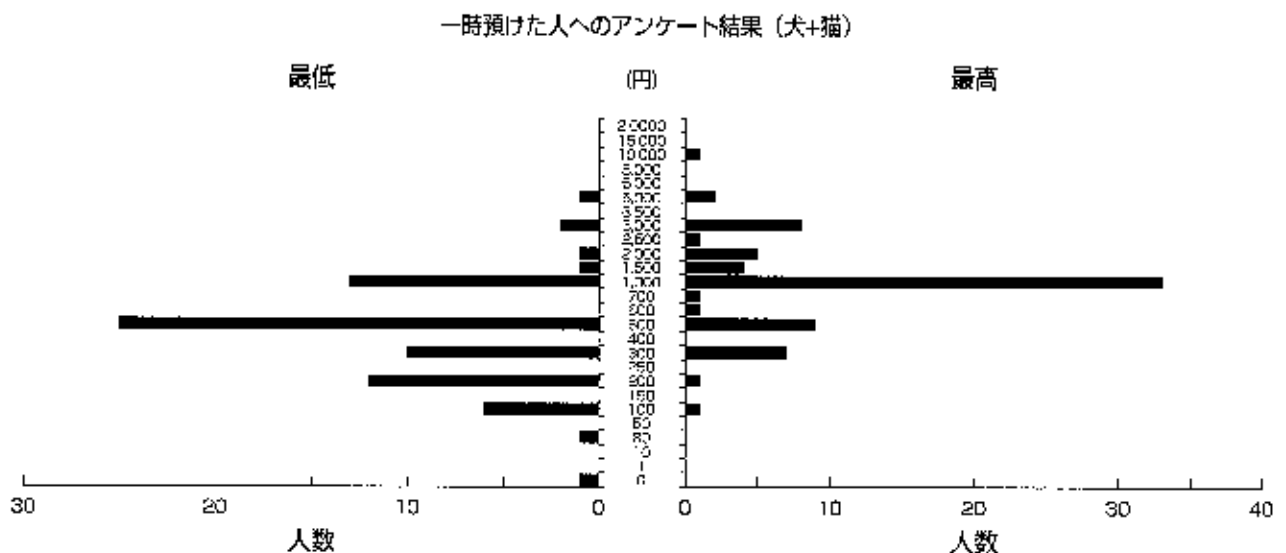
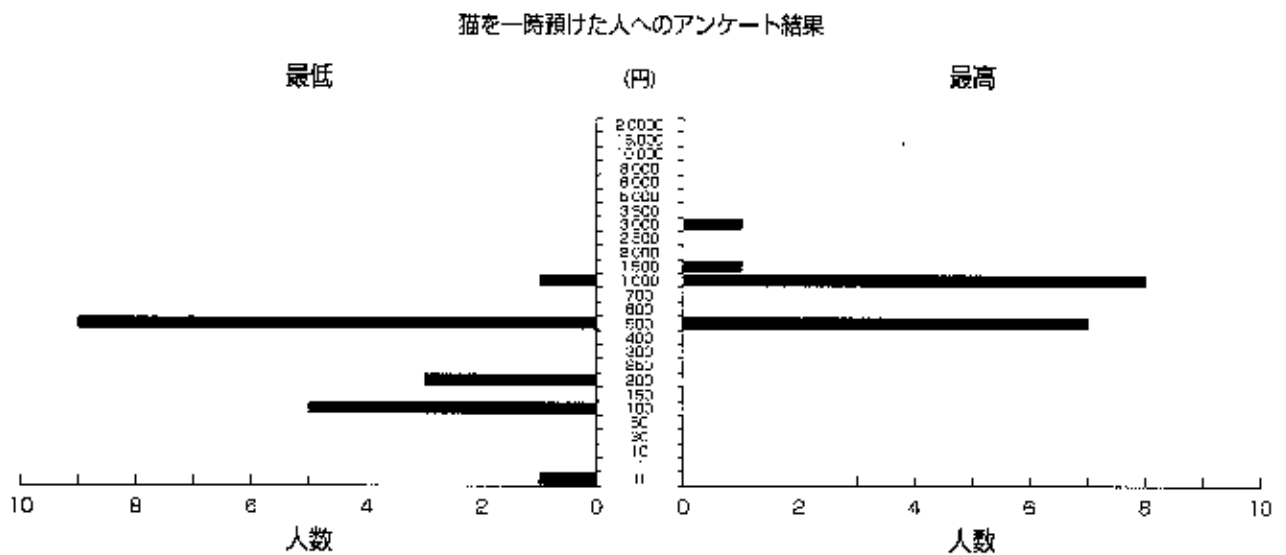
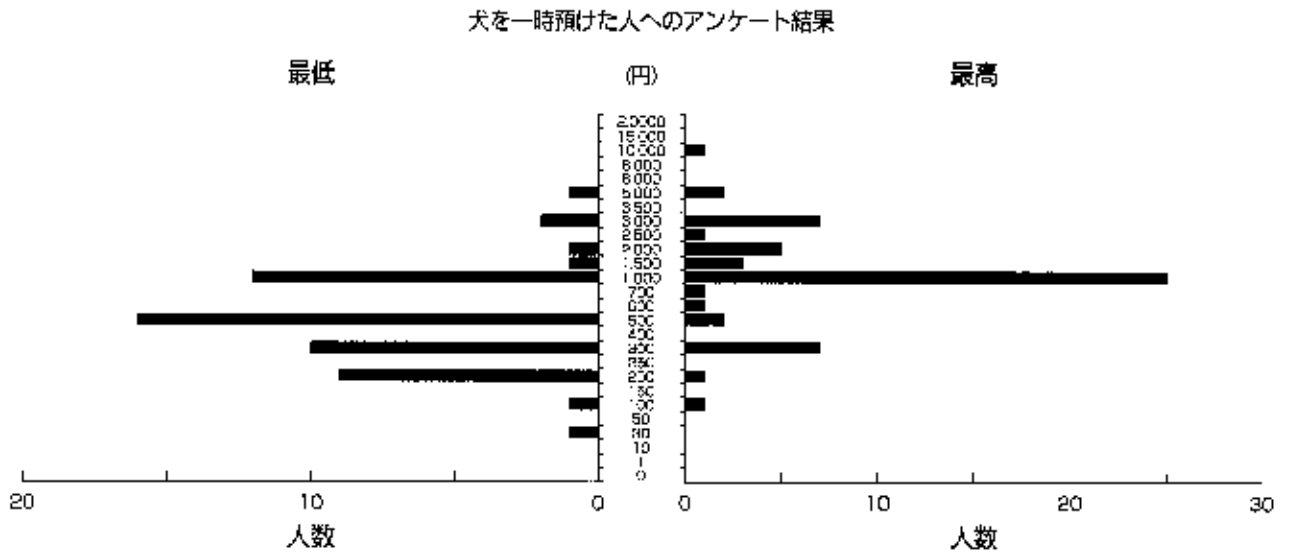
設問9

(6) 一日の保管料としては、どれくらいなら負担しても良いと思いますか



設問9

(6) 一日の保管料としては、どれくらいなら負担しても良いと思いますか



里親へのアンケート結果

設問6-1犬

- ・連れてきた日から体調がぐんと良くなった
- ・半年は落ち着かなかったが、今は落ち着いている
- ・よく懐かれており助かりました
- ・新しい環境になれるなど時間がかかった
- ・すばらしい感の良さと、感情をし被災による心の痛手がなければ申し分無い犬でしたが近隣の環境さえよければその傷も徐々に消えたと思います
- ・1年ほどはおどおどしていた
- ・前の飼い主のしつけがよかったのでは
- ・馴れてきたと思うが、こちらの指示が通じないことがあります
- ・当初おびえがひどく、大変だった
- ・家族全員がよく噛まれ、今でもあまり近寄りません
- ・3ヵ月間ほど馴れなかった
- ・名前を呼んでも来ない
- ・非常になつてかわいがられた
- ・ボール遊びをよくする
- ・散歩中に離れ、捕まえようとして噛まれた
今ではすっかり懐いている
- ・最初はおびえていましたが、今では馴れました
- ・馴れつつある
- ・甘えるようになった
- ・最初は遠慮して吠えませんでした
- ・家族以外の人にも愛想が良い
- ・完全になれるまで2-3ヵ月かかりました
それ以降は家族や親類知人にもなれ、かわいがられました
- ・ブラッシングや目薬をさすとき、今でもうなります
- ・1ヵ月間は全然なつかなかった 今はずごく人懐っこい
- ・もらった直後から甘えて、帰りの車の中でも愛想を振りまいた
- ・最初から懐いていました
- ・連れてきた日からよくなつた
- ・鳴く回数が多いので完全になじんだとは言えない
- ・以前の飼い主の記憶等のせいか、十分に順応しない点がある
- ・当初はしょっちゅう逃亡していた
- ・時間がかかったが、馴れた
- ・やっと、かわいいと思うようになった
- ・甘える様になりました 散歩では異性犬とよく遊び、その飼主にも愛想がよいです
- ・以前に男性によるいじめがあったのか、主人に対して異常な程の恐怖感を持ち、慣れる様子がないが、私や娘に対してはすっかり懐いている
- ・最初の1週間は歯をむきだして怒っていた
今はもう何年も前からるように振る舞っている
- ・長生きさせようと思った
- ・家族とともに生活している
- ・引き取ってよかった 動物を飼ったことのない主人と子供達が特に可愛がっています
- ・しぐさがかわいい ごはんを食べるより遊んだり好き好きをしたがる
- ・センターにいるときよりも人なつっこくなった
- ・つなを放してもついてき、家がわかる
- ・とてもかしこく優しいが音に敏感で吠えたり震えたりする
- ・馴れるのに約3ヵ月かかりました
- ・家族の一員として寝食を共にしている
- ・日にチェックをおこし、時々オドオドしている

- たが、すっかり治りました
- ・帰宅すると鳴きながらしっぽを振り喜ぶ
- ・夕食時には座敷に上がってくる
- ・言うことを良く聞く
- ・よく飼主の言うことを聞く、賢くて物覚えがよい
- ・庭や道路できちんとついてくる
- ・よく慣れたが、臆病な性格な上に、地震の後遺症かしっぽをよく振ってむしゃぶりついてくる様子はなく、喜んでいてもすぐに物陰に隠れる
- ・思ったよりすぐに慣れてきた もう何年もいるような顔で近所でも動物好きの人達の人気者です
- ・少女がさつですが、とてもかわいい番犬になっています
- ・前の飼主が上手に躾けた所為かとても楽でした
- ・家族の一員と本人も思っており、ロープなしでも散歩でき、車でもすぐに乗り込む
- ・最初から人間が好きだったのでとてもうまくいっています
- ・すごくなついている (他10)
- ・直慣れたが、いまだに脱走したり、呼んでも横をすりぬけたりする
- ・来たときには下痢や食欲がなく元気もなかったが、2週間ほどで慣れてきた
- ・2、3ヵ月は吠える声も少なく、食事も少なく、物音に敏感だったが、今は慣れている
- ・見知らぬ人を恐がる
- ・甘える
- ・柵越しにお見合いさせ1週間で他の犬2匹と一緒に飼った
- ・既に躾られていたので扱いやすかった
- ・帰宅すると必ず出迎えにき、他の犬とも仲がいい
- ・よく遊び、よく甘える
- ・腹をみせる、風呂に一緒に入る
- ・わがまま
- ・おとなしい
- ・おとなしい、慣れた、かわいい
- ・恐がっていた息子が可愛がっている
- ・話が伝わる
- ・慣れたが番犬にならない
- ・言うことを聞くようになった
- ・犬の躾が解らなかった
- ・徐々に落ちついた
- ・1週間ほどで落ち着いた
- ・車に乗りたがる、コースへ出て走り回っている
- ・元気すぎて嬉しいような悲しいような
- ・来たその日からなついた
- ・とても優しい顔になりました
- ・家族と一緒に時は吠えない
- ・咬む
- ・人になつかない
- ・何に対しても恐怖心を抱く
- ・高齢、咬み癖
- ・吠える
- ・私の姿が見えるのを確認している 雖聴のためか目で見て確認しているように思える
- ・とても元気になり食欲旺盛
- ・呼ぶとすぐ来る 後をつけてくる 言うことをよくきく
- ・始めは大変おびえており水ばかり飲んでいたので、家の中で2～3週間飼った後、屋外に出した
- ・初めから家族の誰とでも散歩にいき、傍に来て甘えた
- ・1ヵ月日に声が出るようになる つながれるのが難 男性苦手 音に敏感
- ・1先住犬ともうまくいって、ほっとしている 家族に刃向かうことはない

- ・すっかり家族の一員です 何年も前から主人という顔をして生活しています (他1)
- ・飼育方法を本等で学び行っている
- ・家族の一員になっている
- ・やさしすぎ、他人を見ても吠えない
- ・おとなしく良く懐いている
- ・家族全員によくなついている 夜放していてもちゃんと戻ってきて犬小屋で寝ています
- ・すぐに病気になったのでしばらく家のなかに入れていたのですが環境が変わって戸惑ってしまったのかもしれませんが
- ・特に主人に懐いている
- ・最初のころよく吠えた 神経質で臆病なのであつかいにくいと感じたこともあったが、今は慣れた
- ・「あまえた」で叱るとすぐいじける性格です 被災したせいか来た当時はカミナリや大きい音に敏感で怖がって走り回ることがあった
- ・当初は1ヵ月間声が出ず、鳴くことの出来ない子なのか大変心配した
- ・家の人と他人との区別が出来ない
- ・甘えすぎ
- ・引き取った時からすでにオスワリ、オテ、オカワリなどをちゃんとしこまれていた
- ・救護センターにいたときと比べて飼い犬の目になった
- ・脱走しても必ず家に帰ってくる
- ・大変かしこく、従順、けなげ、チャーミング
- ・何を考えているのか良くわからない
- ・犬は飼ったことがなくどうしつけていいかわからず、成犬で来た割にはなついていると思う
- ・現在25kgですが先任犬(8kg、7歳)には1日置いていたようです

- ・ベランダに居るので、トイレの時に抱きかかえると最初は怒ったが、今は誰(家族)が割をしなくてもおこらなくなった(咬まない)
- ・いい子です フードは十分に与えているのに糞便を食べます
- ・かわいいけどわがまま
- ・日に入れても痛くない程かわいい非常によい犬である
- ・とても素直な子で3週間程で基本的なことは覚られた
- ・以前からいる猫とも仲良くしてくれるため助かっている
- ・よく言うことを聞き以前からいるイヌとも仲良くしています
- ・鎖を外しているが知らない人以外吠えない
- ・小さい子供に馴れなかった

設問6-1猫

- ・連れて帰ったときはおびえる時もあったが、人間にすごく懐いています
- ・娘と一緒に寝ている
- ・大人の猫なので特に寝ることなくトイレもツメ研ぎも早く馴れた
- ・前の飼主が抱かなかったのか、触られるのを非常に嫌がります それによく噛みますしかし 徐々に馴れてきています
- ・1ヵ月ほどですっかり打ち解けた(他2)
- ・病院にいてもかわいそうなのでこれから里親を探します
- ・2ヵ月ほど他の人に馴れるのにかかった
- ・すこし神経質のようでしたが、すぐに馴れました
- ・最初はかげの方にしてたのが1年たった今では家に帰ってくると玄関で待ってたり、一緒に寝るようになった
- ・しんどくてもごろごろしていて可愛い

- ・今や家族に一人です
- ・名前を呼んでも時々わからなくなる ひとみしりをする
- ・今まで飼った猫のなかで一番馴れた様に見える
- ・1週間ほど孤立していたが、今では大変に懐いている
- ・来て2、3日で慣れた(他4)
- ・一緒に寝ている
- ・他の2匹とも仲よくて人なつっこくて可愛い
- ・母に一番なついている
- ・元々、人間になつかない状態のものを、取ってもらってきたので病気になる前になつかせたかった
- ・仕事から帰ると足回りにじゃれつき餌をねだる 夜は一緒に寝る 名前を呼ぶと振り返る
- ・大変時間がかかりました 以前集団で飼育されていたとのことでしたが、とても人に飼われていたと思えないほど狂暴でした
- ・すぐにいままで居た犬猫になれなかくしています この子もやさしい子なので育てやすくとてもよかったですと感謝しています
- ・おとなしい猫なのでよほどのことがない限り鳴きません でも、日や態度で何を言いたいのか何をして欲しいのかわかります
- ・前の飼主の話からすると、前の飼主よりなれている様子
- ・里親になってくれる人が決まっていたので短い間でしたがとても人なつっこい子でした
- ・子猫から育てたせいか性格もよくわかり、とても可愛いです もらってよかった
- ・ごろごろしてる 餌どきにすりすりする
- ・ひざの上でよく寝た
- ・主人や娘達にはよく懐きましたが私にはあまり懐きません むしろ恐がっています
- ・引き取った当時は警戒心が強かったが、今では家族全員に馴れた
- ・引き取った当時に比べると大分馴れた様だが、人に触られるのはいやなようだ 甘え声をだし たり、すり寄って来たりはしてくるが、下を出すと逃げる
- ・家庭で可愛がられ、自分のお気に入りの場所も見付け、快適な生活を楽しんでいるようです
- ・最初は全くびくびくしていた 寝ながらもビクンという感じ 今は家の中を我物顔
- ・猫が若くなかった 地震のショックで神経質になった
- ・気ままに家の中で生活をしている 昼は押し入れの中、夜は私の布団の上、押し入れのふすま はずたずたになった
- ・なかなか甘えてくれず抱かせてくれなかったが最近になって抱いてあげられた
- ・1ヵ月ほどでゴロゴロ鳴くほど馴れました
- ・1ヵ月ほどでよくなついた
- ・最初はとてもきつかったのですが、もともといる猫とも馴れてがんばってくれてます 今とはとても信頼されているみたいでうれしいです
- ・猫推2、3ヵ月は鳴いて困りました
- ・引き取り後3ヵ月ぐらいは落ち着かなかった(下痢をよくした) 現在は非常に慣れている
- ・最初から人なつっこくて、なれた
- ・センターにいるとき以上にかわいくなった 今まで見た猫の中で一番性格のいい猫だったのに…
- ・もともと怖がりでも今でも少し馴れない時はある 自由にさせているが外へ出ようとしらない
- ・人慣れしているが名前を呼んでも自分のこ

- ととは思わない
- ・多頭飼いに馴れていたようなので、もともと家にいる小さいほうの子をかわいがってくれて、なめてあげたりしていました
- ・馴れてきているが震災後に怖い思いをしたのか、とても用心深い
- ・教えもしないのにトイレを自分からするようになった 爪も切らせてくれるし、壁は絶対にかかない、こんなにかしこい猫は2度といないと思っている（お風呂は嫌いだけど）
- ・全くいい子になった
- ・家のなかで暴れてる
- ・かわいくて仕方がない
- ・ものすごく甘えん坊でやんちゃさんです
- ・年齢的にあまりなつかない

設問6-2犬

- ・前から飼っている犬と相性が最悪だった
- ・元気すぎて圧倒されそうです
- ・吠え声が大きいので隣りに気がねした
- ・連れて帰ってすぐに下痢をした
- ・下半身不随のため散歩や他の犬とのつながり
- ・非常に神経質
- ・地震を思わせる音と被災による何らかの恐怖心を思わせるとき吠えやまず優しくなでたり散歩に出たりした
- ・引き取り後一度逃げ出した
- ・恐がりのためよくなり
- ・散歩の時力が強いので大変です
- ・以前から飼っている犬との折合いが悪くそれを矯正するのに苦労した
- ・噛みついた（他1）
- ・噛む 吠える
- ・3ヵ月間ほど馴れなく、噛みつかれた
- ・犬が大きくなり廻りの人達と気まづくなり
- 引越しました
- ・食べ物、性格、飼われていた状況が全く判らない
- ・1ヵ月近く餌も思うように食べなかった
- ・精神的に不安なのか、誰かがいないと吠えてばかりだった 案内で飼うようにしたら落ち着いてきた
- ・無駄鳴き・夜鳴きをした
- ・家族が家を出入りするたびにひどい吠え方をする 外を通る人に向かってひどく吠えるので怒鳴られたり、嫌みをいわれる
- ・大きな声で朝から啼くので困った
- ・以前室内で飼われていたのか、外で飼うのに苦労した よく鳴いた
- ・母子家庭で育てられたせいかな、男性が嫌いとこのことで主人になじむのに時間がかかりました
- ・予防接種などに経済的に大変だった
- ・全てのことにおびえたままの状態が長く続いていたので根気のいることが多かった
- ・躰けのなっていない子で、食べ物を持っていくと飛びかかるなど今も注意が必要です
- ・下痢をしやすく、脾臓と肝臓が悪く、合う食事を見つけるのに苦労した
- ・雄同士のケンカ
- ・最初何も食べなかった 何が好きか判らず困った
- ・あまり表情のない犬だったので馴れるか心配だった
- ・もらったときに風邪をひいていて私たちには判らなくて病院に行くのが遅れました もっとき ちゃんと話を聞けばよかったと思います
- ・長い旅行が出来なかった
- ・甘えるだけで、他人が来ても吠えず、番犬にならない 排便の躰けができていない
- ・飼い始めのころ、夜中にずっと遠吠えして

- こまった
- ・その後の余震や救急にすぐ反応し、鳴き続ける 今は落ち着いている
- ・散歩に連れだすのが大変で苦勞しました 今は大分馴れました
- ・過保護の犬だったのか何回か噛まれた
- ・1ヵ月程度下痢が続いた
- ・家の中で飼われていたらしく、外ではよく吠えて大変だった
- ・とても怖がりで人のざわめき、車の音などが駄目です
- ・散歩に苦勞している
- ・初めはストレスからか、鳴きやまずうなったりもしていた
- ・排便排尿のコントロールができず、何回も散歩に連れ出した
- ・当初鳴いてばかりでうるさく、家族にも馴れなかった
- ・元気が良すぎて朝晩の散歩が大変だ
- ・引き取り後、何回も発作、入院を繰り返した
- ・他人にすぐに吠えつく
- ・食事をとらなくて困った
- ・人間不信、特に男の人に恐怖感があって逃げ感う
- ・先住猫と激しくケンカした
- ・家族にはとても慣れてよいのですが、他の犬と仲良くできません 闘争心が強く、特に近所の一匹だけはケンカをして傷を追わせました
- ・2ヵ月ほど乳が出て大変だった
- ・幼犬の時に夜鳴きがひどく、近所に迷惑になるために抱いて夜を過ごし、とても大変だったが、1年経ち、今はよい子です
- ・食べ物にこだわる ドッグフードを嫌い肉類を好む
- ・以前から飼っている犬となかが悪い
- ・夜になると興奮してうなり声をあげ、暴れたり高揚した
- ・もらった犬が強く、前からの犬が精神的にかわいそうな事をした
- ・定期的に散歩に連れていけなかった
- ・何をいってもわからなかった
- ・以前は室内で飼われていたようなので慣れてくれるか心配だった
- ・トイレが覚えられない
- ・排便排尿を部屋のあちこちでする
- ・気性が荒い、よく噛みつく
- ・散歩中放すと泥水を飲んだり泥水で体を汚したり他の犬の糞を体になすり付けて体を洗うのに世話がかかった
- ・1ヵ月程下痢が続き、病院に行ったり、食事を変えたり大変でした
- ・初めは食欲がなく、一言も声を出さなくひどくびくびくした様子であった
- ・甘えん坊でひとりになると寂しがる
- ・数ヵ月間定刻に遠吠えをした 現在はない
- ・世話の出来るのが一人だったので
- ・車に酔う
- ・よく吠えるので近所に謝りにいった
- ・よく鳴いていたので隣の人が怒ってきた
- ・よく鳴いていた (他3)
- ・夜中によく鳴いた (他1)
- ・使の躰けに苦勞した 現在ひとりで留守番しているので帰ってくると何か悪さをしています
- ・屋外で放し飼いをしたが、植木や建物を噛み切った
- ・以前からいる犬との仲、屋内でのトイレのしつけ
- ・けんか
- ・食餌アレルギー
- ・暴れて物を壊す
- ・食べ物を勝手に食べてしまう

- ・おとなしくとても飼いやすい
- ・落ち着きが無い
- ・人に咬みつく
- ・柵を高くしても乗り越える、散歩をよくねだる
- ・慣れるまで他の動物や人を攻撃する傾向があった
- ・食事を食べない
- ・小屋の居心地が悪かった
- ・家族の反対、餌をすぐ飽きる
- ・よく吠える
- ・既にいた犬との仲
- ・トイレの躰（他2）
- ・近所から苦情の電話を受けた
- ・網膜剥離
- ・物を壊す、動物を引っ張る、ガツガツ食べる
- ・性格が解らなかった
- ・食糞
- ・番犬にならない（他1）
- ・アレルギー
- ・逃亡
- ・近所迷惑、睡眠不足
- ・咬むため、こちらも警戒する
- ・咬み癖
- ・鶏を追い回した
- ・病気ばかりした 嘔吐、元気がなかった
- ・火がこわい 犬小屋に入らない
- ・通行人に吠える
- ・目が不自由なので怪我を心配した
- ・声がでない 屋外、鎖が嫌
- ・散歩中、気に入らない犬にすごい勢いで吠えかかる
- ・既にわが家にいる雄の犬を噛みにいきます 庭も半分に分けています
- ・団地なので周りの迷惑
- ・おびえがひどく、番犬になればよいと思っ
- たがそうではなかった
- ・初めのころ食事中人を噛むことがあった
- ・先に犬がいたことで父親と意見があわなかった
- ・トイレの躰ができていないためいまでも大変困っています
- ・飼っていた猫が同じような症状で犬が亡くなって一週間ほどして亡くなりました
- ・なつかない よく逃げる なかなか捕まらない
- ・たぶん外で飼っていた犬らしく、最初は家の中でおしっこをすることがあったが、かしこい子なので今はしない
- ・元々いた犬がやきもちをやいたりした
- ・最初たろう（138番）を嫌っていた
- ・積木や鉢植えをほとんど壊された
- ・慣れる前は警戒心がつよかった
- ・家から勝手に出ていくことが多かった
- ・発情期によく鳴く 脱走する
- ・おびえがひどくそれをほどいてあげるのに時間がかかった
- ・トイレの問題（しつけが出来ていない）変な咳をしていた（1ヵ月ほどで直りました）
- ・よく吠える
- ・過酷な中を生き抜いただけあって、とにかく元気、とても賢い
- ・ガレージに居る犬と猫に怒る その他はなし
- ・当初非常におびえた様子だった
- ・やきもちやき 遠ほえが激しい
- ・引き取った時にはまだ家が再建出来ていないため、後の期間が困った・試行錯誤はあった
- ・回虫が寄生し弱っていた
- ・室内飼育をしたため排尿のしつけに苦労しています 他人のイヌに時々喧嘩をしかけます ネコ を追いかけてました 現在は大分

ましになりました

- ・初め、牙をむいて噛んだりした
- ・病気をよくする
- ・子供に噛みつき、子供がいやがるようになった

設問6-2猫

- ・皮膚病は2ヵ月程で治ったが自分の毛をむしる癖がついてしまった
- ・よく噛んだ
- ・牝猫がいたのでうまく行くか心配だった
- ・とても恐がりで、神経質だった
- ・春先に家中にスプレーして大変だった
- ・排尿排便を食器や水入れにしてしまう
- ・カンズメ以外のものを与えると吐いてしまう 高い所が好きなので上の方の人形等を落としてしまう
- ・先に飼っていた猫をいじめるときがある 大きな音に臆病
- ・不在の時に世話が遅れた
- ・下痢、グルーミングをいやがる
- ・初めの1ヵ月間下痢が続いた
- ・自分の帰りが遅い時が可哀相
- ・既にいた猫と仲
- ・慢性皮膚炎
- ・下痢、食餌制限、世話
- ・前から飼っていたことの折り合い
- ・母は動物を怖がり部屋でかうことを嫌がった
- ・健康状態には問題がないということで連れてきたが、猫のエイズのようなもので少し納得がいかない
- ・病気がちで非常な寒がり 多尿で、トイレの砂をかき出す 餌と水をこぼしては要求する
- ・雄の去勢済みと言われていたのに9月に出産(1匹)、常沢先生他、所長さん等とご相談したにも関わらず、本部に相談するの
- で返事は待つて欲しいとのことでしたが、返事はいただけませんでした
- ・飼い始めたころは暗いところに隠れて出てこなくて餌も食べなかった
- ・手を噛まれて腫れ上がり入院してしまった
- ・早期の段階で全く気付かなかった
- ・よく怪我をして帰ってくる(ケンカはしないが)ので心配です
- ・他の猫とケンカした
- ・最初はなんにも食べず、トイレをカーペットの上でした
- ・回虫が他の2頭の猫にも伝染してしまいました それから、今は落ち着きましたが、猫のテリトリー争いが激しく大変でした
- ・最初は何度も外の猫に反応して大声で鳴いた(今は違う)最近は少しにおいつけをすること
- ・人間を信じて無いみたいで、ずっとおびえていた
- ・すでにいる猫との仲が悪く、ケンカをしないように注意を払う点
- ・皮膚病があったため他の猫にうつったため治療が大変だった
- ・同時に預いた猫に皮膚病があったためうつった
- ・マンションということ トイレがなかなかうまくできない
- ・一時家出 3匹の子供とともに帰ってきました
- ・それまで飼っていた他の猫(複数)によくいじめられている
- ・他の猫と合わなかった
- ・他の一緒に引き取った猫と折り合いが合わない
- ・普通の生活体験がとほしいのかストレスなのかひもや鉛筆などを食べた 火を恐がらない

- ・性格がものすごくきつく、他の猫と合わず別の部屋に入れてある
- ・家族的にあまり猫は好きでないから世話が大変です
- ・前から飼っている猫とすごくはなかよくならなかった

設問6-3犬

- ・震災を身近に感じるようになった
- ・番犬になっています（他2）
- ・心にかける生き物がいることはいいことだし、朝晩の散歩は冬期はつらいこともあるが、健康に良く、楽しそうな様子を見るのがうれしい
- ・犬の性格を見て、子供たちに責任感が出てきました
- ・散歩で運動不足の解消になっている
- ・番犬の代わりになった
- ・家の中が明るくなった、癒めになる 被災した厳しい状況の中では人も動物も同じである 生きるための前向きな努力を教えてくれた
- ・帰ってくると尾っぽをちぎればかりに振って迎えてくれる
- ・子犬から来たのでよくなれている
- ・わが家の名カウンセラーです
- ・主人が会社に出かけた後、一人になっても淋しくない
- ・人にすぐに吠えて飛びかかろうとする 家に入りたがる
- ・今まで以上に犬関係の友達が増えました
- ・門番代わりになる
- ・毎日の散歩が大変ですが、運動不足の解消になり、また子供のよい遊び相手になっています
- ・規則正しい生活ができるようになり、家の中が賑やかになりました また、家族の会話もより増えたように思います
- ・家族が増えたし犬の散歩が健康につながっている
- ・見た目、恐いみたいなので番犬になる
- ・引き取った直後に前から飼っていた犬が突然死に、ショックでしたが、子供にとっては今回の犬がいたのが悲しみを忘れさせる為によかったと思います
- ・吠けや性格の矯正に手がかかる・子供も大人も心が和みます
- ・散歩のおかげでずいぶんスリムになり、健康になった
- ・高血圧の母が散歩のために血圧が下がった
- ・以前に飼っていた犬が死に、とても淋しかったが、今の犬を引き取り大変助けられました
- ・以前飼っていた犬が1年前になくなりました この犬が来るまで皆の力が抜けたような生活で したが、この犬が来てから家の中が明るくなり、皆が生き生きしました
- ・話題の中心になった
- ・ストレス解消となります
- ・子供たちの震災後の不安な気持ちを犬とじゃれあうことでストレス解消になった
- ・震災で落ち込んだ気持ちを救ってくれた
- ・優しい気持ちになれる 見ているだけでホッとする
- ・朝の鳴き声で皆起きます 家中明るくなりました
- ・子供がとても喜び、動物をかわいがることによって家族の絆も強くなった
- ・よく鳴くので、家族で心配している
- ・娘達が楽しむ機会が増えたこと
- ・近所のアイドルで、病弱なおじいちゃんの機嫌がよくなります
- ・手間がかかる
- ・震災について大いに考えさせられた

- ・苦しむのを見て、つらい日々もありました
- ・子供が結婚したので夫婦二人だけの寂しい生活に潤いを与えてくれる
- ・頑な心を開かせ、少しずつ体力がつき毛並みがよくなり太っていくのを見る喜び 老犬が刺激 されて以前より元気になった
- ・先住猫とケンカしたので引き取った猫に申し訳なかった
- ・行動で神戸に協力できたこと（教育）
- ・犬の散歩を兼ね、家族全員の運動不足解消、また、夫婦で弁当を持ち犬とともに休日に出かけ、く回数も増えてとてもよかったです
- ・この世で一番愛している犬の役に立つことは私と家族にとってとても幸せなことだ
- ・誰にでもなつくので近所の人にもかわいがられています
- ・性格のよい明るい子で近所でも人気者です生活にハリが出て飼ってよかったと思っています
- ・つらいことや嫌なことがあると犬と遊びなぐさめてもらっている 散歩はみんなにとってよい 運動になっている
- ・とても人になつき息子が増えた様楽しい
- ・鳴き声で近所から苦情
- ・犬が好きになり理解が深まった
- ・最初は不安そうで心配でしたが、徐々にこちらを信頼してくれるようになりうれしいです
- ・犬の為にいいながら結構家族がいろんな意味で勉強させられる所があります
- ・犬の散歩が日課となり、運動する機会が増えた 犬がのんびり寝ているのを見ると気分が落ち着く
- ・無駄吠えもなく、かと言って番犬になる程度は吠えてくれますし、子供のいない我家にとっては子供の代わりにしてくれて毎日
- が楽しい
- ・家族の一員立場となっている
- ・散歩に出掛けるようになってから自然の四季の変化を知り、ストレスの解消になっている
- ・寝食を共にすることにより家庭内がとても明るくなり、話題も増えた
- ・我家の一員になっています
- ・犬がいると寂しくない子供たちがいて
- いる
- ・家族とひとりとしてなくてはならない存在です 子育てしているようで楽しみも苦しみもあります
- ・かけがえのない存在です
- ・会話が少なくなりかけた時に犬が来ると犬を通じて会話がはずむようになった
- ・飼っていた犬の急死の淋しさがまぎれた
- ・夫婦二人で話もなかったが、犬が来てから楽しい思いをしています
- ・以前飼っていた犬が亡くなり淋しかったので
- ・震災で落ち込んだ人間を本当に慰めてくれた
- ・会社のみんなに可愛がられなごんだ
- ・4カ月に発病し手術も繰り返したので経済的にかなりの負担だった
- ・番犬として役に立っている
- ・里親探しの一時預かりのため
- ・散歩が必要で、私自身の健康に良かった
- ・犬が好き
- ・父が犬嫌い
- ・既にいた犬と予想以上に仲がいい
- ・家族の一員になった
- ・家族のコミュニケーションの一助、気持ちを落ち着かせてくれる
- ・家族の一員
- ・心がなごむ

- ・散歩ができる
- ・家族の一員
- ・家族の気持ちの拠り所となった
- ・自分より小さいものの気持ちが解った
- ・話題が増えた
- ・既にいた犬がとても優しくなった
- ・猫とは違った可愛さがある
- ・知り合いが増えた
- ・既にいた犬猫とも仲がいい
- ・家族が増えたようだ
- ・わが子と一緒
- ・家庭が明るくなった
- ・よく歩くようになった
- ・家族が平和に、明るくなった
- ・特に父親が可愛がっている
- ・活気が戻った
- ・よく吠える
- ・世話が少し大変
- ・家族はあまり関わっていない
- ・子供には被災犬のことが理解できた
- ・家に活気が出た
- ・家族を見た楽しませしてくれる
- ・子供がすごく喜んでる
- ・いぜん可愛がっていた犬同様よくなつたため
- ・家の者と外部の人をすぐ見分けたので番犬の役割を果たし家の者にはよく甘え心をなごませしてくれる
- ・子供と一緒に散歩するようになった
- ・とくに家族がどうのこうのというわけではない
- ・家の中がにぎやかになり、話題によく出る
- ・家族以外の人に吠えるので近所に迷惑を掛ける
- ・膝をいためていた家族が、散歩が日課となり元気になった（他1）
- ・家族の一員となっている
- ・一日中遊べない
- ・親子の共通の話題ができた
- ・家族みんながとてもかわいがり、散歩もみんな協力しあい幸せにしています
- ・にぎやかになった
- ・一度に犬と猫を亡くしたことは幸いとは言えませんが家族で協力して最期まで諦めないで手当 としてやれて良かったと思います
- ・人見知りすることなく性格が明るいので家族のみんなからかわいがられている
- ・今や家族の一員 この子なしでは考えられないというくらい、わが家にとってかけがえのない存在になっています
- ・なつかない
- ・家族の一員とした みんなで話ながら可愛がった
- ・賢くて良い子なので良かった 今では家族にとってなくてはならない存在です
- ・一緒に遊ぶのが楽しい
- ・リッキーの笑顔を見るのが楽しい
- ・人好きな花を植えることが出来なくなった
- ・子供たちの情操教育に非常に役にたった
- ・父母の話し相手になってくれる お腹を引っ込める散歩の手伝いをしてくれる 家のなかの怒られ役をかってくれる
- ・なにか人助けをしたかったから
- ・老人にとってちょうどいいあいでのような
- ・逃げ出すたびに探して大変だった
- ・無駄吠えがなくおとなしい
- ・子供が可愛がっている
- ・心に潤いをあたえてもらった 心が和んだ
- ・「じいちゃん」と名付けました 呼んでも反応の鈍いとほけた奴ですが、可愛がっています
- ・散歩がづらい時がある
- ・家族の会話の中心が犬、猫のことが多い

- ・三田動物救護センターに居たときよりも元気になるし、1頭なので良く目もいきとどくので、食べ物も安定している 家族もかわいがっています
- ・あまりかわいいので以前よりきっちりと朝夕散歩に40分かけていっています
- ・責任をもって動物の心身共の健康を守るには経済的肉体的精神的な負担が大きい
- ・ストレス解消になる
- ・子供が犬を避けるようになった

設問6-3猫

- ・気持ちが豊かになりました
- ・家族が一人増えた印象です
- ・心が和む
- ・夫婦だけの生活に孫が来たようです
- ・病院のケージにいれているのでここに来て良かったのか判らない
- ・家庭が明るくなったし、家族間の会話が増えた
- ・家族の一員と思ってます
- ・しんどいはずなのに一生懸命生きているからがんばろうと意欲がわく
- ・なつっこくてひっつきむしで以前の猫のようだ
- ・子供たちはトイレの世話、食事や牛乳を与えて可愛がっています 家族が家族以外のものに目を向けることは大変に和やかで良かったと思います
- ・反応に乏しく、引取って猫が幸せかどうか疑問である
- ・一人暮らしの寂しさが随分癒される
- ・独り暮らしの中、早く帰宅する源となった
- ・目をなおして里親を探そうと思う
- ・家の中が明るくなった
- ・心がなごむ、励まされる
- ・笑いが増え、優しくなれた
- ・引き取ってから3ヶ月になるがいなくてはならない存在
- ・慣れる前に病気で死んでしまったので、とてもかわいそうで、無理に連れてこないほうがよかったのかと思っている
- ・いつも犬、猫がいるので増えただけ 子猫からかわいいと思ってもらってきたのではないので
- ・子供たちの発育にプラスになったと思う
- ・引き取るべきでなかった
- ・猫とは思えないほど鈍くさく体の向きを変えるにも時間がかかり、階段も始めは上れなくて丸太の上を歩くこともできないし、とても楽がりです でも、手のかかるこの子の世話をしている時とても幸せな気持ちにさせてくれます
- ・引き取った猫が幸せだと思いたい
- ・以前かっていた猫が死んで聞かなかったせいか子供たちがとても喜びました
- ・2ヶ月間は不妊手術をしてはいけないと言われたが、子猫が生まれてしまい家族の間でもめた
- ・迷い猫だったので避妊手術をする事を止められていたので、子猫が産まれてしまい大変だった 今回は子猫も我家で飼っているが、こんな事では新たな捨て猫が出るかもしれない、なんのために施設があったのかわからなくなる 人間同士のトラブルより、その猫や子猫の心配をすべき
- ・家族みんな動物好きなので1頭1頭の個性の違う分飼ううえで楽しみも増えました センターから引き取った猫も幸せそうで、穏やかな顔を見ていると、良かったと思います
- ・うちはうるさい姑さんがいるので、猫のお陰で私自身気持ちが和みました
- ・なんだか怖がっている様子だった

- ・子供が喜んでいる
- ・良い子だったので気分的にも良かったです
- ・よくなつてくれて良かった
- ・かわいい仕事で愛嬌を振りまき、今ではすっかり家族の一員になって生活しています
もしかして猫中心かも？
- ・驥が今からでは出来ないため人の食事のときは紐でつないでおく
- ・全部で5匹になりましたが、それぞれ個性があって飽きません それぞれかわいい
- ・やんちゃで家の中がめっちゃめっちゃになる
- ・話題の中心になる 気がまぎれる (他1)
- ・いるだけで心が和む 留守にしても帰ったら迎えてくれる 手術の時に家を1日空けただけでさびしい思いをした いてくれないと寂しい
- ・主人にとっては困る存在らしいですが子供は特にかわいがっています
- ・他の猫とケンカをします
- ・元気がよくほほえましい
- ・センターの方から以前の食事、名前他をほとんどおしえて貰えなかった 特に老犬の場合で以前の飼主がはっきりしている場合には以前の飼育状況を詳しく伝えていただきたい
- ・以外と業務的にあっさりしていたのにびっくりした
- ・トイレ以外でおしっこをする
- ・苦勞してますけど、それほどの苦勞とは思っていません
- ・なれるまで夜になると鳴き、近所に気兼ねした
- ・食べ物の好みが変わらなく、いろいろなフードを買い無駄にした
- ・病気になったとき心配だった
- ・初めの犬と10日間でわかれなければならなく非常につらかった
- ・何回か噛まれ、食事が糞沢
- ・何度も何い性格を理解して慣れてから引き取ればよかった 一目見て決めたため解らないことばかりで困りました
- ・センターの苦勞がわかった フィラリアがひどかった
- ・子犬は人気があり抽選だった
- ・引き取るときに避妊手術をするしないでボランティアとセンターの人との意見が対立したようで、後日手術をするとの約束でやと引き取らせてもらった
- ・遠距離を車で連れて帰ったのが犬には負担だった様で食事をいろいろと与えたが食べなく、吠えたり、鳴いたりもした (3ヵ月位声を出さなかった)
- ・散歩などでの健康維持
- ・迷子犬だったので譲渡まで数ヵ月待った
- ・家に車がないのでセンターで有料で送迎してくれれば
- ・この犬の前にも犬を引き取ったが、その犬

設問6-4犬

- ・申し込んでから2ヵ月待ちました どうしてももっと早くにならなかったのでしょうか
- ・帰り道の交通事情が悪く苦勞した
- ・トイレや冬の寒さ
- ・苦勞もあったが幸せを与えてくれた
- ・センターでの生活をもっと聞きたかった
- ・以前の様子が判らないため、馴れるまでよそよそしく大変だった
- ・今までの生立ちが判らなく苦勞している
- ・道が判りにくく、遠かった
- ・生後6ヵ月といわれましたが、譲渡時に妊娠しており、5月に3匹出産しました 幸い友達が 貰ってくれましたが
- ・家のなかでいたずらをした 前からいる犬と吠えあい大変だった 散髪代が高かった

- の飼主が見つかり手放した 子供の感情が乱れた
- ・毎日の運動
- ・鳴き過ぎるため
- ・大きい犬で自宅まで連れて帰るのが大変だった
- ・前から飼っていた犬2匹と折り合わない
- ・1週間ほどのチェック入院の後だったので落ち着いてやって来た
- ・他の動物を攻撃するため
- ・手続きがスムーズだった
- ・輸送（他3）
- ・経済的に辛かった
- ・トイレの躰
- ・訓練が大変
- ・センターでの過保護が里親の苦勞を招く
- ・何回か予約があるとかもらってくれとかくりかえした
- ・無駄ほえを全くせずおとなしい
- ・夜中に泣くので近所に気を使う
- ・連れて帰るとき、抵抗なく、車でもおとなしかった
- ・父が海外に単身赴任してしまったので世話をする人が減った
- ・熊本からでしたので遠かった 苦勞とは言えないけれどそのときは夢中でいきましたのであつという間に連れて帰りました 遠いので
- ・引き取ってから五か月頃ロープに足がからまり脊椎損傷を起こし現在も通院中 当時は下半身マヒで寝たきりでしたが、現在は歩行も困難無く元気で散歩もできぐいぐいと引っぱりとても喜んでます
- ・親を説得すること
- ・苦勞したのかもしれませんがそのときは一生懸命でしたのでいまは満足しています・引き取ったとき子犬だったのですぐに環境

- になれた
- ・人を咬んだ
- ・サークルの購入や庭の改造
- ・何度も救護センターへいき引き取れる動物を探した
- ・あまり懐かなかつた 散歩に行こうとしなかった
- ・神戸から持ってくる時 車中で東京まで延々ピイピイ鳴かれた
- ・手紙やアンケート調査など煩わしい
- ・2、3回咬まれた
- ・連れて帰るとき それと処方食が高価なので…
- ・輸送が大変だった
- ・私が欲しいと思っていた犬にぴったりで喜んでます
- ・鎖を引きちぎる
- ・あまり苦勞しなかった
- ・地震の後遺症が和らぐのに2ヵ月かかった

設問6-4 猫

- ・白血病にかかり、毎日の通院が大変だったけどせつかくうちの子になったのだからという気持ちが大きかった
- ・前からいる動物との同居飼育に時間を必要とした
- ・片目がないので世話がかかった 目が空洞でその後遺症になり通院した
- ・好きな猫がいつも側にいるので何をしても苦勞とは思いません
- ・手術の期日の様なものがあり経済的にはちょっと苦しかった
- ・猫にストレスがたまらないように大変に気を使った
- ・受取りに行くのが大変だった
- ・抜糸を予定より早くしてもらって助かった
- ・輸送（他1）

- ・当初1ヵ月程、筆筒のすき間に入ったまま出てこず食事も10日に1度くらいで排便等大変苦勞した。少しなついてきたころに逃げ出し3ヵ月外に食事を運んでやっとなついてきて家に連れて帰ることが出来た
- ・非常時の対応で承知の上だが、やはり1日かけて引き取りに行くのは、大変だと思った
- ・雌だといわれていたのが雌で子供が生まれるまで気付かなかった
- ・トイレの糞など、良くされていたので、何も苦勞しなくてすみません。人にも慣れているようです
- ・今まで飼っていた猫よりけんかが強いので今まで飼っていた猫にストレスがたまっている様子
- ・以前に猫を飼っていたのでそのままずっと飼えました
- ・医療費が大分かかりました。不妊手術、回虫の駆除（3頭分）、ワクチン接種、目やにの治療など
- ・わが家においでる時間が長くなかった
- ・トイレのしつけがされており助かった
- ・病氣治療と痩せ方が異常だったので元に戻すのが大変だった（他1）
- ・引き取り後1ヵ月ぐらいの落ち着かない時期に近所の人を咬んで傷を負わせた（その人がいきなり抱いたため相手も落ち度を認めたため、その後の付き合い関係は良好）
- ・もともといる動物と慣れさせるのに最初だけ苦勞した
- ・他の猫と合わない
- ・三田まで引き取りに行った（姫路から）
- ・三田は遠かった
- ・性格がものすごくきつく、他の猫と合わず別の部屋に入れてある

- ・靴下等を食べてしまうので多少心配した（他1）
- ・家の中で飼っている動物が増えてしまった
- ・次の里親を探すのに非常に苦勞した。無期限と言われていたので
- ・長い時間かけて電車で千葉まで連れてかえるのがかわいそうだった

設問9-1 犬

<望む>

- ・捨て犬や捨て猫を少なくしたいから
- ・野犬や野猫が人に迷惑をかけ、それだけでなく動物嫌いな人が毒殺したり傷つけたりしたらやりきれないから
- ・捨てられる哀れな動物を救いたい
- ・私たちと同じ生命体だから
- ・犬は家族の一員であり、捨てる人の気が知れないが、どうしても飼育することができない。犬のために必要です
- ・様々な理由で犬や猫を買えなくなる人がいます。里親制度が徹底すれば捨てる人が減るのではないのでしょうか
- ・無責任な飼い主がいる限り必要
- ・人の助け無しでは動物は何もできない
- ・飼えなくなった動物が直ぐに保健所行きでは可哀相
- ・人も動物も生きるすべてのものは同じであると思う
- ・動物愛護の観点から
- ・どんなものも幸せに生きる権利がある
- ・飼い主の責任有る行動をサポートする施設がある程度必要
- ・いろいろな事情で飼えなくなる場合もあるので正当な理由があれば施設で預かってあげてほしい
- ・野犬、野良猫は人間にとっても動物にとってもよくないから

- ・家庭の事情でしゅうできない時に保護できるように
- ・動物愛護の意味から必要
- ・施設がなければ動物たちが可哀相
- ・犬猫の幸せのために
- ・不幸な動物をなくすため
- ・動物であっても幸せに暮らす権利があり、人間はそうしてやる義務がある
- ・一頭でも多くの飼主あるいは里親が見つければいいと思います
- ・動物は口がきけないのでもっと保護してあげるべきです
- ・身勝手な人間が多いから
- ・これから先何があるかわからないから
- ・望みますが、ボランティア形式でなく、行政がやるべきだと思います
- ・動物が好きだから
- ・行き場のなくなった動物の保護のため
- ・必要とする人がいると思うから
- ・動物であれ人間であれ生命は大事である
- ・一匹でも幸せにしてやりたい
- ・多くの犬の中から選べるから
- ・捨て犬捨て猫を見るたびに施設があればと思います
- ・人間として当然の義務だと思う
- ・野放しの成犬は危ない
- ・飼主に捨てられ保健所に連れて行かれるのはかわいそう
- ・公的施設なら
- ・どうしても手放さなければならない方の事を思うと処分されるより譲渡が良いと思う
- ・犬猫も人間と同じ生き物だから、出来る限りの所で引き取り生かしてあげたい
- ・捨てられることを防ぐため
- ・何らかの理由で飼えなくなることもあり野良犬にさせないため
- ・生あるものの大切な心を持ちたい
- ・あまりにも簡単に捨てられる犬や猫が多くてかわいそうだから
- ・人間の一方的都合ではあるが、飼えなくなることもある。放置すると野犬化等の問題もあり施設があればいいと思う
- ・子犬がいいと思っていたが、成犬でもなつくことがわかった
- ・何かの理由で飼えなくなった場合、動物には罪はないのだから放置するのは問題である
- ・不幸な犬や猫を少しでも減らすため
- ・高価な犬は価格の面で入手困難なため
- ・突発的な災害で飼えなくなるかも知れないから
- ・犬や猫には責任がないから
- ・動物の命を大切にしたい
- ・人間の都合で動物の生死が決められるのは理不尽
- ・犬も猫も生きる権利を持っているから
- ・飼主の都合で飼えなくとも、飼い始めた以上終生飼育するのが当然であるから、施設は必要
- ・天寿を全うしてほしい
- ・生きるチャンスをすこしでも与えたい
- ・1匹でも救われるとホッとします
- ・探せば飼う人はいると思う
- ・動物愛護の精神から
- ・不幸な犬猫二もの越された人(犬)生を全うするチャンスを与える場所があってほしい
- ・大切な命を守りたい
- ・保健所で殺してしまうのは可哀相
- ・核家族の子供たちに命の大切さを教えられる
- ・彼らの生命を守りたい
- ・事情があって飼えなくなりペットを捨てる人が減ると思うから

- ・欲しいと思う人は沢山いるのではと思います
- ・飼えなくなるケースも多くなるので
- ・一匹でも多くの動物が処分されなくて済むように
- ・動物を飼いたい人は沢山いると思う
- ・一匹でも幸せになってほしいから
- ・多くの動物ずきの人がいるとおもうので
- ・生命あるものですから大切に育てれば家族同様になると思います
- ・今回の場合、人でも大変なときにも思うが、もし、こういうセンターがなければ手放さなければならぬ飼主の思いも大変だが、野放しになった動物が町にあふれて、かわいそうだ し大変だと思う
- ・処分される動物が一匹でも少なくなるとは嬉しいと思います
- ・野良犬野良猫等がなくなると思うから
- ・一匹でも多くの子たちを幸せにしたい
- ・動物の人間も同じ生き物、命を大切にしたい
- ・放浪動物には出来ない
- ・我家のように譲渡を期に、犬の人間も幸せになれるから 命を大切にしたい
- ・無責任に犬や猫を捨てる人があとを絶たない 最終的には保健所に行き殺されてしまう
- ・公園で以前は飼われていたような犬がうろうろしているのはかわいそう
- ・人間の都合で動物が困らないため
- ・犬猫の保護のため
- ・不幸な犬をみるのはつらいので里親が見つかるまで
- ・野放しにされるのはかわいそうだから
- ・動物愛護の立場から是非必要だと思います
- ・少しでも動物が幸せになってほしいから
- ・やむをえない理由でペットを飼えなくなるときに飼育を任せられる施設があれば心強い
- ・野犬化しないため
- ・野犬化しないため
- ・要らないからと捨てないで欲しい
- ・動物を飼うことには経済的・体力的負担がかかることを宣伝し、無責任な扱いをやめて欲しい
- ・家族の健康上の理由で世話ができない場合
- ・飼い主のいない犬、猫が存在している
- ・保護する動物がいる限り保護すべきだ
- ・人間のエゴで殺されてしまうので
- ・動物愛護の精神より
- ・災害時は必要
- ・引き取る者がいるならその方が幸せ
- ・災害時は必要
- ・動物の幸せのため
- ・どうしても飼えなくなる人がいる
- ・殺されるよりはいい
- ・動物の幸せのため
- ・施設があれば捨て犬、捨て猫が減ると思う 飼いたい人も手に入れる機会が増える
- ・動物の幸せのため
- ・可哀相
- ・捨て犬猫のため
- ・動物・人のため
- ・野犬化防止
- ・保健所の機能充実
- ・捨て犬猫のため
- ・動物への責任
- ・里親を望む人への機関が必要
- ・処分するのは可哀相
- ・最後まで面倒を見ないことがある
- ・野良犬猫防止
- ・保健所行きは可哀相
- ・野良犬猫防止
- ・個人には限界がある

- ・動物愛護、生命の尊厳の認識
- ・動物を無駄に殺したくない
- ・捨てられたり殺される前に飼ってくれる人を捜すべきだ。またその場しのぎの制度であってほしくない
- ・野犬化防止
- ・幸せになってほしい
- ・里親を捜すべき
- ・個人には限界がある
- ・ボランティアでは限界がある
- ・生まれてきた以上幸せに生かしてあげたい
- ・無くてすむのが1番ですが不幸な犬猫が多い現状なので
- ・飼い主のいない寂しそうな犬猫をたくさん見てきているので
- ・手放さざるを得ない飼い主にとっては助かると思うので
- ・動物達の無駄な死を避けるため
- ・野良犬になるとかわいそう
- ・何らかの理由で飼育できなくなった場合の救済措置として
- ・万が一飼えなくなった時にも恵まれた環境に巡り会う可能性が与えられるため
- ・捨てられると、近所迷惑だから
- ・犬にも人間といっしょで生命があります。生きてます
- ・お金で買うことに抵抗がある。多少は世のためと思う
- ・人間でも施設に入っており、動物も家族の一員である
- ・欲しいと思っているものにとっては良いので
- ・飼育は大変だとは思いますができるだけ続けて欲しい
- ・動物は自分でお金を出して生活できないから
- ・動物のためにも
- ・野良犬野良猫を増やさないために
- ・ペットはなにもわからない立場なので守ってあげるべきです
- ・人間に依存している動物が野性化して町中をうろつく姿を見るとどうにかならないかと思。うので、こういった施設は必要とおもいます
- ・動物、生命の尊さを子供にも教育できた
- ・必ず、暖かい思いやりや、税金を使っても生命を大切にしたいと思うから
- ・寂しい犬が少しでも減るように。1匹でも多く飼い主が出来て幸せな犬が増えるように
- ・むかしみたいに野良犬が居なくなり飼いたいひとが困る
- ・飼い主の病気や事故等で飼育が出来なくなる
- ・欲しい人のために
- ・動物の飼えない所や海外への移転などボイ捨てをなくすため
- ・良いことです
- ・少しでも犬たちをしあわせにしてやりたい
- ・野犬が増える。簡単に殺せない
- ・動物が安心できる（人間も）
- ・犬や猫には何の罪もないから
- ・前にも言ったように、病気等で飼育が出来なくなった時に、このような施設があれば安心して任せられる
- ・捨て犬、捨て猫が多すぎる。施設があれば減る可能性がある
- ・こういうセンターがあると聞いたときは感激しました。まだまだ喜ぶ方もたくさんいると思います
- ・可愛そうだから
- ・人間の身勝手に捨てられる動物を少なくするため
- ・動物愛護

- ・人間が一番身近な命あるものを人間の都合で不幸にさせるのは忍びない
- ・当たり前だと思います 困っている子（犬、猫他）は震災外でも居るはず
- ・心が癒う動物ですので人間の心に灯を与えてくれる
- ・生き物だから
- ・生き物は大切にしたい
- ・飼い主がいなくなった動物を人間の都合で殺しては行けない
- ・捨て犬や猫を連れていく
- ・可愛そうだから
- ・人間の義務だと思う
- ・少しでも殺処分される動物を減らしたい
- ・何らかの理由で飼育できなくなった場合の動物の行き場所が必要と思う

〈望まない〉

- ・1年未満だと馴れやすいが、それ以上では馴れにくいから
- ・基本的には望まないが、天災などの非常時には望む
- ・2 飼主がかえって無責任になる
- ・震災の時だから、前の飼主も飼えなくなったのでしょ。平常時は飼主が家族として一生をみてやるのが当然とおもいます
- ・引き取られた動物とそうでないものとのギャップが大きい
- ・飼い主のわがままを助長する
- ・開業獣医師が時間的に拘束されていた
- ・震災の場合は望む
- ・ペットショップがあるから譲渡のみを考えると不要と思う
- ・施設に預ける（捨てる）人が多いから
- ・責任をもって飼わなければならない

〈わからない〉

- ・3 公的資金で運営されるならば望む
- ・気持ち的には望むが、行政の協力が必要
- ・本当に犬猫を可愛がってくれる人が増える
反面気軽に施設に動物を持ち込んでくる可能性大

設問9-1猫

〈望む〉

- ・動物であっても生きていくかぎり幸せにしてあげたい
- ・捨て猫、捨て犬の受け皿を構築する
- ・人間と一緒に住む権利が有ると思う
- ・動物であっても一つの生命を与えられ人間と共存しているかぎり何らかの手をさしのべるべきと思う
- ・保健所のように処分されるだけでは悲しい
- ・人間の勝手に飼えなくなったら捨てられ野良にならざるをえない犬、猫たちは人間の手で保護すべき
- ・飼犬飼猫を捨てるのがなくなるように
- ・お金を出して買ってまで動物は飼いたくない
- ・一匹でも多く犬、猫が生きられればそれにこしたことはないと思います
- ・人間の勝手に捨てられているから保護されなければならない
- ・動物保護のためによい
- ・一匹でも野良犬、野良猫を少なくしたい
- ・いろんな理由で飼えなくなった動物野良になったら可哀相
- ・見捨てられる動物は無くならない
- ・街には野良が増えていくから
- ・人の勝手に捨てられた動物が死んでいなくてすむ幸せにしてもらえるところを少しでも探してほしい
- ・生あるものとして生まれてきた以上、一匹

- でも多く大切に育てたいと思うから
- ・一匹でも多く、飼主を見つけるために必要と思う
- ・人間の都合で捨てられたり処分されるのではあまりにかわいそう
- ・動物といえども生きる権利があると思う
- ・捨て犬捨て猫の受け皿を社会システムとして構築するのは当然と思う
- ・捨て犬捨て猫の受け皿を社会システムとして構築するのは当然と思う
- ・町に野良猫があふれているから
- ・動物も人間と同じように生きている
- ・出会いを無くしたくない
- ・人間同様幸せになって欲しい
- ・殺されるよりはいい
- ・殺されるのは過酷すぎる
- ・人の都合で不幸になるのが可哀相
- ・捨て犬猫防止
- ・不幸な動物がいる
- ・行政により処分されるのは可哀相
- ・動物が好きな人に飼ってもらえる
- ・被災動物救済
- ・欧米に近づければ
- ・野良猫、野良犬を増やしたくない
- ・野良犬、野良猫増加の防止
- ・行き場のない動物に対して、何らかの対応は必要と思うから
- ・保険所ですぐ処分ではなく、何週間か待てば助かる命もあると思う
- ・動物も生きるために生まれてきたから
- ・少しでも野良猫野良犬が減ればよいと思います
- ・私にとって動物、ペットは家族の一員です
捨てられて車にひかれているような動物を増やしたくありません
- ・毎年多くの命が処分されています この命を救うために里親探し、また、野良犬や猫を手術して元の場所返せば、かわいそうな命は生まれません 今いる野良たちもその命を全うさせてやるべきです
- ・入院や、死亡によって飼えなくなった時、すぐに飼い主が見つけれない
- ・人間に一番身近な命あるものを人間の都合で不幸にさせるのは忍びない
- ・動物管理センターに送られるよりずっといいから
- ・どのような動物も幸福になる権利を持っている
- ・捨て猫捨て犬は可愛そうだから
- ・捨て犬、捨て猫を増やさないため必要
- ・捨て犬、猫や処分されてしまう動物を減らすため
- ・路頭に迷う可愛そうな犬猫をなくするため
- ・動物にも生きる権利があるから
- ・里親を捜すのは難しそうだから
- ・野放しにされてはこまる
- ・昨今、引っ越しなどでどうしても飼えなくなった動物が可愛そうだから
- ・人も犬、猫も生命という点では同じ生き物であるのだから出来るだけ大切にしたいから
- ・人も犬、猫も生命という点では同じ生き物であるのだから出来るだけ大切にしたいから
- ・やっぱり管理センターで譲ってもらえるのを知らない人や、行きにくい人もいるだろうし、施設の方が行きやすい
- ・いわゆる捨て犬、捨て猫にせざるを得ない状況が改善される 避妊など、飼育方法の普及につながる
- ・捨て犬、捨て猫による野猫、野犬化を防ぐため飼い方のマナー等の普及のため
- ・日本の行政は殺処分にはお金をかけるが、譲渡には消極的である もっと積極的に里

親制度を行うべきである。行政のあり方を変えないと、無責任な飼い主も減らないのでは？

- ・おとなしく良くなつた成犬、成猫は実験動物として払い下げられるが、そのような動物こそ親しい里親が見付きやすいのでは？同じ税金を使うのなら殺すより生かすほうを望みます
- ・ペットは家族の対話に役立っている
- ・捨てられたり安楽死させられる動物を少しでも減らすため 特にいぬ
- ・ノラが減るだろうから
- ・被災以外でもペットを飼えなくなったとき（長期の入院等）に預ける施設があるとよいので
- ・動物が欲しい人といらない人との接点を考える方法があると良いと思います
- ・生きている以上どうにかして助けてあげて欲しい
- ・少しでも動物が幸せになれると思うから
- ・仮設住宅で長期に飼えなくなったときに
- ・飼った以上は最後まで飼わないと行けないと思うので
- ・可能であれば引き取る
- ・どうぶつが家族の和を取り持ってくれる
- ・不幸な動物を救うためには必要

〈望まない〉

- ・安易に手放す人が出る
- ・飼い主の教育に力をいれるべきで、施設の設定はまだ先の事だと思う。とはいえ、譲渡による取得の良い点は認めている（飼い主が変わっても、全体として1頭の動物を責任もって世話するという意味では）
- ・成猫はその土地で自立しているようなので、施設への収容＝幸せではないと思う。地震

の様に室内飼いの猫が多数発生し、人間に余裕の無い地域への援助とは根本的に違う。飼えない猫を飼える人に斡旋するような登録システムなら賛成するが、無責任な飼い主が増えるのでは…？

- ・飼い主さんがいるのなら飼いつけて欲しいし、野良犬／野良猫は保護しても保護しきれないと思うから
- ・飼い主の責任が曖昧にならないように
- ・営利を追及せず動物の命に携わる仕事なので人選を含め運営が難しいと思う

設問9－2犬

〈望む〉

- ・飼主の都合で殺すのはみがつてだから
- ・大人、子供は関係ないから
- ・不幸な犬をつくらないため
- ・犬の性格にもよる
- ・一匹でも不幸な動物を減らしたいから（他2）
- ・動物がすきである（他2）
- ・今の人が寿命を全うしたら、また新しい家族を受け入れることになるでしょう
- ・動物は正直だから優しくすればそれなりの答えを出してくれる
- ・最悪飼えなくなったときに安心だから
- ・子供か大人かと言うことはその動物には何の責任もなく、性格的になじめるかどうかと言う事だと思う
- ・やむなく手放す場合もあると思います
- ・やむを得ず飼育できなくなることもあるから
- ・難しいと思うが心で接すれば徐々に打ち解けると思うから
- ・幼犬・成犬には関係ないと思う
- ・飼育が容易かと思われる
- ・子犬を生ませて増やすよりも今生きている

- ・犬を最後までみてやりたい
- ・おとなしく、なつく犬がいればもっと飼いたい
- ・野犬化しないため
- ・何かの理由で手放されたもので、特に不幸だから
- ・成犬が飼いやすい人もいる
- ・残された時間を大切にしたい
- ・ペットショップで購入したくない
- ・欲しい人には幸せ

〈望まない〉

- ・成犬では愛惜が余りわからない
- ・好みであれこれ選ばれるのは可哀相
- ・成犬を飼うのは大変
- ・せっかく懐いているのにかわいそう
- ・子犬子猫のかわいい時も飼主にして欲しいし、大きくなってからはなつかないことが多いと思う
- ・子犬から飼ったほうが性格がわかる
- ・育てにくい（他2）
- ・飼い主が変わり、慣れないと思う
- ・成犬だと慣れにくい
- ・小さな頃から慣れ親しんだ家族のなかで、一生を終えるのがよいと思う
- ・一匹でも幸せになれればいい
- ・事情があって必ずいる人、要らない人がいるはず
- ・飼えなくなった人、犬猫が欲しい人手もどうすれば飼えるのか手に入れられるのか、わからない人がいます。そんなときにこういった制度があると喜ばれると思います
- ・どうしてもやむを得ない場合があると思う。処分されてしまう動物をなくしたい
- ・やむを得ない場合望むと思う
- ・路頭に迷う可愛そうな犬猫をなくすため
- ・今ではなくて、いつか
- ・その動物との付き合いだから、年齢は関係ないし子供でなければ馴れないとは思えないから
- ・最初は大変だけど、飼い主が努力すればきっと通じて信頼しあえると思う
- ・子犬、子猫は容易に飼える分、大きくなって捨てられる場合が多い。その点初めから成犬、成猫なら、本当にきちんと飼ってくれる人しか望まないのでは、一生かわいがってもらえるのでは？
- ・成犬、成猫も子犬、子猫と同じ命です。今の日本の行政のあり方は改善すべきです
- ・ノラが減るだろうから

設問9-2猫

〈望む〉

- ・家庭環境の許す範囲で
- ・いっぱいだから
- ・飼育困難飼育料不明等の場合は当然里親制度があるべきと思う
- ・一番幸せなことはちゃんと世話をしてくれる飼主の元で暮らすことだと思う
- ・生きているのだから
- ・家庭環境の許す限り引き受けたい
- ・成犬・成猫はとてもしやすい

〈望まない〉

- ・飼うならば子犬、子猫で目が合ったらかわいと思うものを飼いたい
- ・育てた人に責任感をもってほしい
- ・出来れば子犬子猫から育てたい
- ・懐きにくいから
- ・出来ることなら飼い主さんの元に帰りたいし、もともと捨て犬捨て猫は増やさないようにすべきだと思う
- ・慣れにくい。センターがはなれている

一時預けた人へのアンケート結果

設問6-1犬

- ・最初は声がかすれたり、神経質であったが、徐々に落ち着きました
- ・家族にはよく馴れたが、知らない人には怖がり、吠えたり噛むようになって困ります
- ・被災前の生活にもどり安定した生活をしています
- ・震災後物音にびくびくしていましたが1ヵ月ほどで馴れました
- ・元からかっていたから
- ・家族といると安心しています
- ・犬自身が捨てられたと思っていたのか鳴き声もでなくなっていました。どんな状態でも家で飼育するのが一番だと思いました
- ・シツケを厳しくしたら家族にもよく慣れました
- ・新しい元の環境に慣れるのに1ヵ月ぐらいかかった
- ・震災前からとてもかわいがって貰っていたので良く馴れていると思う
- ・二頭とも元の状態に戻った（他1）
- ・家族の言っていることをよくわかるようになり、子供たちもよく相手をしています。とてもかわいいです
- ・元気に毎日お散歩しています

設問6-1猫

- ・震災後物音にびくびくしていたが、1ヵ月ほどでなれた
- ・今の家にも3日ぐらいですぐなれた（他2）
- ・トイレが乱れた
- ・震災前に比べ性格が暗くなった
- ・最初のころは外に出ないでいましたが、家まわりに出るようになりました

・自分の猫

設問6-2犬

- ・よく鳴いたので近所に気兼ねしました
- ・家の中で飼えなかったこと
- ・転居先探しに困った
- ・祖母との意見の相違
- ・抱いたり、鎖をつなごうとするといやがり、噛みつくことがある。生まれつきの性格の様です
- ・庭の芝生や植木が駄目になりそうになった
- ・飼う場所がなかった
- ・怖がりになり吠える
- ・色が変わった
- ・仮設住宅のため近所の迷惑になった
- ・元の家が全壊で犬を連れていけなかった
- ・よく鳴く（他1）
- ・よく吠える
- ・引き取った際には、内蔵が少し弱っているとのことで葉を頂いて、他には異常がないとのお話をされたのですが、実際には目、耳、皮膚と病気があり今も耳は毎日治療をしています

設問6-2猫

- ・マンションのため絶対見つからないようにしている
- ・トイレが乱れた
- ・必要以上に神経質になっていた
- ・仮設住宅なので他の方に迷惑をかけない様に気を使っている
- ・引き取った二ヶ月間は私共は避難所だったので半壊の親戚の家に預けた。現在は仮設なので他の方へ迷惑をかけないように気をつけている

- ・仮設住宅は狭く、子供がアトピーで室内で飼うには大変気をつかった
- ・仮設住宅は狭くて室内で飼いづらい
- ・仮設住宅で飼っていたため（他1）
- ・仮住まいを傷つけないようにするのに苦労した
- ・仮住まいは動物を飼ってはいけなかったの
で家を傷つけないようにするのが大変だった

設問6-3犬

- ・震災の時には本当に困ったのが今では家族の一員（他1）
- ・震災で動物達と別れていましたが、淋しさで一杯でした。一緒に生活できるようになって家族の笑い顔が元通りになりました
- ・朝晩の散歩の協力者と思っています
- ・子供が可愛がっていた
- ・犬、家族ともに喜んでいる
- ・今回の地震を乗り越えた
- ・毎日犬の顔を見るといとおしく、手元で飼えることになりほっとしている
- ・現在仮設住まいだから
- ・環境に馴れて、センターにいたときは原因不明に突然倒れていましたが今ではその様なことはなくなりました
- ・夜間会社で一人だから
- ・犬にとっては良かったと思いますが、毎日薬を切らすことが出来ず治療費が毎月大変です
- ・家族の一員なので

設問6-3猫

- ・一緒に住めるようになり心がほのぼのとした
- ・猫がいると子供がいるようで明るい
- ・今後のことを考えると判らない

- ・夫と2人なので猫の話が出来ます
- ・以前よりわがままになっている
- ・前のアパートは放し飼いが出来たけど仮設住宅ではそうも行かず猫も人間も不自由な思いをした

設問6-4犬

- ・救護センターのおかげで本当にたすかりました（他1）
- ・センターから早く引き取るように頻りに電話が入り、無理ならば里親に出すように言われ電話が入るたびに淋しい思いをしました
- ・吠えたりしたときにいろいろ言われた（他2）
- ・引取りに行った時他の家庭に行っていて悲しかった。帰宅後他の犬と接触していたため、ジステンパーにかかっていた。センターは不衛生なのではないかと思った
- ・仮設なので苦労した
- ・自分の犬のことなので
- ・犬を飼っていただくためのアパートを探されるのに大変ご苦労や迷惑をかけたと思っています
- ・別れるのは辛かったが他にどうしようもなかった
- ・妻の実家まで遠いため車に乗せたが今まで乗せたことがなかったので多少興奮していた
- ・最初のころは散歩中に倒れたりしていたが、今は大丈夫
- ・いつも自分のそばに置いている
- ・どこで飼うか
- ・この頃は夫もだいぶ馴れて薬を入れたり塗るのもあまり嫌がらなくなりましたが、最初1ヵ月ほどは嫌がり大変でした
- ・近所の方が犬を嫌う

設問6-4 猫

- ・センターから度々里親に出せと催促されて、娘の面会時にもひどいことを言われつらい思いをした（他1）
- ・里親が見つからない
- ・非常に神経質になっており、元からいた仲間の猫と立場が逆転していじめられるようになり、かばうのに苦労した
- ・避難所で引き取ったのでどうしてよいかわからなかった
- ・引き取った時避難所だったのでどうしてよいかわからなかった

設問9-1 犬

- ・やむを得ず手放すときに、自分ではなかなか引き取り手が見つからないと思うから
- ・元気なときはよいが、散歩にもつれていけなくなったときに困るので
- ・混乱時に保護していただき、感動しました
- ・野良犬、野良猫はかわいそう
- ・人間の都合で不幸せには出来ません
- ・どうしても飼えなくなってしまう場合があると思うので（他1）
- ・飼えなくなったときの預ける場所として
- ・飼主のいない動物を見ると心が痛みます
- ・殺してしまうよりセンターで里親を探してもらったほうが良い（他2）
- ・動物のために充実してほしい
- ・可愛がってもらえる所で育ててもらうのがいいと思う
- ・かわいそうだから
- ・動植物も自然界の一員ですので救護センターを望みます
- ・野良犬や野良猫を増やすことはその動物自体不幸であると思う
- ・野良犬野良猫が増えるから

- ・今回犬が戻ってきたのでありがとうございます
- ・犬を飼っていると家やマンションを借りられなくて困る
- ・出来るだけ不幸な犬や猫をなくすためぜひ運営を続けてほしい
- ・野犬化しないため
- ・保健所で殺される哀れな犬猫を増やさないため（他1）
- ・マンションへ転居の予定ですが、その際に犬をどうすればよいか迷っています
- ・野良犬猫防止
- ・事情により世話が出来なくなったときのため
- ・あれば助かる
- ・事情により放置される場合もあり、しのびない
- ・やむを得ない理由で飼えなくなることもある
- ・野犬化防止
- ・今回一時的に預かってもらったおかげで、仕事、生活の再建がはやくできた
- ・不可抗力の出来事で飼えなくなったとき、なければ保健所行きになる可能性が高い
- ・災害のときは絶対に必要だと思いますが、常時の場合はそれなりの条件を付けないとなんにでも無料ということになれば飼い主のモラルの低下する恐れがあります（他1）
- ・まだたくさん飼主のいない動物がいるから（他3）
- ・飼主が病気になったりしてかえなくなったら困る
- ・生物はすべて生きる権利がある
- ・動物も生あるものです
- ・地震等の天災の時には望む 日常的にはいらない
- ・転動などで引っ越した場合捨てるわけには

いかないから

- ・災害のときは絶対に必要ですが、常時となると運営方法を考えないとかえって飼い主のモラルの低下につながると思います、外国にはいろいろな施設があるようですが、もし常時となるとそういう例を参考に考えていくべきだと思います（他1）
- ・同居したくても出来ない事情が発生することがある
- ・震災時などではやっぱり助けてやって欲しいと思います
- ・転職などの理由で飼えなくなったときなどに利用したい
- ・野良犬野良猫が増え危険
- ・大切な命あるものだから
- ・施設がなければ途方に暮れていた
- ・預けて後悔している（他2）
- ・最後まで一緒にいてあげたいから
- ・原則として動物を飼育する以上、最後まで責任をもって飼って欲しいが、今度のような震災時は特別でしょう

設問9-1猫

- ・少しでもよい飼い主に当たる機会を増やしてあげたい
- ・個人では色々な条件がそろわないと飼うことができない（他1）
- ・多くの動物によい飼主にあえる機会を増やしてやりたい
- ・震災で世話になり、とても助かった（他2）
- ・飼われていたペットが捨てられるのはとても残酷に思う
- ・かわいそうだから
- ・捨て犬筋防止
- ・命の尊厳
- ・どうにもならない理由（例えば飼い主死亡）で飼えない場合などの仲介などを望みます

- ・野良犬野良猫がなくなるから（他1）
- ・捨て犬、捨て猫が増えるよりは運営して欲しい
- ・不幸な犬猫を少しでも減らすため（他1）

設問9-2犬

- ・飼えなくなってしまったときに代わりに可愛がってくれる人がいるなら（他1）
- ・どうしても手放さなければならない人とそのペットのために（他2）
- ・特に子犬子猫より引き取り手が少ないので守ってあげるべき
- ・殺されるくらいなら
- ・隣の犬を見て
- ・性格による
- ・犬、猫がよりよい環境で生存できるのであればどういう形でも
- ・人間の住む場所にも困るような場合、ペットにまで気を配ってやれないから
- ・もし、1年後まだ残してきた猫2匹が里親に出されずいたならば、愛着があるのでまた育てたい
- ・我家で犬を最後まで面倒を見たいから
- ・死ぬまでそばに置く（他2）
- ・今までの思い出が一杯で、代わりの飼育は考えられない
- ・子犬の頃から飼わないと
- ・小さい時から育てたい

設問9-2猫

- ・根気よくつき合えばなれてくると思う（他1）
- ・元の飼主でなくともかわいがってもらえるならそれに越したことはない
- ・欲しい人もあると思う

譲渡動物の行動と里親の対応調査

●目次

I	結果の要約	イヌ編	148
		ネコ編	149
II	結果の概要	イヌ編	150
		ネコ編	159
III	本調査及び使用した用語の解説		167
IV	調査の概要		168
V	添付資料		174
	あとがき		198

平成8年10月

社団法人 日本愛玩動物協会

I 結果の要約

イヌ編

※(注)結果の要約は、イヌ編・ネコ編とも、保管譲渡(24頁の“用語の解説”参照)を実施した神戸動物救護センター分のデータによる。

(1) 現在の状況と飼養上の問題点について

- 現在(調査時)でも譲渡動物を飼っている里親は9割を占めている。(問4-9頁,35頁参照)
- 譲渡動物を引き取り、飼う上で困ったことが「あった」は6割近くを占め、「なかった」が4割強。「あった」人のうち、「今も解決できていない」が全体の2割を占めている。(問3-6頁,34頁参照)
- 困ったことの内容は、「動物の性格や以前の飼い方がかわらなかった」が3割で、「トイレのしつけがうまくいかなかった」が2割であった。(問3-1,複数回答,7頁,35参照)

(2) 譲渡動物(成熟動物)の適応度について

①里親及び新しい環境への適応について

- 成犬の里親へのなつき具合は、飼い始めて3ヵ月で8割強が、「現在」では10割近くの人が「よくなついている」と答えた。ちなみに、譲渡時1歳未満のイヌの場合は「3ヵ月」が9割強、「現在」では10割であり、成犬のなつき具合は子イヌ・若イヌにせまる高い割合であった。(問4-1,9頁,32頁,35頁参照)
- 家にきたときの動物の様子について、「すぐになれ、とくに問題はなかった」が6割近くを占めた。反面「食餌を出してもすぐに食べなかった」イヌが2割近く、「(すみっこ)でふるえていた」イヌが1割強いた。(問5,8頁,36頁参照)
- イヌが里親等に積極的に挨拶するようになった割合は、1週間後までで6割を占め、2週間後では7割、1ヵ月後では8割を占めた。(問7(4),10頁,41頁参照)
- 見知らぬ人に吠えるようになった時期を時系列で見ると、飼い始めてから1週間位してが4割近く、2週間したら4割、1ヵ月後では5割強となった。(問7(5),11頁,42頁参照)

②里親宅に先住動物がいる複数飼育での適応について

- 新参イヌに対する先住イヌの反応のうち、飼い始めて1ヵ月ごろまでの間に「一緒に遊ぶようになった」が増えて4割を占めたが、1ヵ月を過ぎると、あまり変化は見られなかった。(Q4.12頁,38頁参照)

(3) 里親の意識について

- 里親になった動機について聞いたところ、「何か役立ちたい」と「かわいそうだから」という使命感志向の回答が上位で共に4割を超えたが、「ちょうど飼いたかったから」という自己動機志向の答えも4割と高い。(問1,複数回答,13頁,34頁参照)
- 9割強の人が里親になってよかったと思っている。その理由として「家族が明るくなった」が6割でもっとも高く、次いで「一つの生命を救えた」が5割を占めた。(問2,2-1,複数回答,14頁,34頁参照)

ネコ編

(1) 現在の状況と飼養上の問題点について

- 現在(調査時)でも譲渡動物を飼っている里親は9割を占めている。(問4 18頁, 35頁参照)
- 譲渡動物を引き取り、飼う上で困ったことが「あった」は6割近くで、「なかった」は4割強。「あった」人のうち、「今も解決できていない」が全体の2割強を占めている。(問3 15頁, 34頁参照)
- 困ったことの内容は、「動物の性格や以前の飼い方がわからなかった」が3割近くで「トイレのしつけがうまくいかなかった」、「なかなかついてくれない」、「先住ネコと仲良くできない」がそれぞれ2割前後であった。(問3-1 複数回答、16頁, 35頁参照)

(2) 譲渡動物(成熟動物)の適応度について

①里親及び新しい環境への適応について

- 成猫の里親へのなつき具合は、飼い始めて「3ヵ月」で8割が、「現在」では10割近くの人が「よくなっている」と答えた。ちなみに、譲渡時1歳未満のネコの場合は、「3ヵ月」で9割強、「現在」が10割であり、成猫のなつき具合は子ネコ・若ネコにせまる高い割合であった。(問4-1 18頁, 33頁, 35頁参照)
- 家にきたときの動物の様子について、「すぐになれ、とくに問題はなかった」が5割近くを占めた。反面「食餌を与えてもすぐには食べなかった」ネコが3割近く、「(すみっこで)ふるえていた」ネコが2割近くいた。(問5 17頁, 36頁参照)
- ネコが里親に友好的にふるまうようになった割合は、1週間後では5割近くを占め、2週間後では6割近く、1ヵ月後では7割強を占めるまでに増えている。(問8-(4) 19頁, 43頁参照)
- トイレのしつけは、「その日のうち」にうまくいったネコが7割近くで、これを含め1週間後では8割強、2週間後では9割近くのネコがしつけができています。(問8-(5) 20頁, 43頁参照)

②里親宅に先住動物がいる複数飼育での適応について

- 新参ネコに対する先住ネコの反応のうち、引き合わせた直後では「高い所などに行き、降りてこなかった」ネコが4割いたが、その後減少している。一方、「一緒に遊ぶようになった」は1ヵ月後では2割近くだったが、6ヵ月後では4割に増えている。(Q5 21頁, 39頁参照)

(3) 里親の意図について

- 里親になった動機について聞いたところ、「何か役立ちたい」が5割近く、「かわいそうだから」が4割近くと使命感志向の回答が上位を占めたが、「ちょうど飼いたかったから」という自己動機志向も3割を占めている。(問1 複数回答 22頁, 34頁参照)
- 9割強の人が里親になってよかったと思っている。その理由として「一つの生命を救えたこと」と「家族が明るくなった」が共に5割を超え、大半を占めた。(問2, 2-1 複数回答 23頁, 34頁参照)

II 結果の概要 <イヌ編>

1. 飼養上の問題点について

(1) 成犬を引き取って困ったことがあったかどうか(問3)

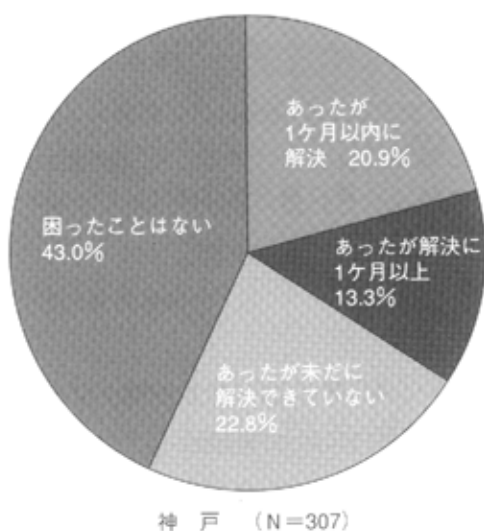
困ったことが「あった」は6割近くを占め、「なかった」が4割強。「あった」人のうち、「今も解決できていない」が全体の2割強。

引き取った動物を飼う上で困ったことがあったかどうか聞いたところ、保管譲渡(神戸。以下、斡旋譲渡と断りがない限り保管譲渡を記述)では「困ったと思ったことはない」が43.0%であったのに対し、「困ったことがある」は57.0%と6割近くを占めた。

「困ったことがある」について、解決できたかどうかをみると、「最初はあったが、1ヵ月以内には解決できた」は全体の20.9%、「最初はあったが、その解決に1ヵ月以上かかった」は全体の13.3%であった。これに対し、「今も解決できず、困っている」は全体の22.8%を占めている。

斡旋譲渡(西宮)では、「困ったことがある」は77.5%を占め、しかも「今も解決できず、困っている」が37.5%と、いずれも神戸に比べて際立って高い。

図1. 成犬を引き取って困ったことがあったか(問3)



(注) グラフのキャプションで「神戸」とあるのは「保管譲渡」のことをいう。以下同じ。

(注) グラフのキャプションで「西宮」とあるのは「斡旋譲渡」のことをいう。以下同じ。

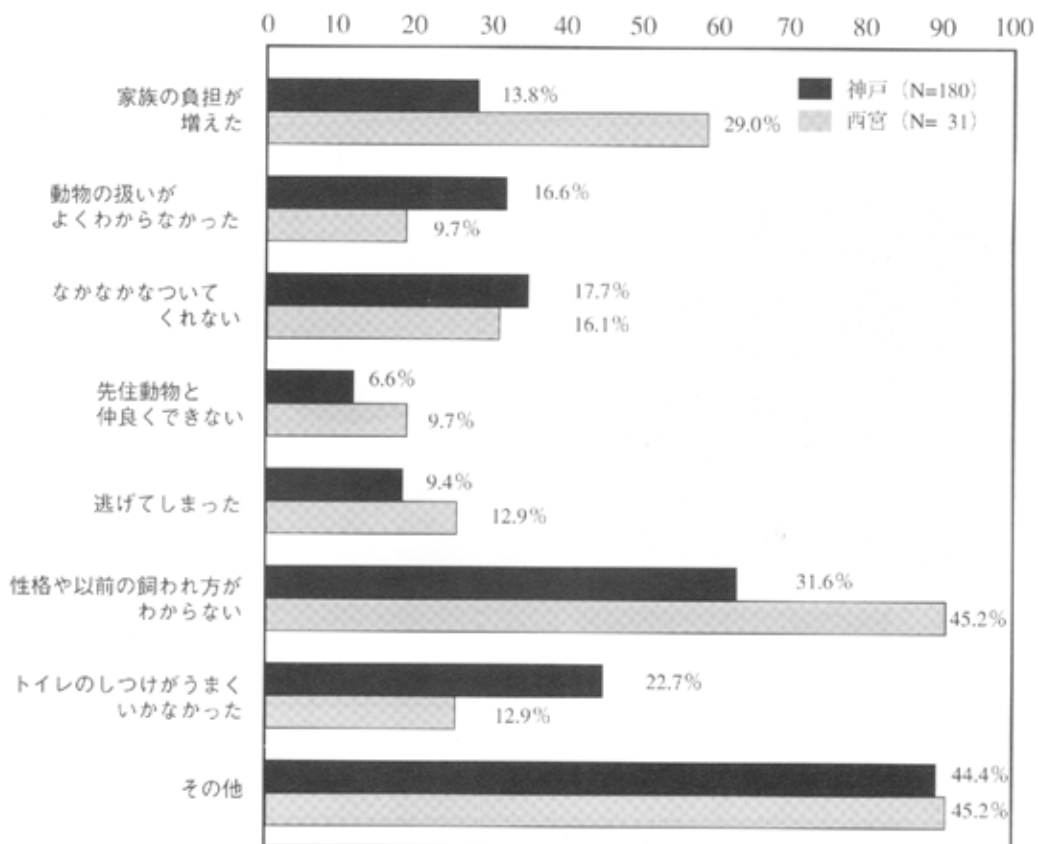
(2) どういうことで困ったか(問3-1)

困ったことの内容は、「動物の性格や以前の飼われ方がわからなかった」3割、「トイレのしつけがうまくいかなかった」2割。(複数回答)

前問で困ったことがあったと答えた人にその内容を聞いたところ、「動物の性格や以前どのように飼われていたか、わからなかった」という答えが31.6%で最も高率を占め、次いで「最初のころ、トイレのしつけがうまくいかなかった」22.7%、「よく世話をしても、なかなかついてくれない」17.7%、「緊張したり警戒したりしている動物の扱いがよくわからなかった」16.6%などの順であった。

幹旋譲渡では「動物の性格や以前どのように飼われていたか、わからなかった」が45.2%、「家族の負担がふえた」が29.0%と高率なのが目立った。

図2. どういうことで困ったか(問3-1, 複数回答)



2. 譲渡動物の適応度について

(1) 里親や新しい環境によくなれたか

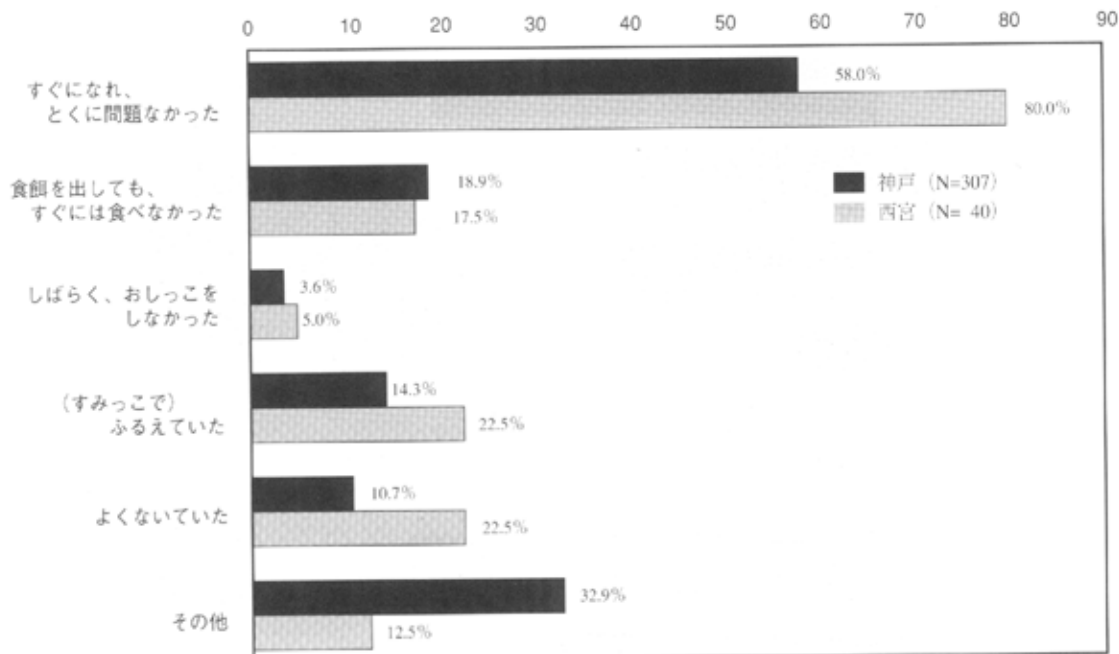
① 家にきたときの様子はどうか(問5)

「すぐになれ、とくに問題はなかった」が約6割。反面、「食餌を出してもすぐには食べなかった」が約2割、「(すみっこで)ふるえていた」も1割強。(複数回答)

新しい環境に来たときの譲渡動物の反応や様子を聞いたところ、「すぐになれ、とくに問題はなかった」という答えが58.0%と目立って高い。問題があった中では、「食餌を出しても、すぐには食べなかった」18.9%、「(すみっこで)ふるえていた」14.3%、「よくないていた」10.7%などの順であった。

斡旋譲渡では「すぐになれ、とくに問題はなかった」という答えが80.0%と際立って高率であった。

図3. 家にきたときの様子(問5,複数回答)



②動物と里親との現在の関係について（問4、4-1）

現在も「飼っている」人9割。譲渡動物のなつき具合については、「3ヵ月」の時点で8割強、「現在」では10割近くの人が「よくなついている」と答えた。ちなみに、譲渡時1歳未満のイヌの場合は「3ヵ月」が9割強、「現在」では10割であり、成犬のなつき具合は子イヌ・若イヌに迫る高い割合。

現在（調査時。以下同じ）、動物はどうなっているかの間に対し、現在も「飼っている」人は90.9%であった。現在は飼っていない人についてみると、「人に譲渡した」1.6%、「逃げてしまった」2.9%、「死亡した」4.6%であった。

斡旋譲渡では、現在も「飼っている」が82.5%で、保管譲渡と比べ若干低い割合を示した。その分、「人に譲渡した」と答えた人の割合が高くなっている。（図4）

現在も飼われているイヌのなつき具合を時間を追って聞いたところ、譲渡後「3ヵ月」ですでに「よくなついている」は83.5%だったが、「現在」ではそれが98.6%となった。（図5）

斡旋譲渡でも同様の傾向を示した。

ちなみに、譲渡時1歳未満のイヌの場合は「3ヵ月」が93.7%、「現在」では100%であり、成犬のなつき具合は子イヌ・若イヌに迫る高い割合であった。（32頁の表参照）

図4. 現在の動物の状況（問4）

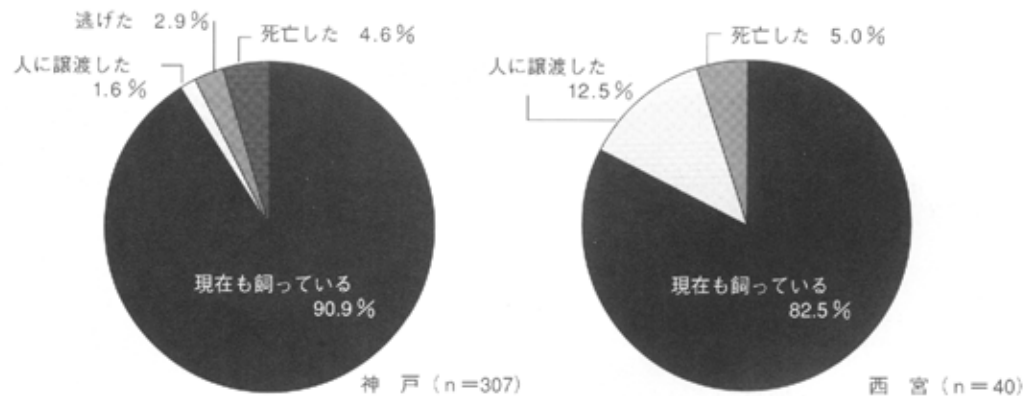
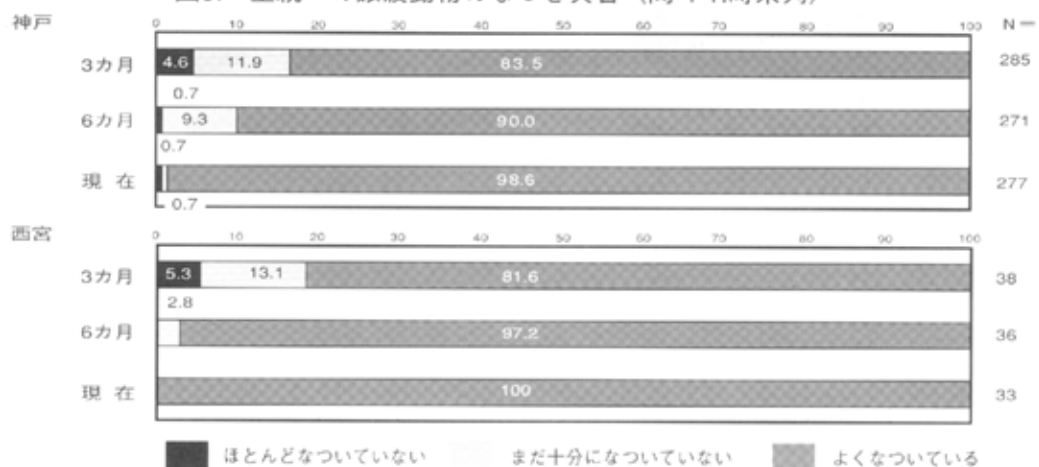


図5. 里親への譲渡動物のなつき具合（問4-1.時系列）



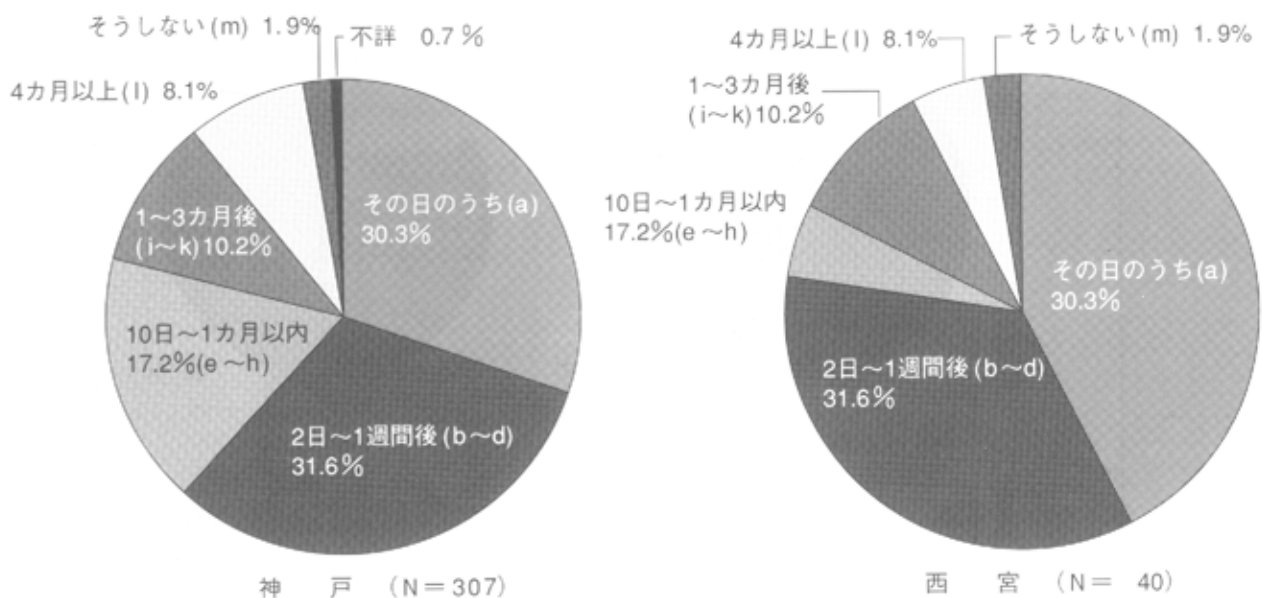
③里親等に友好的な行動を示し始めた時期はいつか(問7-(4))

里親等に積極的に挨拶するようになった割合は、1週間後までで6割、1ヵ月後まででは8割。

里親やその家族に尾を振ったり耳をねかせて近づいてくるなどして積極的に挨拶するようになったのはいつごろからか聞いたところ、「その日のうち」が30.3%。これを含め1週間後までに挨拶するようになったイヌは61.9%、1ヵ月後まででは79.1%であった。他方、「4ヵ月以上」かかったイヌが8.1%、現在でもまだそういう行動をとらないイヌが1.9%あった。

斡旋譲渡では「その日のうち」が42.5%で、これを含め1週間後までが77.5%、1ヵ月後までが82.5%、「4ヵ月以上」が5.0%、現在でもまだそういう行動をとらないイヌが2.5%あった。

図6. 里親等に友好的な行動を示し始めた時期(問7-(4))



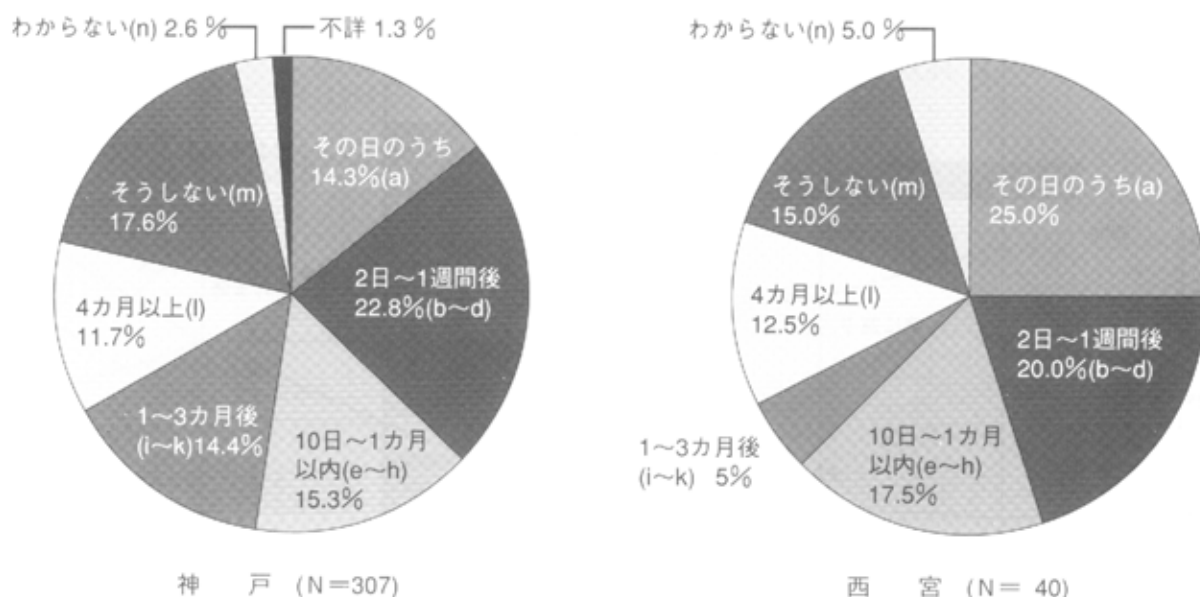
④見知らぬ人等にほえ始めた時期はいつか(問7-(5))

見知らぬ人にほえるようになった時期を時系列で見ると、飼い始めてから1週間位してが4割近く、1ヵ月後では5割強。

なわばり意識の形成時期の指標として、見知らぬ人や他犬などが家に近づいたりしたときにほえるようになった時期を聞いたところ、「その日のうち」が14.3%。これを含め1週間後までにほえるようになったイヌは37.1%、1ヵ月後までが52.4%であった。他方、「4ヵ月以上」かかったイヌが11.7%、現在でもまだそういう行動をとらないイヌが17.6%あった。

斡旋譲渡では「その日のうち」が25.0%で、これを含め1週間後までが45.0%、1ヵ月後までが62.5%、「4ヵ月以上」が12.5%、現在でもまだそういう行動をとらないイヌが15.0%あった。

図7. 見知らぬ人等にほえ始めた時期(問7-(5))



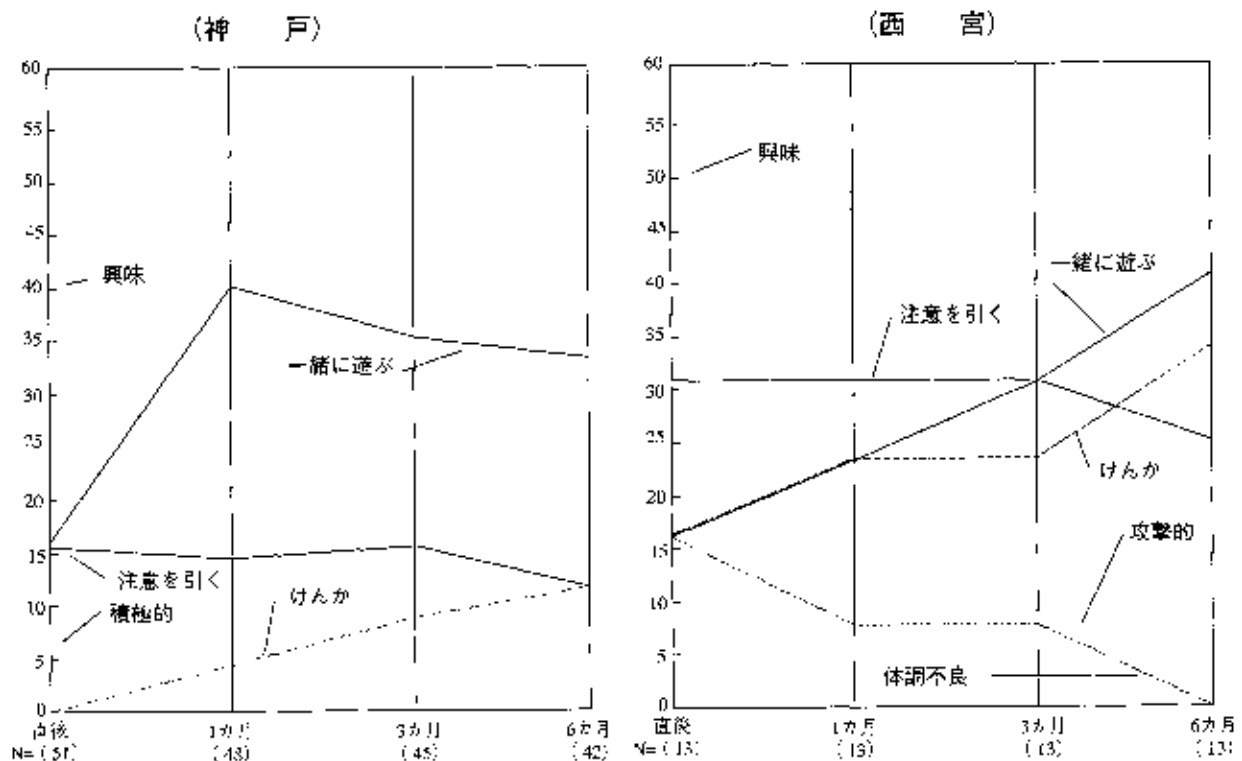
(2)先住イヌの譲渡動物に対する反応(Q4)

新参イヌに対する先住イヌの反応のうち、飼い始めて1ヵ月ごろまでに「一緒に遊ぶようになった」が増えて約4割を占めたが、1ヵ月を過ぎると、あまり変化は見られなかった。

先住イヌの反応や行動に時間を追って変化があったかどうか聞いたところ、「一緒に遊ぶようになり、社交的になった」の割合が「直後」は15.7%だったのが、「1ヵ月後」には39.6%と急に高くなり、以後はほぼ横ばいを示し、「ときどき、けんかをする」が「直後」にはいなかったのが漸増を示し「6ヵ月後」には11.9%となった。また、「以前よりいきいきとして、行動も積極的になった」は微増を示し、「飼い主に甘え、注意をひく行動が増えた」はほぼ横ばいを示した。

他方、「攻撃的ではなかったが、興味を示した」の割合が「直後」には43.1%だったのが「1ヵ月後」には18.8%と急に低くなり、以後はほぼ横ばいを示した。

図8. 先住イヌの譲渡動物に対する反応(Q4,時系列,複数回答)



3. 里親の意識について

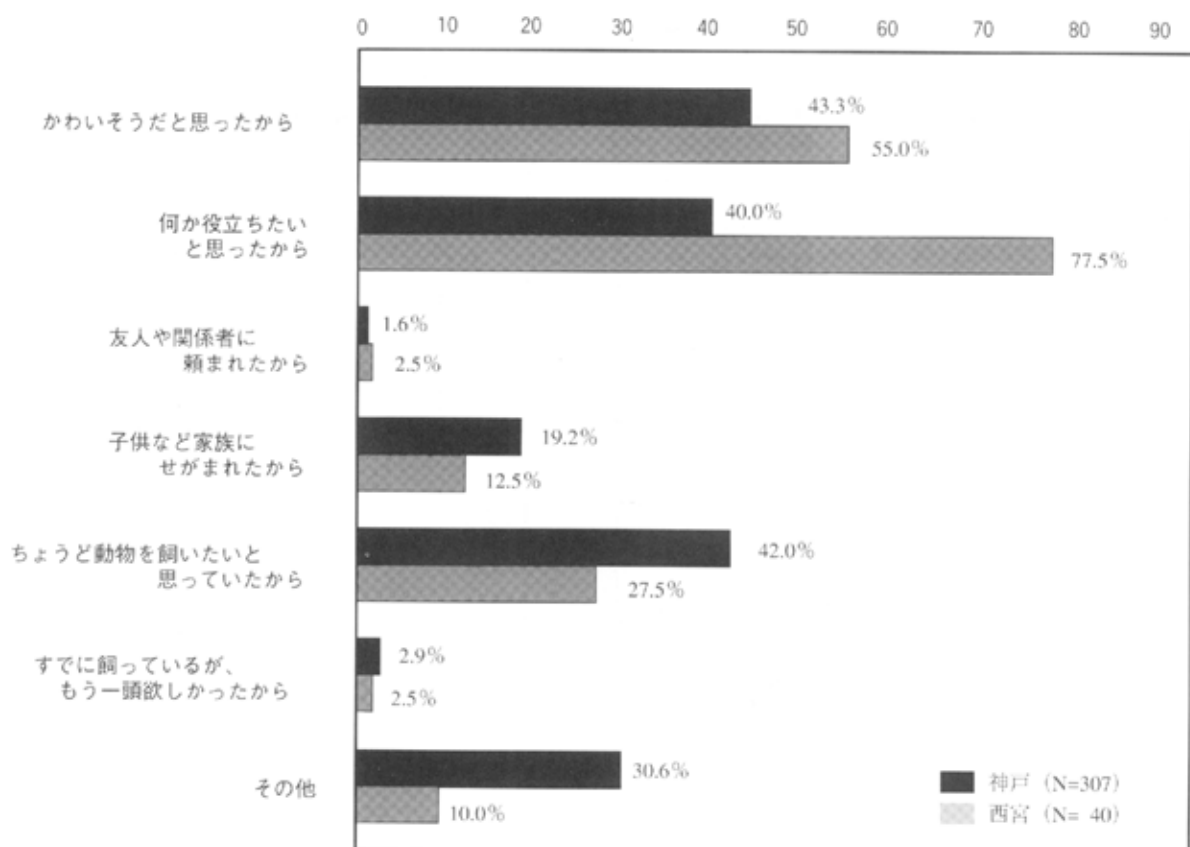
(1) 里親になった動機(問1)

「何か役立ちたい」、「かわいそう」という "使命感志向" の答えが上位で共に4割を超えたが、「ちょうど飼いたかった」という "自己動機志向" の答えも4割強と高い。(複数回答)

里親になった動機を聞いたところ、「かわいそうだと思ったから」43.3%、「ちょうど動物を飼いたいと思っていたから」42.0%、「何か自分のできることで役立ちたいと思ったから」40.4%の順で、割合にはほとんど差がなかった。(複数回答)

斡旋譲渡では「何か自分のできることで役立ちたいと思ったから」という答えが77.5%、つづいて「かわいそうだと思ったから」55.0%と "使命感志向" が顕著に高かった。

図9. 里親になった動機(問1, 複数回答)



(2) 里親になってよかったと思うこと(問2、問2-1)

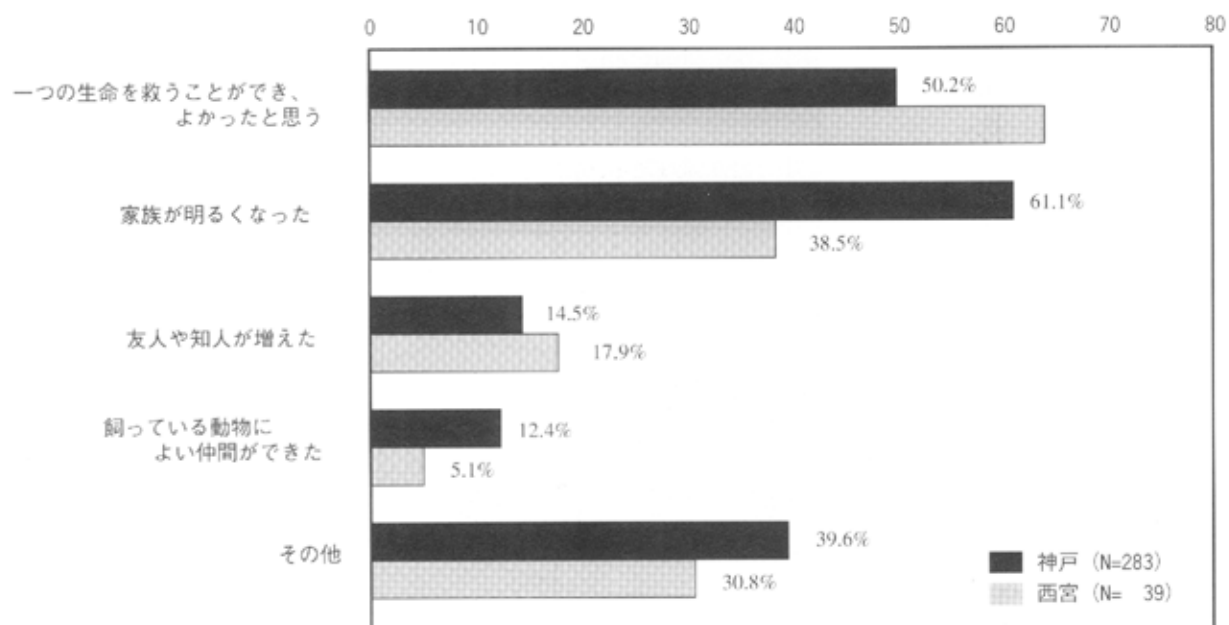
里親になって「よかった」は9割強。その理由として、「家族が明るくなった」が6割で最も高く、次いで「一つの生命を救えたこと」5割。(複数回答)

里親になってよかったと思うことがあるかどうか聞いたところ、「ある」と答えた人の割合が92.2%と圧倒的に高かった。

「ある」と答えた人にその内容を聞いたところ、「家族が明るくなった」が61.1%で1位を占め、次いで「一つの生命を救うことができ、よかったと思う」50.2%などの順であった。

斡旋譲渡では里親になってよかったと思うことが「ある」と答えた人が97.5%で、その理由として「一つの生命を救うことができ、よかったと思う」が64.1%で1位を占め、次いで「家族が明るくなった」38.5%などの順であった。

図10. 里親になってよかったと思うこと(問2-1, 複数回答)



結果の概要<ネコ編>

1. 飼養上の問題点について

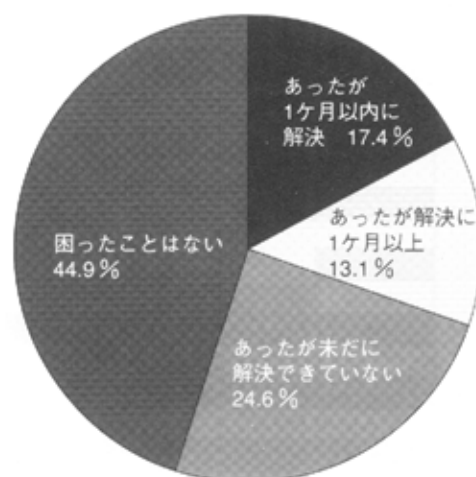
(1) 成猫を引き取って困ったことがあったか(問3)

困ったことが「あった」が6割近くで、「なかった」は4割強。「あった」人のうち、「今も解決できていない」が全体の2割強。

引き取ったネコを飼う上で困ったことがあったかどうか聞いたところ、保管譲渡(神戸。以下、斡旋譲渡と断りがない限り、保管譲渡を記述)では「困ったと思ったことはない」が44.9%であったのに対し、「困ったことがある」は55.1%であった。「困ったことがある」の中で、解決できたかどうかをみると、「今も解決できず、困っている」24.6%、「最初はあったが、1ヵ月以内には解決できた」17.4%、「最初はあったが、その解決に1ヵ月以上かかった」13.1%の順であった。

斡旋譲渡(西宮)では、13例中「困ったことがある」は11例を占め、しかも「今も解決できず困っている」は7例を占めている。

図1. 成猫を引き取って困ったことがあったか(問3)



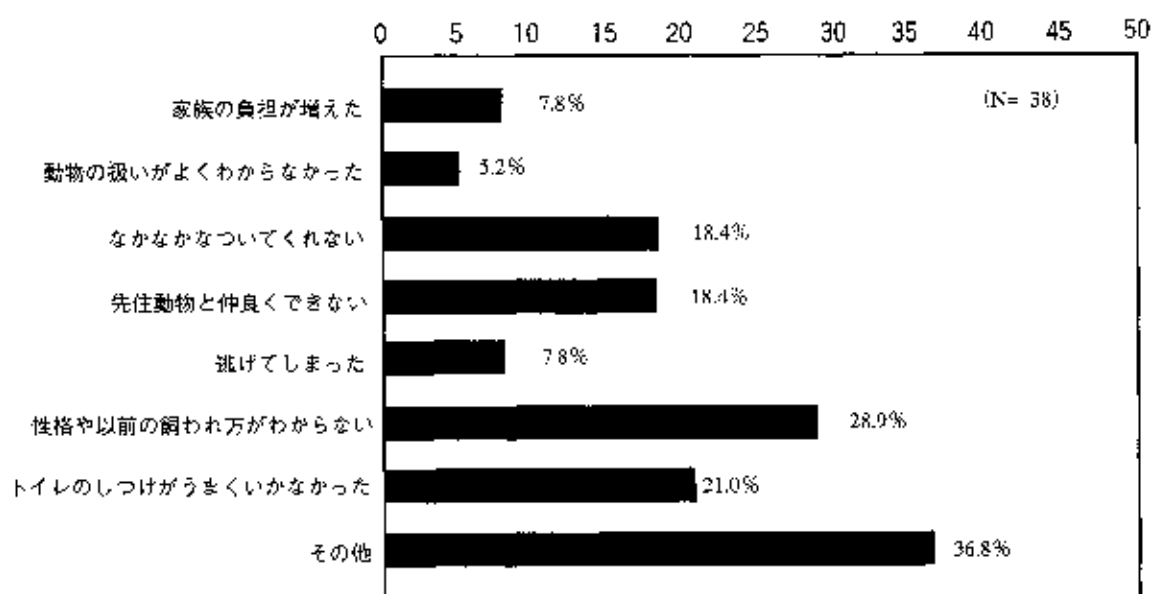
(N = 69)

(2) どういうことで困ったか(問3-1)

困ったことの内容は、「動物の性格や以前の飼われ方がわからなかったこと」約3割、「トイレのしつけがうまくいかなかった」、「なかなかついてくれない」、「先住ネコと仲良くできない」がそれぞれ2割前後。(複数回答)

前問で困ったことがあったと答えた人にその内容を聞いてみると、「動物の性格や以前どのように飼われていたか、わからなかったこと」が28.9%で最も高く、次いで「最初のころ、トイレのしつけがうまくいかなかったこと」が21.0%、「よく世話をしても、なかなかついてくれないこと」と「以前から飼っている動物と仲良くできないこと」が同率で18.4%であり、これらが上位を占めていた。

図2. どういうことで困ったか(問3-1, 複数回答)



(複数回答)

2. 譲渡動物の適応度について

(1) 里親や新しい環境によくなれたか

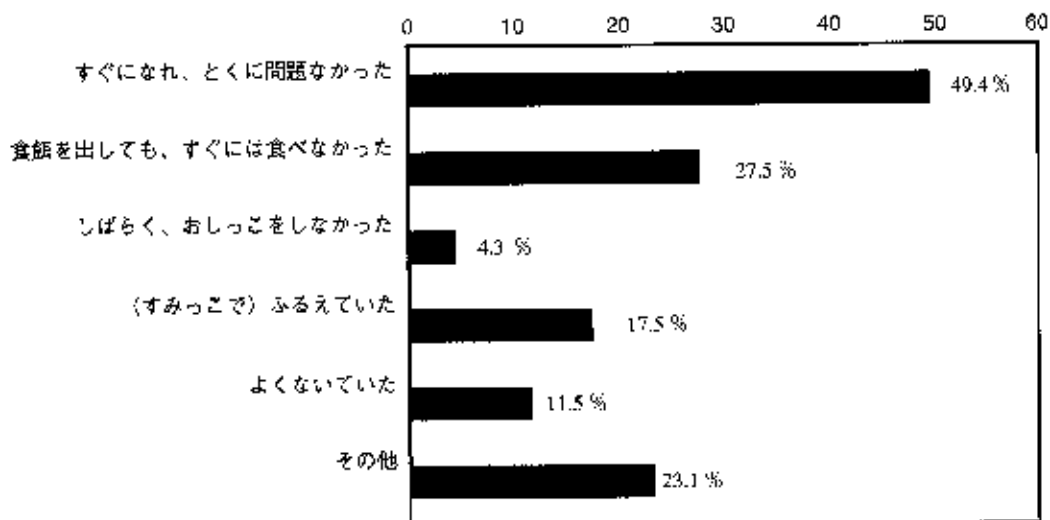
① 家にきたときの様子はどうか(問5)

「すぐになれ、とくに問題なかった」が約5割を占めた反面、「食餌を出してもすぐには食べなかった」が3割近く、「(すみっこで)ふるえていた」が2割近く。(複数回答)

新しい環境に来たときの譲渡ネコの反応や様子を聞いたところ、「すぐになれ、とくに問題はなかった」と答えた人が49.4%と半数を占めた。他方、「食餌を出しても、すぐには食べなかった」27.5%、「(すみっこで)ふるえていた」17.3%、「よくないでいた」11.5%などの様子が指摘された。

幹旋譲渡では13例中「すぐになれ、とくに問題はなかった」という答えは4例と少なかった。

図3. 家にきたときの様子(問5, 複数回答)



② 動物と里親との現在の関係はどうか(問4、4-1)

現在も飼っている人は9割強。里親へのなつき具合は、飼い始めて"3ヵ月"で8割が、"現在"では10割近くの人が「よくなついている」と答えた。ちなみに、譲渡時1歳未満のネコの場合は、"3ヵ月"で9割強、"現在"が10割であり、成猫のなつき具合は子ネコ・若ネコに迫る高い割合。

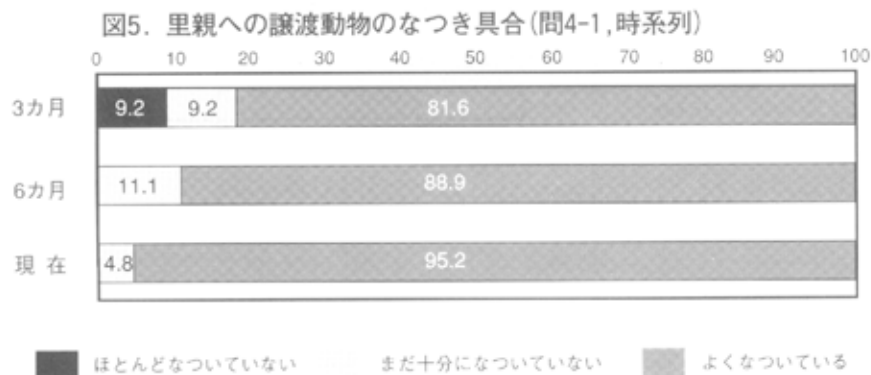
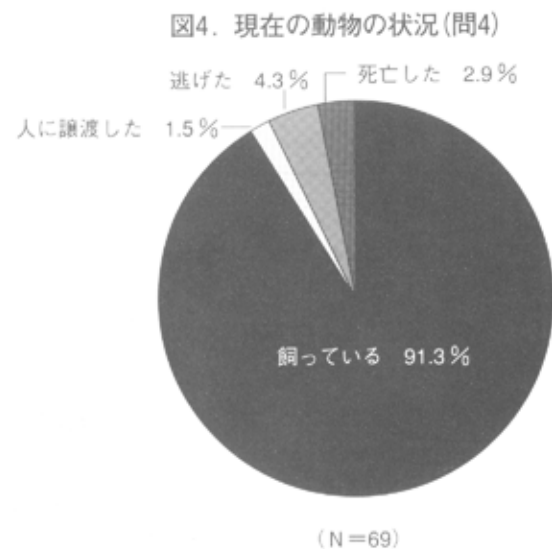
現在、動物はどうなっているかの問に対し、現在も「飼っている」は91.3%であった。現在は飼っていない人についてみると、「人に譲渡した」1.5%、「逃げてしまった」4.3%、「死亡した」2.9%であった。(図4)

斡旋譲渡では、13例中、現在も「飼っている」は11例と多い。

現在も飼われている動物のなつき具合を時間を追って聞いたところ、譲渡後"3ヵ月"の時点ですでに「よくなついている」と答えた人は81.6%で、"現在"(7ヵ月以上経過)ではそれが95.2%と高くなった。一方、「ほとんどなついていない」、「まだ十分になついてはいない」と答えた人は、"3ヵ月"の時点ではそれぞれ9.2%ずついたが、"現在"では「ほとんどなついていない」と答えた人はいなくなり、「まだ十分になついてはいない」と答えた人が4.8%となった。(図5)

ちなみに、譲渡時1歳未満のネコの場合は、"3ヵ月"で9割強、"現在"が10割であり、成猫のなつき具合は子ネコ・若ネコに迫る高い割合であった。(33頁の表参照)

斡旋譲渡では、13例中、譲渡後に「よくなついている」と答えた人は3ヵ月後には10例も占めている。

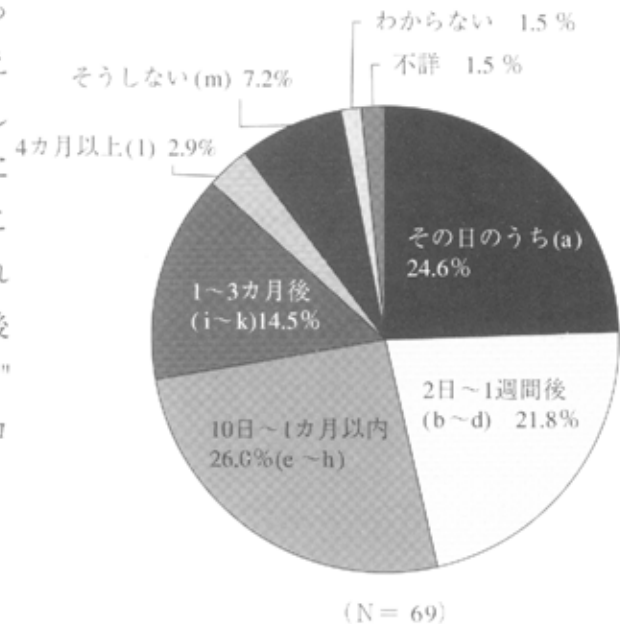


③ 里親等に友好的な行動をとりはじめた時期はいつか(問8-(4))

里親等に友好的にふるまうようになった割合は、1週間後では5割近くを占め、1ヵ月後では7割強。

ネコが里親やその家族に対し、しっぽを上げて頭部をこすりつけたり甘えたような声を出して近寄ってきたりして積極的に友好的な行動を示すようになったのはいつごろからか聞いたところ、「その日のうち」が24.6%、これを含め1週間後までが46.4%、1ヵ月後までが72.4%であった。他方、「現在」でもまだそういう行動をとらないネコが7.2%いた。

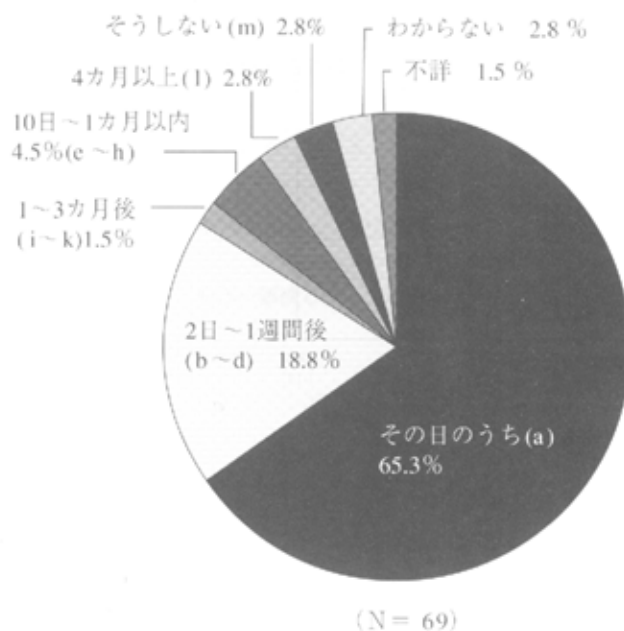
図6. 里親等に挨拶行動をとりはじめた時期(問8-(4))



④ 排泄のしつけがうまくいくようになったのはいつか(問8-(5))

うまくいったのが「その日のうち」が7割近く、これを含め1週間後ではすでに8割強。

図7. 排泄のしつけがうまくいくようになった時期(問8-(5))



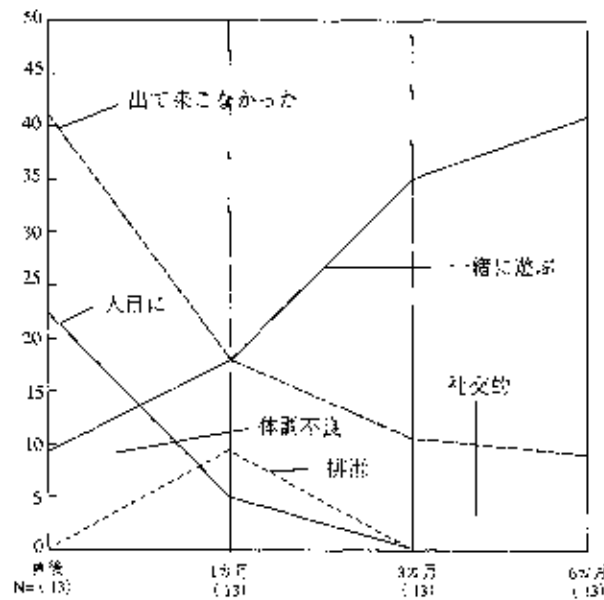
ネコのトイレのしつけがうまくいくようになった時期を聞いたところ、「その日のうち」と答えた人は65.3%に達し、1週間後以内を含めると、すでに84.1%と大半であった。

(2) 先住ネコの譲渡動物に対する反応はどうだったか(Q5)

新参ネコに対する先住ネコの反応のうち、引き合わせた直後では「高い所などに行って降りてこなかったりした」が4割で、以後減少。「一緒に遊ぶようになった」は直後では1割近くだったが、6ヵ月では4割に増加。

先住ネコの反応や行動に時間を追って変化があったかどうか聞いたところ、譲渡の"直後"に「高い所や安全な所に行き、しばらく降りたり出てこなかったりした」というネコが40.9%いたが、「3ヵ月後」には10%となり、「人目につかない所で過ごす時間が増えた」というネコが22.7%いたが、「3ヵ月後」にはいなくなった。逆に、「一緒に遊ぶようになった」、「シャイだったネコがだいぶ社交的になった!」というネコは、それぞれ9.1%から40.0%、0.0%から10.0%と増えていった。

図8. 先住ネコの譲渡動物に対する反応(Q5, 時系列, 複数回答)



3. 里親の意識について

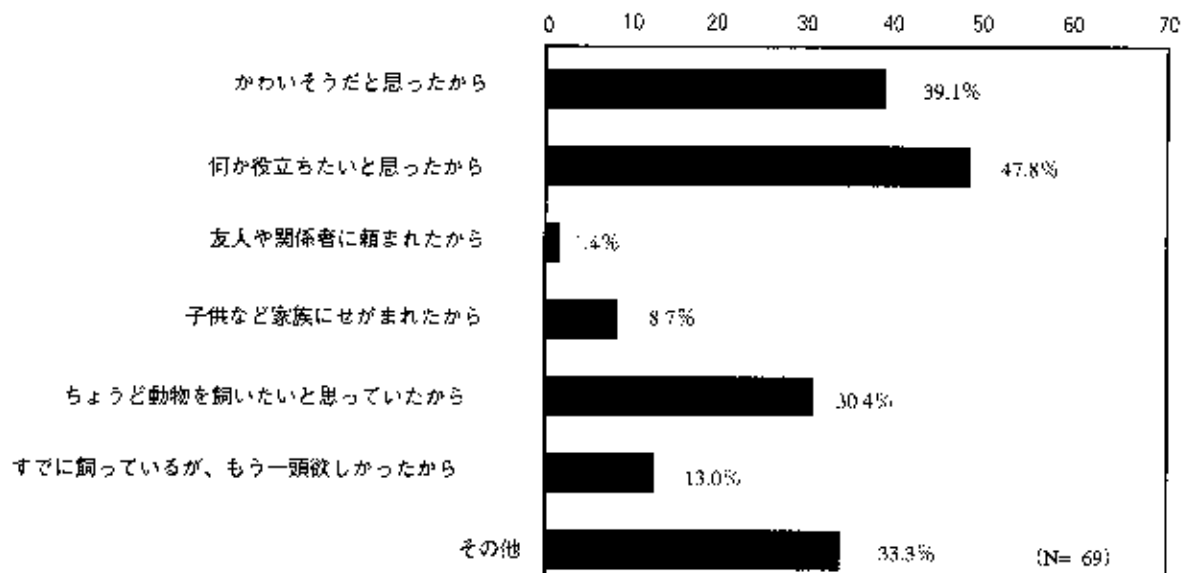
(1) 里親になった動機(問1)

里親になった動機は、「何か役立ちたい」約5割、「かわいそう」約4割と「使命感志向」が上位。「ちょうど飼いたかった」という「自己動機志向」も3割。(複数回答)

里親になった動機を聞いたところ、「何か自分のできることで役立ちたいと思ったから」47.8%、「かわいそうだと思ったから」39.1%、「ちょうど動物を飼いたいと思っていたから」30.4%などの順であった。

斡旋譲渡では、13例中、「何か役立ちたい」8例、「かわいそう」7例、「ちょうど飼いたかった」は5例となっている。

図9. 里親になった動機(問1,複数回答)



(2) 里親になってよかったと思うこと(問2、問2-1)

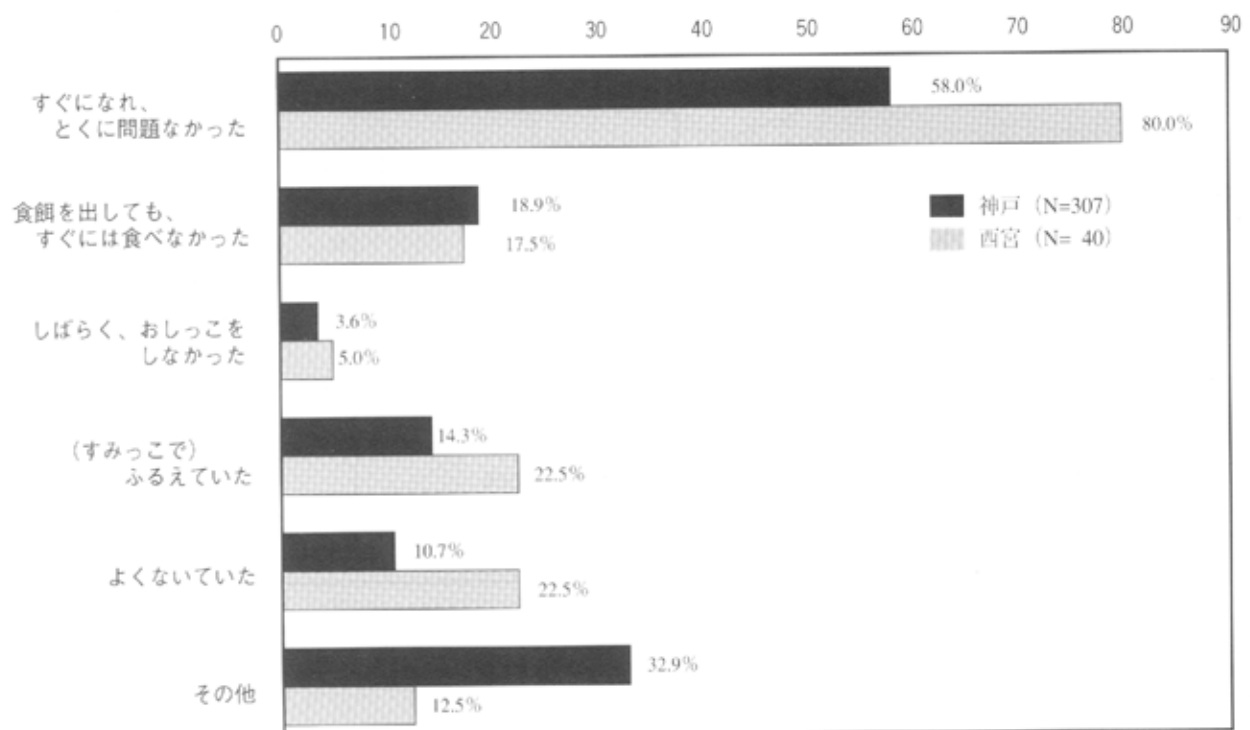
里親になって「よかった」は9割強。その理由として「一つの生命を救えてよかった」、「家族が明るくなった」という答えがともに5割を越え、大半を占めた。(複数回答)

里親になってよかったと思うことがあるかどうか聞いたところ、「ある」と答えた人が95.7%と圧倒的に多かった。

「ある」と答えた人にその内容を聞いたところ、「一つの生命を救うことができ、よかったと思う」56.0%、「家族が明るくなった」54.5%の順で、これらの答えが大半を占めた。

斡旋譲渡の13例中、里親になってよかったと思うことが「ある」と答えた人は12例で、その理由として、「家族が明るくなった」は8例、「友人や知人ができた」は6例であった。

図10.里親になってよかったと思うこと(問2-1,複数回答)



Ⅲ 本調査で使⽤した用語の解説

譲渡動物

愛玩動物は終⽣飼養を原則として飼われているが、やむを得ない理由で飼えなくなり新たな飼い主に譲渡された動物を⾔い、ここではイヌ及びネコを対象とした。

成熟動物

本報告でいう成熟動物とは1歳以上のイヌ及びネコをいう。

先住動物

新たに飼い始める動物(新参動物)に対し、すでに飼っている同種の動物をいう。両者の間でトラブルが起こることがある。

里親

譲渡動物を引き取って飼養する新たな飼い主を⾔う。

被災動物

本報告では阪神⼤震災で被害にあった人に飼われていた動物で、やむを得ず里親に譲渡された動物を⾔う。

保管譲渡

今回「兵庫県南部地震動物救援本部」が神戸及び三田で実施した譲渡方式で、一旦動物を特定の施設に収容・保管し、そののち里親に譲渡する譲渡方法をいう。

斡旋譲渡

今回、西宮保健所西宮市獣医師会が実施した譲渡方式で、里子に出したい飼い主と里親になりたい人とをコーディネートし、お互いの希望や条件が合えば、両者を引き合わせ、譲渡を成立させる譲渡方法をいう。

※保管譲渡方式では、被災動物を一旦施設に収容し、治療や世話を⾏なった。この方式では、一時期、動物を施設に保管することで、前の飼い主との絆や習慣性の⾏動等を断ち、新たな環境(里親)になじみやすくする効果も考えられる。

※斡旋譲渡方式は、施設がなくとも可能であり、動物の救済活動として機動力がある。また前の飼い主と里親を直接会わせることから、個体の性格や以前の飼い方等の必要な情報が里親に伝わりやすい。

IV 調査の概要

1 調査目的

「成熟動物(イヌおよびネコ)」の新しい環境(里親のもと)での反応や行動および里親との関係を調べるため、阪神大震災(兵庫県南部地震)にともない里親に譲渡された被災動物の状況を追跡し、もって今後の動物愛護施策等に供することを目的とする。

2 調査内容

- (1) 現在の状況と飼養上の問題点について
- (2) 譲渡動物(成熟動物)の適応度について
 - ①里親および新しい環境への適応について
 - ②里親宅に「先住動物」がいる複数飼養での適応について
- (3) 里親の意識について

3 調査項目

- (1) 現在の状況と飼養上の問題点について
 - 現在、動物はどうなっているか(問4)
 - 飼う上で困ったと思うことがあったか。またそれはどういうことか(問3, 3-1)
 - 震災の後遺症と思われるようなことが何かあるか。あるとすれば、それはどんなことか(問11)
- (2) 譲渡動物(成熟動物)の適応度について
 - ①里親および新しい環境への適応について
 - あなたの家につれてきたときの動物の反応や様子はどうだったか(問5)
 - 最初のころの動物の健康状態はどうだったか(問6)
 - 動物と里親との関係はどうか(よくなついているか)(問4-1)
 - 引き取った当時、イヌはよく吠えたか、いつ吠えなくなったか(問7(1)(2))
 - 里親がなでたり話かけたりすることに、イヌはどれくらいしたら友好的な反応を示しはじめたか(問7(3))
 - 里親や家族に、イヌが積極的に「挨拶」をするようになったのはいつごろからか(問7(4))
 - 見知らぬ人や他犬などが家に近づいたり訪れたとき、吠えるようになったのは、いつごろからか(問7(5))
 - 引き取った当時、ネコはよくないたか。またいつなかなくなったか(問8(1)(2))
 - ネコが家具や壁などに、頭部や脇腹をすりつけ(臭いつけ)はじめたのは、いつごろからか(問8(3))
 - ネコが里親や家族に頭部をすりつけたり、「甘えた」ような声を出して近寄ってくるようになったのは、いつごろからか(問8(4))
 - (里親がしてほしい場所で)ネコの排泄のしつけが、うまくいくようになったのはいつごろからか(問8(5))
 - ネコをうっかり(または意図的に)屋外に出したことがあるか。あるとすれば、その時期は。

またいつごろ帰ってきたか(問9, 9-1, 9-2)

- 旧飼い主との交流はあるか。あるとすれば、どんな交流か。また旧飼い主が会いにくるとき、動物はどんな反応を示すか。その後の里親に対する反応はどうか。(問10, 10-1, 10-2, 10-3)

②里親宅に「先住動物」がいる複数飼育での適応について

- いつ、どこで、どのように引き合わせたか(Q1, 2, 3)
- 引き合わせた後、元からいたイヌまたはネコはどのような反応を示したか(Q4, 5)
- 動物同士の様子(関係)はどうか(Q6)

(3) 里親の意識について

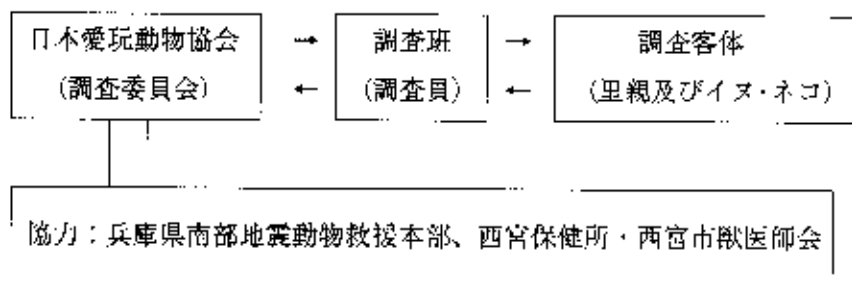
- 里親になった動機は何か(問1)
- 里親になって、よかったと思うか。またどんなことがよかったか。(問2, 2-1)
- 里親になって、感じたことや意見など(自由記入)(問12)

4 調査対象

1995年(平成7年)1月17日未明に発生した阪神大震災によって被災した動物のうち、平成7年2月から11月までに保管譲渡を実施した「兵庫県南部地震動物救援本部」の「神戸動物救護センター」と、同7年2月から5月までに斡旋譲渡を実施した兵庫県西宮保健所(及び西宮市獣医師会)によって譲渡されたイヌ及びネコとその里親。

5 調査実施期間 平成8年2月20日～3月31日

6 調査の系統及び調査員



調査員は、主として近畿地区に在住する「愛玩動物飼養管理士」42名による。調査区の広さや里親数を考慮して1調査区ごとに調査員2～3名の調査班を編成し、うち一人を幹事(リーダー)とした。

7 調査方法

メールオーダーの後、訪問面接法(ただし、一部は郵送+電話調査法)

調査の手順は以下のとおりである。

調査員は、担当する調査区内の名簿(里親)のすべてに調査依頼状を郵送した。調査内容で里親の記憶をたどる部分の質問については、予めその内容を依頼状に添えた。

数日後、電話で訪問日のアポイントをとった。

調査依頼状の返送やアポイントの際、里親が転居していたら、転居先がわかれば追跡し、また譲渡後1ヵ月経たないうちに再譲渡した場合、再譲渡先が1ヵ月以上飼っていれば追跡し、可能なかぎり名簿を更新した。

この際、転居先不明や譲渡を受けてから1ヵ月以内に逃亡・死亡したイヌやネコは調査除外とし、調査里親数(母集団)を確定した。

アポイントがとれた里親については、調査員が自宅を訪問して聞き取り調査を行なったが、遠隔地や深夜調査しかできない場合などは、里親に予め調査票を郵送し、調査票を見ながら電話による聞き取り調査を実施した。

8 調査範囲と母集団

- (1) 神戸動物救護センター分については、調査範囲を兵庫県及び畿内約70市町(神戸市は区単位、以下同じ)に限定し、この地域に居住する里親に譲渡されたイヌ約160頭及びネコ143頭の里親名簿を母集団とした。ただしイヌは200頭の標本、ネコは悉皆とした。
- (2) 兵庫県西宮保健所・西宮市獣医師会(以下、西宮保健所という)分については、取り扱い数が少ないので、譲渡された(一時預かりを含む)イヌ61頭及びネコ25頭とその里親名簿の全数を母集団とし、調査範囲も全国を対象とした。

		調査範囲	名簿全数	名簿補正による 対象除外数	母集団数	調査の種類
神戸動物救護 センター	イヌ	兵庫県及び畿内	[200]	7	[193]	標本
	ネコ	兵庫県及び畿内	143	16	127	悉皆
西宮保健所	イヌ	全 国	61	1	60(57)	悉皆
	ネコ	全 国	25	4	21(16)	悉皆

※名簿数は、平成8年1月31日現在のデータ。※〔 〕内の数字は標本名簿数。()内の数字は里親数。
※母集団数は、名簿全数から名簿補正したもので、転居先不明、引取後1ヵ月以内に返却・逃亡・死亡したもの、また引取後1ヵ月以内に人に再譲渡し、その再譲渡先の追跡が不能なものを除いた。

(3) 神戸動物救護センター分のイヌの標本抽出及びネコの悉皆調査の区分について

イヌについては、譲渡数が多いので、実査上の制約から調査範囲内の標本調査とした。調査地域を被災地層(災害救助法適用市町・淡路島を除く)と被災地周辺層の2層に分け、それぞれの抽出単位を、第1次は市町、第2次は里親の層化二段抽出とし、さらに兵庫県及び畿内の2地域の4区分に分けて抽出。この結果、標本名簿数は200となった。

抽出率は以下のとおりである。

被災地層については、市町の抽出率は2地域とも1/1とし、市町内の里親抽出率は、里親数が多い兵庫県地域は1/2ないし1/3を抽出し、畿内地域は1/1とした。

被災地周辺層については、市町の抽出率は2地域とも里親数の多い市町は悉皆とし、里親数が1ないし2の少ない市町を抽出により加え、全体の里親数の1/2となるよう抽出した。市町内の里親抽出率は2地域とも1/1とした。

ネコは悉皆調査であるが、実査・集計上、イヌと同様の区分とする。

層 別	内 訳	イ ヌ		ネ コ	
		兵 庫 県 畿 内	兵 庫 県 畿 内	兵 庫 県 畿 内	兵 庫 県 畿 内
被災地層	市町抽出率	1/1	1/1	1/1	1/1
	調査市町数	8, 7	3	16	5
	里親抽出率	1/2, 1/3	1/1	1/1	1/1
	標本名簿数	61, 75	14	98	9
被災地周辺層	市町抽出率	2/2	1/2	1/1	1/1
	調査市町数	4	14	9	13
	里親抽出率	1/1	1/1	1/1	1/1
	標本名簿数	14	36	16	20

9 調査区の設定について

(1) 神戸動物救護センター分の調査区

以下のように設定した。

層別、地域別(被災地層の兵庫県については、さらにイヌの抽出率別)の各区分に属する市町のイヌの里親の標本名簿数と同区分のネコの里親名簿数から、1調査区を概ね30頭(イヌとネコの比が4:3)とし、また実査上の配慮から近接するいくつかの市町を統合(30頭以上の市町は単独または分割)して調査区を設定した。その結果、市町数50、調査区数12、調査員数33となった。

層 別	内 訳	地 域 別		畿 内
		兵 庫 県		
		イヌ抽出率 1/2	イヌ抽出率 1/3	
被災地層	市町数	10	7	5
	調査区数	3	5	1
	調査員数	9	13	2
被災地周辺層	市町数	9		19
	調査区数	1		2
	調査員数	3		6
計	市町数	50		
	調査区数	12		
	調査員数	33		

(2) 西宮保健所分の調査区

調査区は、神戸動物救護センター分に準じ、被災地層と被災地周辺層及び近畿以外層の3層に分け、1層1区とした。調査員は1区3人、計9人で行なった。

10 回収結果 下表のとおりである。

		母集団数	調査不能 及び拒否数	有効回収数	回収率
神戸動物救護 センター	イヌ	193	12	181	93.8%
	ネコ	127	12	115	90.6%
西宮保健所	イヌ	60	7	53	88.3%
	ネコ	21	5	16	76.2%

11 集計方法等について

調査区ごとに担当した調査員(調査班)が中間集計を行ない、これらを調査委員会で取りまとめ、全体集計を行なった。

なお、回答内容に疑義があれば、電話で里親に照会し確認した。何らかの理由により、個々の質問に回答がないものは「不詳」とした。

(1) 神戸動物救護センター分の集計について

イヌ(標本)については、調査委員会で層別、地域別(被災地層のうち、兵庫県は里親抽出率別)の5区分別に集計し、これに抽出率に基づく推計用乗率(市町抽出率×里親抽出率)を乗じて合算し、総計を推定した。

ネコ(全数)については、イヌとの集計結果の比較も考慮し、層別、地域別の4区分ごとに集計し、これらを合算して総計とした。

(2) 西宮保健所分の集計について

イヌ・ネコ別に分けて行なった。それぞれ神戸動物救護センター分との比較を考慮し、層別に集計し、合算して総計とした。

(3) イヌ・ネコ別、年齢別の集計について

イヌ・ネコとも集計にあたっては、譲渡動物を以下のように分け、各グループごとに集計した。

A群：震災後、被災動物によって生まれた子イヌ・子ネコ群

C群：譲渡時、1歳未満のイヌ・ネコ群

B群：譲渡時、1歳以上のイヌ・ネコ群

この結果、回収した標本の内訳は下表のとおりである。

		有効回収数	A 群	C 群	B 群	年齢不詳数	B群の構成比
神戸動物救護センター	イヌ	417	47(181)	63	307	0	73.6%
	ネコ	115	18	27	69	1	60.0%
西宮保健所	イヌ	53	0	12	40	1	75.5%
	ネコ	16	0	3	13	0	81.3%

※神戸のイヌの数字は乗率をかけ、復元した数字。他は実数。

(4) 本報告書の集計結果の数値について

今回の調査目的にそって、この報告書の調査結果の数値は、イヌ・ネコとも一部を除き成熟動物を対象としたB群のみの分析数値である。

なお、本報告書の「Ⅱ 結果の概要」では、神戸動物救護センター関係の数値を主体に記述し、とくにネコ編では西宮保健所分のデータはサンプル数が少ないので、主な内容を例数として記載した。

V. 添付資料

社団法人日本愛玩動物協会

譲渡動物の行動と里親の対応調査票

※この調査票は、当該目的以外には使用いたしません。したがって、調査関係者以外に内容がもれることはありませんので、ありのままをお答えください。

※設問への回答はできるかぎり、実際に世話をし、イヌおよびネコの様子や状況にくわしい方がお答えください。

※調査票は譲渡動物一頭につき一枚です。複数の動物を譲り受けた方は、調査票も複数に分け、それぞれについてお答えください。

お名前(世帯主)		年 齢	職 業	住所 TEL ()	
		歳			
実際の飼育者(主に世話をしている人)		年 齢	性 別	住居形態	
		歳	男, 女	一戸 集合 (動物養育 禁 是 特 に制限 建て 住宅 の 是非 止 認 は ない)	
家族構成(同居人のみ)					これまで飼ったことのある動物とその飼育年数
					を 年
譲渡動物について	年 齢	性 別	譲渡受入口	飼っている場所と飼養形態	
イヌ・ネコ				場所：(1) 屋内飼い、(2) 屋外飼い、(3) (1)と(2)との混合	
品種名	歳	オス・メス	月 日	形態：主につないで、主に放し飼い、主にケージ飼い、その他	
名前	約			()	
	歳				
不妊去勢の有無(すでに済んでいた、済ませた、まだ済んでいない)/手術の実施時期(昭和 平成 年 月)					
譲渡動物以外に飼っている動物(頭数 年齢 性別 不妊去勢の有無 飼育年数 複数飼育なら互いの関係などもご記入下さい。)					
いる(イヌ、ネコ、その他)、いない					

調査員記入欄

● 調査客体番号	受取区番号 動物種番号 里親番号
	- -
● 斡旋機関	百官 神戸 (収容日数 日)
● 調査実施日	平成 年 月 日
● 調査員名	

● 里親署名欄	印
---------	---

(賛成の確認記録)

基本項目(フェイスシート)の主な集計結果 イヌ編

サンプル数 神戸のイヌB群の実数133頭(復元数307頭)について

- ① 実際に世話をしている人は、20～34歳が17%、35～49歳が39.1%、50～64歳が31.3%、65歳以上は7.2%であり、これを男女比で見ると男性が24.1%、女性が75.9%であった。
- ② 里親の住まいは、一戸建てが90.8%、集合住宅が9.2%であった。
- ③ 里親のうち、今回始めて動物を飼った人は14.3%であり、経験者は79.8%であった。飼育経験者のうち、イヌの経験者は75%、ネコは11%であった。
さらにその飼育経験年数を見ると、イヌを10年以上が85.3%であった。ネコの経験者では10年以上が50%、2～9年が30%であった。
- ④ 譲渡動物を性別で見ると、オスが61%、メスが39%である。年齢別では1～5歳が70%、6～10歳が24%、11歳以上は5.5%であった。
- ⑤ 不妊手術の実施状況は、譲渡前に済んでいたのがオス47%、メス44%。譲渡後に里親が済ませたのがオス16%、メス23%であった。加算するとオスで63%、メスで67%が実施済であった。
- ⑥ 譲渡動物以外に飼っている動物の有無について聞いたところ、44%の里親が何らかの動物を飼っていた。飼っていた動物の種類を見ると、飼っていた里親のうち、イヌ44%、ネコ27%、イヌもネコも飼っているが6%であった。

(特掲)

神戸(子イヌ) (問4-1・C群の集計結果)

3カ月	6カ月	現在	動物と飼い主との関係
0.0	0.0	0.0	1.ほとんどなついていない
6.3	0.0	0.0	2.まだ十分になつてはいない
93.7	100.0	100.0	3.よくなつている

N=(63 61 61)

基本項目(フェイスシート)の主な集計結果 ネコ編

サンプル数 神戸のネコB群の69頭について

- ① 実際に世話をしている人は、19歳以下が2.9%、20～34歳が30.4%、35～49歳が36.2%、50～64歳が5.8%であり、これを男女比で見ると男性が13%、女性が87%であった。
- ② 里親の住まいは、一戸建てが74%、集合住宅が26%であった。
- ③ 里親のうち、今回はじめて動物を飼った人は10%であり、経験者は90%であった。飼育経験者のうち、イヌの経験者は12%、ネコは77%であった。
さらにその飼育経験年数をみると、イヌを10年以上が50%であった。ネコの経験者では10年以上が62%、2～9年が32%、2年未満が4%であった。
- ④ 譲渡動物を性別で見ると、オス・メスとも50%である。年齢別では1～5歳が78%、6～10歳が19%、11歳以上は3%であった。
- ⑤ ネコの飼養形態については、屋内飼いが81%で、19%が屋内外の自由飼いであった。
屋内飼育のうち、「主に放し飼い」が93%で、「主にケージ飼い」は5%であった。
- ⑥ 不妊手術の実施状況は、譲渡前に済んでいたのがオス56%、メス63%。譲渡後に里親が済ませたのがオス18%、メス17%、済ませていないネコがオスで24%、メスで14%であった。
- ⑦ 譲渡動物以外に飼っている動物の有無について聞いたところ、55%の里親が何らかの動物を飼っていた。飼っていた動物の種類をみると、飼っていた里親のうち、イヌ26%、ネコ37%、イヌもネコも飼っているが24%であった。

(特掲)

神戸(ネコ) (問4-1・C群の集計結果)

3か月	6か月	現在	動物と飼い主との関係
3.8	0.0	0.0	1.ほとんどなついていない
3.8	0.0	0.0	2..まだ十分になついていない
92.4	100.0	100.0	3.よくなついている

N=(26 26 26)

調査票及び集計結果

※(注)神戸=保管譲渡

西宮=斡旋譲渡

〔譲渡動物を引き受けた動機等について〕

問1. 里親になった動機はなんですか。

(あてはまる回答の番号をすべて○で囲んでください)

(有効標本数：神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13) <複数回答>

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. かわいそうだと思ったから | 神戸(イヌ43.3, ネコ39.1) |
| | 西宮(イヌ55.0, ネコ53.8) |
| 2. 何か自分のできることで役立ちたいと思ったから | 神戸(イヌ40.4, ネコ47.8) |
| | 西宮(イヌ77.5, ネコ61.5) |
| 3. 友人や関係者に頼まれたから | 神戸(イヌ 1.6, ネコ 1.4) |
| | 西宮(イヌ 2.5, ネコ 0.0) |
| 4. 子供など家族にせがまれたから | 神戸(イヌ19.2, ネコ 8.7) |
| | 西宮(イヌ12.5, ネコ 7.7) |
| 5. ちょうど動物を飼いたいと思っていたから | 神戸(イヌ42.0, ネコ30.4) |
| | 西宮(イヌ27.5, ネコ38.5) |
| 6. すでに飼っているが、もう一頭欲しいと思ったから | 神戸(イヌ 2.9, ネコ13.0) |
| | 西宮(イヌ 2.5, ネコ15.4) |
| 7. その他(具体的に) | 神戸(イヌ30.6, ネコ33.3) |
| | 西宮(イヌ10.0, ネコ15.4) |

問2. 里親になって、よかったと思うことは何かありますか。

(有効標本数：神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. ある | 神戸(イヌ92.2, ネコ95.7) |
| | 西宮(イヌ97.5, ネコ92.3) |
| 2. ない (問3へ) | 神戸(イヌ 7.8, ネコ 4.3) |
| | 西宮(イヌ 2.5, ネコ 7.7) |

問2-1. 「前問であると答えた方へ! それはどういうことですか。

(あてはまる番号をすべて○で囲んでください)

(有効標本数：神イヌ283, 神ネコ66, 西イヌ39, 西ネコ12) <複数回答>

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 一つの生命を救うことができ、よかったと思う | 神戸(イヌ50.2, ネコ56.0) |
| | 西宮(イヌ64.1, ネコ33.3) |
| 2. 家族が明るくなった | 神戸(イヌ61.1, ネコ54.5) |
| | 西宮(イヌ38.5, ネコ66.6) |
| 3. 友人や知人が増えた | 神戸(イヌ14.5, ネコ 6.0) |
| | 西宮(イヌ17.9, ネコ50.0) |

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 4. 飼っている動物によい仲間ができた | 神戸(イヌ12.4, ネコ13.6) |
| | 西宮(イヌ 5.1, ネコ—) |
| 5. その他(具体的に) | 神戸(イヌ39.6, ネコ25.7) |
| | 西宮(イヌ30.8, ネコ33.3) |

〔飼養上の問題点について〕

問3. では、飼う上で困ったと思うことが何かありましたか。

(有効標本数：神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 最初があったが、1ヵ月以内には解決できた | 神戸(イヌ20.9, ネコ17.4) |
| | 西宮(イヌ20.0, ネコ15.4) |
| 2. 最初があったが、その解決に1ヵ月以上かかった | 神戸(イヌ13.3, ネコ13.1) |
| | 西宮(イヌ20.0, ネコ15.4) |
| 3. 今も解決できず、困っている | 神戸(イヌ22.8, ネコ24.6) |
| | 西宮(イヌ37.5, ネコ53.8) |
| 4. 困ったと思ったことはない(問4へ) | 神戸(イヌ43.0, ネコ44.9) |
| | 西宮(イヌ22.5, ネコ15.4) |

問3-1. 「前問で 1. 2. 3. と答えた人へ」それはどういうことですか。

(あてはまる番号をすべて○で囲んでください)

(有効標本数：神イヌ180, 神ネコ38, 西イヌ31, 西ネコ11) <複数回答>

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 家族の負担が増えたこと | 神戸(イヌ13.8, ネコ 7.8) |
| | 西宮(イヌ29.0, ネコ 9.0) |
| 2. 緊張したり警戒したりしている動物の扱いがよくわからなかったこと | 神戸(イヌ16.6, ネコ 5.2) |
| | 西宮(イヌ 9.7, ネコ18.1) |
| 3. よく世話をしても、なかなかついてくれない(くれなかった)こと | 神戸(イヌ17.7, ネコ18.4) |
| | 西宮(イヌ16.1, ネコ18.1) |
| 4. 以前から飼っている動物と仲良くできない(できなかった)こと | 神戸(イヌ 6.6, ネコ18.4) |
| | 西宮(イヌ 9.7, ネコ27.2) |
| 5. 逃げてしまう(また逃げてしまった)こと | 神戸(イヌ 9.4, ネコ 7.8) |
| | 西宮(イヌ12.9, ネコ 9.0) |
| 6. 動物の性格や以前どのように飼われていたか、わからなかったこと | 神戸(イヌ31.6, ネコ28.9) |
| | 西宮(イヌ45.2, ネコ27.2) |
| 7. 最初のころ、トイレのしつけがうまくいかなかったこと | 神戸(イヌ22.7, ネコ21.0) |
| | 西宮(イヌ12.9, ネコ18.1) |

8. その他(具体的に) 神戸(イヌ44.4, ネコ36.8)
西宮(イヌ45.2, ネコ36.3)

〔現在の動物の状況について〕

問4. 現在、動物はどうなっていますか。

(有効標本数：神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13)

1. 飼っている 神戸(イヌ90.9, ネコ91.3)
西宮(イヌ82.5, ネコ84.6)
2. 人に譲渡した 神戸(イヌ 1.6, ネコ 1.5)
西宮(イヌ12.5, ネコ 0.0)
3. 逃げてしまった 神戸(イヌ 2.9, ネコ 4.3)
西宮(イヌ 0.0, ネコ 7.7)
4. 死亡した 神戸(イヌ 4.6, ネコ 2.9)
西宮(イヌ 5.0, ネコ 7.7)

問4-1. 「前問で 1. と答えた人へ、動物と飼い主との関係はどうですか。

(譲渡後、おおむね3ヵ月時の状況、おおむね6ヵ月の状況、譲渡後7ヵ月以上経過している方はさらに「現在」の状況とに分け、それぞれ該当する項目の欄に○をつけて下さい)

神戸(イヌ)

3ヵ月	6ヵ月	現 在	動物と飼い主との関係
4.6	0.7	0.7	1. ほとんどなついていない
11.9	9.3	9.3	2. まだ十分になついてはいない
83.5	90.0	98.6	3. よくなついている

(有効標本数) 395 379 385

神戸(ネコ)

3ヵ月	6ヵ月	現 在	動物と飼い主との関係
9.2	0.0	0.0	1. ほとんどなついていない
9.2	11.1	4.8	2. まだ十分になついてはいない
81.6	88.9	95.2	3. よくなついている

(有効標本数) 65 65 65

西宮(イヌ)

3カ月	6カ月	現 在	動物と飼い主との関係
5.3	0.0	0.0	1.ほとんどなついていない
13.1	2.8	0.0	2.まだ十分になついてはいない
81.6	97.2	100	3.よくなつている

(有効標本数) 38 36 33

西宮(ネコ)

3カ月	6カ月	現 在	動物と飼い主との関係
0.0	0.0	0.0	1.ほとんどなついていない
16.7	16.7	0.0	2.まだ十分になついてはいない
83.3	0.0	100	3.よくなつている

(有効標本数) 12 12 12

〔新しい環境に来たころの譲渡動物の反応や状況について〕

問5.あなたの家に来たとき、動物の反応や様子はどうでしたか。

(あてはまる番号をすべて○で囲んでください)

(有効標本数:神イヌ307,神ネコ69,西イヌ40,西ネコ13) <複数回答>

- | | |
|----------------------|--|
| 1.すぐになれ、とくに問題はなかった | 神戸(イヌ58.0,ネコ49.3)
西宮(イヌ80.0,ネコ30.8) |
| 2.食餌を出しても、すぐには食べなかった | 神戸(イヌ18.9,ネコ27.5)
西宮(イヌ17.5,ネコ38.5) |
| 3.しばらく、おしっこをしなかった | 神戸(イヌ 3.6,ネコ 4.3)
西宮(イヌ 5.0,ネコ 0.0) |
| 4.(すみっこで)ふるえていた | 神戸(イヌ14.3,ネコ17.3)
西宮(イヌ22.5,ネコ53.8) |
| 5.よくないでいた | 神戸(イヌ10.7,ネコ11.5)
西宮(イヌ22.5,ネコ23.0) |
| 6.その他(具体的に) | 神戸(イヌ32.9,ネコ23.1)
西宮(イヌ12.5,ネコ 7.7) |

問6. 最初のころの動物の健康状態はどうでしたか。

(あてはまる番号をすべて○で囲んでください)

(有効標本数:神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13) <複数回答>

1. 下痢(または下血)をした	神戸(イヌ15.3, ネコ15.5) 西宮(イヌ15.0, ネコ15.4)
2. 軟便をした	神戸(イヌ14.3, ネコ10.1) 西宮(イヌ 5.0, ネコ 7.7)
3. 便秘ぎみだった	神戸(イヌ 1.3, ネコ 5.9) 西宮(イヌ 5.0, ネコ 0.0)
4. 最初から正常な便をした	神戸(イヌ39.4, ネコ34.7) 西宮(イヌ40.0, ネコ61.5)
5. 嘔吐をした	神戸(イヌ 7.2, ネコ 5.7) 西宮(イヌ 7.5, ネコ15.4)
6. ふるえがあった	神戸(イヌ12.1, ネコ 4.3) 西宮(イヌ 7.5, ネコ 0.0)
7. ひきつけがあった	神戸(イヌ 0.9, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
8. とくに異常はなかった	神戸(イヌ50.8, ネコ57.9) 西宮(イヌ37.5, ネコ53.8)
9. その他	神戸(イヌ 3.6, ネコ 1.4) 西宮(イヌ12.5, ネコ 0.0)

〔以前から飼っていた動物への影響について〕

(Q1, 2, 3, 4, 5, 6, は、フェイスシートで譲渡動物以外にイヌまたはネコを飼っていると答えた方のみお答えください。そうでない方は、問7または問8へ)

Q1. 譲り受けた動物と以前から飼っていた動物とを、いつ引き合わせましたか。

(有効標本数:神イヌ51, 神ネコ22, 西イヌ13, 西ネコ3)

1. 譲渡動物を家に連れてきたと同時に、すぐに引き合わせた	神戸(イヌ88.2, ネコ72.7) 西宮(イヌ69.2, ネコ33.3)
2. しばらく様子を見て、その日のうちに引き合わせた	神戸(イヌ 0.0, ネコ 9.1) 西宮(イヌ23.1, ネコ66.7)
3. お互いに慣れるまではと思い、2~3日してから引き合わせた	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
4. お互いに慣れるまではと思い、一週間ぐらいしてから引き合わせた	神戸(イヌ 0.0, ネコ 4.6) 西宮(イヌ 7.7, ネコ 0.0)

5. その他(具体的に) …………… 神戸(イヌ11.8, ネコ13.6)
西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)

Q2. どこで引き合わせましたか。

(有効標本数：神イヌ51, 神ネコ22, 西イヌ13, 西ネコ3)

1. 以前からいる動物が普段もっともよくいる居場所に連れていき、引き合わせた
…………… 神戸(イヌ62.7, ネコ54.5)
西宮(イヌ69.2, ネコ 0.0)
2. 家(庭を含む)の中だが、普段もっともよくいる居場所以外で引き合わせた
…………… 神戸(イヌ35.3, ネコ45.5)
西宮(イヌ30.8, ネコ100)
3. 家(庭を含む)以外の場所で引き合わせた …………… 神戸(イヌ 2.0, ネコ 0.0)
西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)

Q3. どのような状況で、お互いを引き合わせましたか。

(有効標本数：神イヌ51, 神ネコ22, 西イヌ13, 西ネコ3)

1. 両方とも、とくに制限せず、自由に引き合わせた …………… 神戸(イヌ35.3, ネコ81.8)
西宮(イヌ38.4, ネコ100)
2. どちらか一方を抱くか保定し、他方は自由にして合わせた …… 神戸(イヌ31.4, ネコ 4.6)
西宮(イヌ23.1, ネコ 0.0)
3. ともに抱くか保定して、引き合わせた …………… 神戸(イヌ 3.9, ネコ 4.6)
西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
4. どちらか一方を抱くか保定し、他方にリードをつけて引き合わせた
…………… 神戸(イヌ11.8, ネコ 0.0)
西宮(イヌ15.4, ネコ 0.0)
5. ともにリードでつないで、引き合わせた …………… 神戸(イヌ11.8, ネコ 0.0)
西宮(イヌ15.4, ネコ 0.0)
6. どちらか一方をケージ(またはクレート)に入れたまま、引き合わせた
…………… 神戸(イヌ 5.9, ネコ 9.0)
西宮(イヌ 7.7, ネコ 0.0)
7. 両方ともケージ(またはクレート)に入れたまま、引き合わせた
…………… 神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)

Q4. 「イヌを倒っていた方へ」引き合わせたあと、もともからいたイヌはどのような反応や行動を示しましたか。

(引き合わせた直後から、下記のような時間的な経過に分け、それぞれにあてはまる項目の欄はすべて○をつけて下さい)

神戸(イヌ)

直 後	1カ月後	3カ月後	6カ月後	もともからいたイヌの反応や行動
0.0	0.0	0.0	0.0	1.攻撃的にふるまった
43.1	18.8	17.8	14.3	2.攻撃的ではなかったが、興味を示した
0.0	0.0	0.0	0.0	3.元気をなくし、体調不良になった
15.7	14.6	15.6	11.9	4.飼い主に甘え、注意をひく行動が増えた
5.9	0.0	6.7	11.9	5.以前よりいきいきし、行動も積極的になった
15.7	39.6	35.6	33.3	6.一緒に遊ぶようになり、社交的になった
0.0	4.2	8.9	11.9	7.ときどき、ケンカをする
43.1	37.5	40.0	45.2	8.その他(具体的に)
3.9	10.4	11.1	16.7	9.不詳

(有効標本数) 31 48 45 42

西宮(イヌ)

直 後	1カ月後	3カ月後	6カ月後	もともからいたイヌの反応や行動
15.4	7.7	7.7	8.3	1.攻撃的にふるまった
53.8	23.0	15.4	8.3	2.攻撃的ではなかったが、興味を示した
15.4	7.7	7.7	0.0	3.元気をなくし、体調不良になった
30.8	30.8	30.8	25.0	4.飼い主に甘え、注意をひく行動が増えた
0.0	0.0	0.0	0.0	5.以前よりいきいきし、行動も積極的になった
15.4	23.0	30.8	41.7	6.一緒に遊ぶようになり、社交的になった
15.4	23.0	23.0	33.3	7.ときどき、ケンカをする
38.5	46.2	53.8	41.7	8.その他(具体的に)
0.0	7.7	7.7	0.0	9.不詳

(有効標本数) 13 13 13 12

Q3. 「ネコを飼っていた方へ」引き合わせたあと、もともからのネコはどのような反応や行動を示しましたか。

(引き合わせ直後から、時間的な経緯と変化を下記ののような時期に分け、それぞれにあてはまる項目の欄はすべて○をつけて下さい)

神戸(ネコ)

直後	1ヵ月後	3ヵ月後	6ヵ月後	もともからのネコの反応や行動
40.9	18.2	10.0	10.0	1. 高い所や安全な所に行き、しばらく降りたり出でこなかったりした
9.1	9.1	0.0	0.0	2. 元気をなくし、体調不良になった
0.0	9.1	0.0	0.0	3. 排泄のしつけがみだれるようになった
22.7	4.5	0.0	0.0	4. 人目につかない所で過ごす時間が増えた
0.0	0.0	0.0	0.0	5. いつの間にか、家を出ていってしまった
9.1	18.2	35.0	40.0	6. 一緒に遊ぶようになった
0.0	0.0	0.0	10.0	7. シャイだったネコがだいぶ社交的になった
68.2	45.5	45.0	45.0	8. その他(具体的に)
0.0	9.1	15.0	10.0	9. 不詳

(該当する頭数) 22 22 20 20

西宮(ネコ)

直後	1ヵ月後	3ヵ月後	6ヵ月後	もともからのネコの反応や行動
66.7	66.7	66.7	66.7	1. 高い所や安全な所に行き、しばらく降りたり出でこなかったりした
0.0	0.0	0.0	0.0	2. 元気をなくし、体調不良になった
0.0	0.0	0.0	0.0	3. 排泄のしつけがみだれるようになった
0.0	0.0	0.0	0.0	4. 人目につかない所で過ごす時間が増えた
0.0	0.0	0.0	0.0	5. いつの間にか、家を出ていってしまった
0.0	0.0	0.0	0.0	6. 一緒に遊ぶようになった
0.0	0.0	0.0	0.0	7. シャイだったネコがだいぶ社交的になった
33.3	33.3	33.3	33.3	8. その他(具体的に)
0.0	0.0	0.0	0.0	9. 不詳

(該当する頭数) 3 3 3 3

Q6. 動物同士の様子はいかがですか。(譲渡後3ヵ月たった時点での状況、おおむね6ヵ月後、さらにそれ以上たっていれば「現在」の状況で、該当する項目に○をつけて下さい)

神戸(イヌ)

3ヵ月時	6ヵ月時	現在	動物同士の様子
33.3	34.9	45.5	1.お互いに仲良くできている
13.3	14.0	13.6	2.まだときどきケンカするので、できるだけ離して飼っている
28.9	27.9	25.0	3.親しい関係ではないが、一つ屋根の下で暮らしている
0.0	0.0	0.0	4.うまくいかず、譲渡動物を人に譲った(いつ)
17.8	11.6	11.4	5.その他(具体的に)

(有効標本数) 45 43 44

神戸(ネコ)

3ヵ月時	6ヵ月時	現在	動物同士の様子
30.3	52.6	52.6	1.お互いに仲良くできている
20.0	15.7	15.7	2.まだときどきケンカするので、できるだけ離して飼っている
50.0	31.5	31.5	3.親しい関係ではないが、一つ屋根の下で暮らしている
0.0	0.0	0.0	4.うまくいかず、譲渡動物を人に譲った(いつ)
5.0	10.5	10.5	5.その他(具体的に)

(有効標本数) 20 19 19

西宮(イヌ)

3ヵ月時	6ヵ月時	現在	動物同士の様子
38.4	46.1	38.4	1.お互いに仲良くできている
23.1	23.1	23.1	2.まだときどきケンカするので、できるだけ離して飼っている
15.4	23.1	23.1	3.親しい関係ではないが、一つ屋根の下で暮らしている
0.0	0.0	0.0	4.うまくいかず、譲渡動物を人に譲った(いつ)
15.4	7.7	15.4	5.その他(具体的に)

(有効標本数) 13 13 13

西宮(ネコ)

3ヵ月時	6ヵ月時	現在	動物同士の様子
0.0	0.0	0.0	1.お互いに仲良くできている
0.0	0.0	0.0	2.まだときどきケンカするので、できるだけ離して飼っている
33.3	33.3	33.3	3.親しい関係ではないが、一つ屋根の下で暮らしている
0.0	0.0	0.0	4.うまくいかず、譲渡動物を人に譲った(いつ)
66.7	66.7	66.7	5.その他(具体的に)

(有効標本数) 3 3 3

〔譲渡動物の適応状況について〕

問7. イヌを譲り受けた方におたずねします。(1)以外は、各設問に該当する答えを問8の下段の囲みの中から選んで番号でお答え下さい。ネコの方は問8へ)

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| (a) その日のうち | (b) 2～3日後 | (c) 4～5日後 | (d) 1週間後 |
| (e) 10日後 | (f) 2週間後 | (g) 3週間後 | (h) 1カ月後 |
| (i) 1カ月半後 | (j) 2カ月後 | (k) 3カ月後 | (l) 4カ月以上 |
| m) そうしない | (n) わからない | | |

(1) 引き取ってきた当時はよく吠えました(なきました)か。

(有効標本数：神イヌ307, 西イヌ40)

1. はい

神戸 (イヌ21.5)

西宮 (イヌ27.5)

2. ほとんど吠えなかった(なかなかかった) (13)へ)

神戸 (イヌ78.5)

西宮 (イヌ72.5)

(2) 「前問で1.と答えた人へ」どれくらいしたら、なきやみましたか。

(有効標本数：神イヌ66, 西イヌ11)

(a) その日のうち	神戸(イヌ13.6)	西宮(イヌ 9.1)
(b) 2～3日後	神戸(イヌ18.2)	西宮(イヌ 9.1)
(c) 4～5日後	神戸(イヌ 3.0)	西宮(イヌ 0.0)
(d) 1週間後	神戸(イヌ12.1)	西宮(イヌ 0.0)
(e) 10日後	神戸(イヌ 0.0)	西宮(イヌ 0.0)
(f) 2週間後	神戸(イヌ 1.6)	西宮(イヌ 0.0)
(g) 3週間後	神戸(イヌ 0.0)	西宮(イヌ 0.0)
(h) 1ヵ月後	神戸(イヌ16.7)	西宮(イヌ36.3)
(i) 1ヵ月半後	神戸(イヌ 3.0)	西宮(イヌ 0.0)
(j) 2ヵ月後	神戸(イヌ 3.0)	西宮(イヌ18.2)
(k) 3ヵ月後	神戸(イヌ 6.1)	西宮(イヌ 9.1)
(l) 4ヵ月以上	神戸(イヌ 6.1)	西宮(イヌ 9.1)
m) そうしない	神戸(イヌ13.6)	西宮(イヌ 9.1)
(n) わからない	神戸(イヌ 3.0)	西宮(イヌ 0.0)

(3) 飼い主が近づくと、緊張したり視線を避けたりなどせず、話しかけたり、なでたりすることに、イヌが応えはじめたのは、どれくらいしてからですか。

(有効標本数：神イヌ307, 西イヌ40)

(a) その日のうち 神戸(イヌ43.6) 西宮(イヌ67.5)

(b) 2～3日後	神戸(イヌ13.4)	西宮(イヌ12.5)
(c) 4～5日後	神戸(イヌ 6.5)	西宮(イヌ 2.5)
(d) 1週間後	神戸(イヌ11.7)	西宮(イヌ 5.0)
(e) 10日後	神戸(イヌ 2.3)	西宮(イヌ 0.0)
(f) 2週間後	神戸(イヌ 2.9)	西宮(イヌ 0.0)
(g) 3週間後	神戸(イヌ 2.0)	西宮(イヌ 0.0)
(h) 1ヵ月後	神戸(イヌ 5.5)	西宮(イヌ 5.0)
(i) 1ヵ月半後	神戸(イヌ 1.3)	西宮(イヌ 0.0)
(j) 2ヵ月後	神戸(イヌ 2.3)	西宮(イヌ 0.0)
(k) 3ヵ月後	神戸(イヌ 3.9)	西宮(イヌ 5.0)
(l) 4ヵ月以上	神戸(イヌ 3.2)	西宮(イヌ 0.0)
(m) そうしない	神戸(イヌ 0.7)	西宮(イヌ 2.5)
(n) わからない	神戸(イヌ 0.0)	西宮(イヌ 0.0)
不詳	神戸(イヌ 0.7)	西宮(イヌ 0.0)

(4) 朝、起きたときや外出先から帰ったとき、飼い主や家族にイヌが尾を振ったり、耳をねかせて近づいてくるなどして、積極的に挨拶するようになったのは、どれくらいたってからですか。

(有効標本数：神イヌ307, 西イヌ40)

(a) その日のうち	神戸(イヌ30.3)	西宮(イヌ42.5)
(b) 2～3日後	神戸(イヌ12.7)	西宮(イヌ15.0)
(c) 4～5日後	神戸(イヌ 4.6)	西宮(イヌ 2.5)
(d) 1週間後	神戸(イヌ14.3)	西宮(イヌ17.5)
(e) 10日後	神戸(イヌ 4.2)	西宮(イヌ 0.0)
(f) 2週間後	神戸(イヌ 3.3)	西宮(イヌ 2.5)
(g) 3週間後	神戸(イヌ 2.9)	西宮(イヌ 2.5)
(h) 1ヵ月後	神戸(イヌ 6.8)	西宮(イヌ 0.0)
(i) 1ヵ月半後	神戸(イヌ 0.7)	西宮(イヌ 0.0)
(j) 2ヵ月後	神戸(イヌ 3.3)	西宮(イヌ 5.0)
(k) 3ヵ月後	神戸(イヌ 6.2)	西宮(イヌ 5.0)
(l) 4ヵ月以上	神戸(イヌ 8.1)	西宮(イヌ 5.0)
(m) そうしない	神戸(イヌ 1.9)	西宮(イヌ 2.5)
(n) わからない	神戸(イヌ 0.0)	西宮(イヌ 0.0)
不詳	神戸(イヌ 0.7)	西宮(イヌ 0.0)

(5) 見知らぬ人や他犬などが家に近づいたり訪問したとき、イヌがほえるようになったのは、どれくらいたってからですか。

(有効標本数：神イヌ307, 西イヌ40)

(a) その日のうち	神戸(イヌ14.3)	西宮(イヌ25.0)
------------	------------	------------

(b) 2～3日後	神戸(イヌ10.7)	西宮(イヌ15.0)
(c) 4～5日後	神戸(イヌ 2.0)	西宮(イヌ 0.0)
(d) 1週間後	神戸(イヌ10.1)	西宮(イヌ 5.0)
(e) 10日後	神戸(イヌ 2.6)	西宮(イヌ 5.0)
(f) 2週間後	神戸(イヌ 1.0)	西宮(イヌ 0.0)
(g) 3週間後	神戸(イヌ 0.0)	西宮(イヌ 5.0)
(h) 1ヵ月後	神戸(イヌ11.7)	西宮(イヌ 7.5)
(i) 1ヵ月半後	神戸(イヌ 2.6)	西宮(イヌ 2.5)
(j) 2ヵ月後	神戸(イヌ 7.2)	西宮(イヌ 0.0)
(k) 3ヵ月後	神戸(イヌ 4.6)	西宮(イヌ 2.5)
(l) 4ヵ月以上	神戸(イヌ11.7)	西宮(イヌ12.5)
m) そうしない	神戸(イヌ17.6)	西宮(イヌ15.0)
n) わからない	神戸(イヌ 2.6)	西宮(イヌ 5.0)
不詳	神戸(イヌ 1.3)	西宮(イヌ 0.0)

問8. ネコを譲り受けた方におたずねします。次のような反応や行動をとるようになったのは、いつごろからですか。(1)以外は、下段の囲みの中から、該当する答えを選んで、番号でお答えください。イヌの方は問10へ)

(1) 引き取った当時はよくなりましたか。 (有効標本数：神ネコ69, 西ネコ13)

- | | | |
|--------------------|------------|------------|
| 1. はい | 神戸(ネコ15.9) | 西宮(ネコ23.1) |
| 2. ほとんどなかなかった(3)へ) | 神戸(ネコ82.6) | 西宮(ネコ76.9) |

(2) 「前問で1.と答えた人へ」どれくらいいたら、なきやみましたか。

(有効標本数：神ネコ12, 西ネコ3)

(a) その日のうち	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(b) 2～3日後	神戸(ネコ 8.3)	西宮(ネコ33.3)
(c) 4～5日後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(d) 1週間後	神戸(ネコ16.7)	西宮(ネコ 0.0)
(e) 10日後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(f) 2週間後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(g) 3週間後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(h) 1ヵ月後	神戸(ネコ41.7)	西宮(ネコ 0.0)
(i) 1ヵ月半後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(j) 2ヵ月後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ 0.0)
(k) 3ヵ月後	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ33.3)
(l) 4ヵ月以上	神戸(ネコ16.7)	西宮(ネコ 0.0)
m) そうしない	神戸(ネコ 0.0)	西宮(ネコ33.4)

(n) わからない	神戸(ネコ 8.3)	西宮(ネコ 0.0)
不詳	神戸(ネコ 8.3)	西宮(ネコ 0.0)

(3) ネコが家の中の家具や壁などに頭部や脇腹をこすりつけ(においつけ)はじめたのは、どれくらいたってからですか。

(有効標本数：神ネコ69, 西ネコ13)

(a) その日のうち	神戸(ネコ17.4)	西宮(ネコ 7.7)
(b) 2~3日後	神戸(ネコ10.2)	西宮(ネコ 7.7)
(c) 4~5日後	神戸(ネコ 4.4)	西宮(ネコ30.7)
(d) 1週間後	神戸(ネコ 8.7)	西宮(ネコ 0.0)
(e) 10日後	神戸(ネコ 1.4)	西宮(ネコ 0.0)
(f) 2週間後	神戸(ネコ 5.8)	西宮(ネコ 0.0)
(g) 3週間後	神戸(ネコ 1.4)	西宮(ネコ 0.0)
(h) 1ヵ月後	神戸(ネコ10.2)	西宮(ネコ 7.7)
(i) 1ヵ月半後	神戸(ネコ 5.8)	西宮(ネコ 0.0)
(j) 2ヵ月後	神戸(ネコ 1.4)	西宮(ネコ15.4)
(k) 3ヵ月後	神戸(ネコ 5.8)	西宮(ネコ 0.0)
(l) 4ヵ月以上	神戸(ネコ 1.4)	西宮(ネコ 0.0)
(m) そうしない	神戸(ネコ16.0)	西宮(ネコ 7.7)
(n) わからない	神戸(ネコ 8.7)	西宮(ネコ30.7)
不詳	神戸(ネコ 1.4)	西宮(ネコ 0.0)

(4) ネコが里親や家族に対し、しっぽを上げて頭部をこすりつけたり、甘えたような声を出して近寄ってくるようになったのは、どれくらい経ってからですか。

(有効標本数：神ネコ69, 西ネコ13)

(a) その日のうち	神戸(ネコ24.6)	西宮(ネコ 0.0)
(b) 2~3日後	神戸(ネコ10.2)	西宮(ネコ15.4)
(c) 4~5日後	神戸(ネコ 2.9)	西宮(ネコ30.8)
(d) 1週間後	神戸(ネコ 8.7)	西宮(ネコ 7.7)
(e) 10日後	神戸(ネコ 4.3)	西宮(ネコ 0.0)
(f) 2週間後	神戸(ネコ 4.3)	西宮(ネコ 0.0)
(g) 3週間後	神戸(ネコ 5.8)	西宮(ネコ 0.0)
(h) 1ヵ月後	神戸(ネコ11.6)	西宮(ネコ 0.0)
(i) 1ヵ月半後	神戸(ネコ 8.7)	西宮(ネコ 0.0)
(j) 2ヵ月後	神戸(ネコ 1.5)	西宮(ネコ 0.0)
(k) 3ヵ月後	神戸(ネコ 4.3)	西宮(ネコ15.4)
(l) 4ヵ月以上	神戸(ネコ 2.9)	西宮(ネコ 7.7)
(m) そうしない	神戸(ネコ 7.2)	西宮(ネコ 0.0)
(n) わからない	神戸(ネコ 1.5)	西宮(ネコ23.1)

不詳 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)

(5) (飼い主がしてほしい場所で)ネコの排泄のしつけがうまくいくようになるまで、どれくらいかかりましたか。 (有効標本数:神ネコ69,西ネコ13)

(a) その日のうち 神戸(ネコ65.3) 西宮(ネコ61.5)
 (b) 2~3日後 神戸(ネコ14.5) 西宮(ネコ30.8)
 (c) 4~5日後 神戸(ネコ 2.8) 西宮(ネコ 0.0)
 (d) 1週間後 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)
 (e) 10日後 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)
 (f) 2週間後 神戸(ネコ 0.0) 西宮(ネコ 0.0)
 (g) 3週間後 神戸(ネコ 0.0) 西宮(ネコ 0.0)
 (h) 1ヵ月後 神戸(ネコ 0.0) 西宮(ネコ 0.0)
 (i) 1ヵ月半後 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)
 (j) 2ヵ月後 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)
 (k) 3ヵ月後 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)
 (l) 4ヵ月以上 神戸(ネコ 2.8) 西宮(ネコ 0.0)
 (m) そうしない 神戸(ネコ 2.8) 西宮(ネコ 7.7)
 (n) わからない 神戸(ネコ 2.8) 西宮(ネコ 0.0)
 不詳 神戸(ネコ 1.5) 西宮(ネコ 0.0)

問9.ネコをうっかり外に逃がした(または意図的に外に出した)ことはありますか。

(有効標本数:神ネコ69,西ネコ13)

1. ある 神戸(ネコ50.7)
 西宮(ネコ69.2)
 2. ない(問10へ) 神戸(ネコ49.3)
 西宮(ネコ30.8)

問9-1.「前問であると答えた方へ」それはどれくらい経ってからですか。

(有効標本数:神ネコ35,西ネコ9)

1. 譲り受けた後3週間以内 神戸(ネコ20.0)
 西宮(ネコ33.3)
 2. 3週間から1ヵ月半までの間 神戸(ネコ22.9)
 西宮(ネコ44.4)
 3. 1ヵ月半から3ヵ月の間 神戸(ネコ14.2)
 西宮(ネコ22.2)
 4. 3ヵ月以上経ってから 神戸(ネコ42.9)
 西宮(ネコ11.1)

問9-2. ネコはいつごろ帰ってきましたか。

(有効標本数：神ネコ35, 西ネコ9)

1. その日のうち	神戸(ネコ88.6)
	西宮(ネコ88.9)
2. 2日から1週間以内に	神戸(ネコ 2.8)
	西宮(ネコ 0.0)
3. 1週間以後から3週間の間に	神戸(ネコ 0.0)
	西宮(ネコ 0.0)
4. 4週間から3ヵ月の間に	神戸(ネコ 0.0)
	西宮(ネコ 0.0)
5. 3ヵ月以上たってから	神戸(ネコ 0.0)
	西宮(ネコ 0.0)
6. 帰ってこなかった	神戸(ネコ 8.6)
	西宮(ネコ11.1)

〔前の飼い主との交流について〕

問10. 前の飼い主との交流はありますか。

(有効標本数：神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13)

1. ある	神戸(イヌ 2.9, ネコ 0.0)
	西宮(イヌ60.0, ネコ61.5)
2. ない(問11へ)	神戸(イヌ95.1, ネコ98.6, ネコ不詳1=1.4%)
	西宮(イヌ40.0, ネコ38.5)

問10-1. 「前問であると答えた方へ」それはどのような交流ですか。

(有効標本数：神イヌ9, 神ネコ0, 西イヌ24, 西ネコ8)

1. ときどき、動物に会いにくる	神戸(イヌ44.4, ネコ -)
	西宮(イヌ16.7, ネコ -)
2. ときどき、電話で飼い方などの相談をしている	神戸(イヌ 0.0, ネコ -)
	西宮(イヌ54.2, ネコ -)
3. 手紙やはがきなどで近況を報告をしている	神戸(イヌ 0.0, ネコ -)
	西宮(イヌ50.0, ネコ -)
4. その他	神戸(イヌ55.6, ネコ -)
	西宮(イヌ 8.3, ネコ -)

問10-2. その時、動物はどんな反応をしますか。

(有効標本数：神イヌ9, 神ネコ0, 西イヌ4, 西ネコ1)★西宮イヌに一部複数回答あり

1. とても喜んでいる	神戸(イヌ77.8, ネコ 0.0)
	西宮(イヌ75.0, ネコ 0.0)

2. 他人に示す反応と同じ反応を示す	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
3. 無視している	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ100)
4. その他(具体的に)	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ50.0, ネコ 0.0) 神戸(イヌ22.2, ネコ 0.0)
5. 不詳	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)

問10-3. その後のあなた(里親)に対する反応はどうですか。

(有効標本数：神イヌ9, 神ネコ0, 西イヌ4, 西ネコ1)

1. 少し「よそよそしい」ような反応を示す	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
2. 会う前より、里親の命令に従わないことがある	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
3. 会う前とほとんど変わらない	神戸(イヌ77.8, ネコ 0.0) 西宮(イヌ100, ネコ100)
4. 会った後のほうがかえってよくなつく	神戸(イヌ 0.0, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)
5. 不詳	神戸(イヌ22.2, ネコ 0.0) 西宮(イヌ 0.0, ネコ 0.0)

〔譲渡動物の震災の後遺症について〕

問11. 譲り受けた動物に、震災の後遺症と思われるようなことが、なにかありますか。

(有効標本数：神イヌ307, 神ネコ69, 西イヌ40, 西ネコ13)

1. ある(あった)	神戸(イヌ57.0, ネコ39.1) 西宮(イヌ37.5, ネコ76.9)
2. とくにない(とくになかった)(問12へ)	神戸(イヌ32.2, ネコ46.4) 西宮(イヌ22.5, ネコ23.1)
3. わからない	神戸(イヌ10.1, ネコ13.0) 西宮(イヌ20.0, ネコ 0.0)

問11-1. 前問で1と答えた方へ! それはどのようなことですか。

(有効標本数：神イヌ175, 神ネコ28, 西イヌ23, 西ネコ10)

1. 発作もちである	神戸(イヌ 1.7, ネコ 3.5) 西宮(イヌ 4.3, ネコ 0.0)
2. ちょっとした外界の変化(刺激)におどろく	神戸(イヌ57.8, ネコ60.7)

	西宮(イヌ43.5, ネコ60.0)
3. ひとりぼっちになることを嫌がる	神戸(イヌ25.7, ネコ14.2)
	西宮(イヌ26.0, ネコ20.0)
4. その他(具体的に)	神戸(イヌ52.0, ネコ35.7)
	西宮(イヌ43.5, ネコ40.0)

【ご意見やご感想について】

問12. 被災動物の里親になって、感じたことやご意見など、ご自由にお書きください。

●問12のまとめ 《調査票に記述された内容を大まかに分類して記載した。》

1. 感謝の感想(同様な意見が196件あった)以下は主な内容の抜粋。

- 被災動物という意識はあまりない。長男がよく世話をしているのでよかったと思う。今まですごくきれい好きの子が今ではフンの始末もしているので、びっくりしている。散歩にも行くので、健康的になった。
- 初めて救護センターを知り、イヌを飼うことになったが、おかげで動物を飼うことの大切さや喜びを知ることができた。いつまでも地震の記憶を心に留め、これからも家族の一員として大切に飼いたいと思う。
- 成熟動物であっても、性格や能力が新しい飼い主に適当であれば、途中飼育もできると思う。今回の譲渡活動を通して、動物を愛する心を学ぶことができた。

2. 困ったことについて(同様意見15件)

- 以前の飼い主がどのように飼育していたか、飼い主の過去のデータがほしい。家に来てわが家の一員になっているが、もっとこちらの言うことを聞かせるようにしたい。成犬では、どうしてもお互いにわかりあえるまで辛抱しなくてはならないので、対応マニュアルがほしい。
- 以前の飼い主との交流がないので、どのようにしてやれば喜んでくれるのかわからず、戸惑うことが多くあった。できることならば、ときどきは前の飼い主との面会をしてもらってもよいのではないかと思う。
- 何らかのかたちで役に立てればと思ったが、好みのイヌがいなかった。大型犬は世話が大変だから。

3. 悲しかった感想(同様意見12件)

- 被災後自宅の近くをウロウロしていたイヌをセンターに連れていったが、譲渡活動の際に他の人にはなつかなかったので、連れて帰った。
- 里親になるのは難しい。理想と現実のギャップが大きかった。
- できればもっと引き取ってあげたかったが、飼ってあげられる状態ではなかったので残念だった。

4. 飼った動機について(同様意見7件)

- 地震の時に死んでしまったのが白いイヌだったので、はじめから白いイヌをもらおうと決めていた。
- 最初は人間の子供の里親になることを考えたが、金銭的に無理なので、せめてイヌだけでも助けてあげたいと思った。

5. 現在の動物の状況について(同様意見10件)

- 家族以外には攻撃的な態度をとるか、かんでもせいぜい歯を当てる程度で、本気ではかまない。玄関の外を通る犬にほえる時がある。廊下もテリトリーだと思っているのかもしれない。
- 感じやすい年齢だったのか、ショックをすごく覚えている。地震の時間になると目を覚ましてなきだす。また、スーパーの袋の音をきくと異常に怯む。

6. 譲渡活動への意見(同様意見29件)

- 日常から動物の安全を確保したり、飼い主教育を充実していただければ、とっきの災害にも適切な対処ができるのではないかと。
- 被災後の精神的な後遺症を治してあげたいので、そういったカウンセリングを受けられるような専門的な機関がほしい。
- 皆が理解して、もっと被災動物を引き取って、なんとかして残っている動物にも引き取り手が現れることを望んでいる。募金などにも協力したいと思う。

＜この資料は「調査票の記入上の注意と解説」の主な内容を抜粋したものです＞

調査票の記入上の注意

※この調査は「人と動物の関係」や動物の行動に関する調査ですから、里親の感想や意見と、動物の行動を正確に調べる必要があります。しかしながら、里親の意見は聞けますが、調査員が動物の行動を直接継続的に観察することはできません。

したがって、動物の行動に関しては、里親の飼い主としての資質は個々に異なるであろうことを承知の上で、里親の日頃の観察を尊重して聞き取る、ということになります。

そこで、調査員としては、質問の内容や意図を忠実に伝え、そこから得られた回答を正確に聞き取り、自分の意見や考えを差しはさまないで記録することが大切です。

※各設問の回答が「その他」の場合は、その内容を必ず記入して下さい。

●フェイスシート(基本項目)について

(1) 譲渡動物について

※イヌ、ネコのいずれかに○をつけます。品種(犬種、猫種)名では雑種は雑種と書きます。名前はふだん呼んでいる愛称のことです。

※年齢ははっきりわかっている場合は上段に、推定の場合は下段に記入します。

1歳未満のイヌ・ネコの場合は、できるだけ月齢で記入して下さい。また年齢がはっきりしない場合は「成犬」「老犬」などと記録しても構いません。この際の基準としては概ね以下のような年齢区分で記入して下さい。

1歳未満→幼若犬(猫) 1歳～5歳→成犬(猫) 1 6歳～10歳→成犬(猫) 2
11歳以上→老齢犬(猫)

(2) 譲渡動物以外に飼っている動物について

※まず、いる、いないに○をつけ、いる場合はイヌかネコかを明確に○で囲みます。

※そして頭数や各個体の年齢、性別、不妊去勢の有無、お互いの血縁関係など、必ず記入して下さい。

●調査項目について

問3について

※譲り受けた日からかなり時間が経っているので、まず「飼う上で困ったと思われたことなんですが、この中(3-1)に該当する項目はありますか」と聞いて、調査票を見せるなり、項目を読み上げ、内容を理解してもらってから、その前の問3を聞くようにして下さい。

問3-1も複数回答です。該当する番号に○をつけたら、その具体的な内容や経過、日時、飼い主がとった工夫、うまくいくようになるまでの日数などを、できるだけ詳しく、聞き書きして下さい。

問4について

- ※回答が、2,3,4 の場合は、その時期と理由(または原因など)を聞いて下さい。
- ※また、その時期が引き取ってから3ヵ月以後または6ヵ月以後であれば、その間までの問4-1に該当する時期の飼い主と動物の関係欄には○をつけて下さい。
- ※引き取り日が、昨年7月以前の方はすべて、譲渡後7ヵ月以上たっています。
- ※問4-1は、なれているかどうかの回答では、どういうことからそう思うか聞いて下さい。その際、イヌ、ネコの身体をどの程度自由に触ったり、ボディ・コントロールできるかどうか重要です。

問5について

- ※該当する項目に○をつけたら、その時の様子をできるだけ詳しく聞いて下さい。
- 例えば、2. は、どれくらいあったら、食べるようになったか。何を食べさせたか。
- 3. なら、どれくらいしたら、排泄をしたか。どこでしたか。その後の排泄の様子はどうだったかなど。
- 4. は、ふるえはいつ、どのような状況でなくなったか。
- 5. は、どれくらいないていたか。とくにどんなとき、よくないたか、など。
- ※これらに対し、飼い主や家族がどう対応したかを、聞いて下さい。
- ※また最初のころは、どこでどのように飼っていたかの状況も聞いて下さい。

問6について

- これは強い緊張や不安などが、体調に及ぼした影響を調べるものです。
- ※ 4, 8 以外のネガティブな状況については、そのときの様子やどれくらい続いたかを聞き取って下さい。
- ※またそれに対し、里親や家族がどう対応したかも、合わせて聞き書きします。

Q1,2,3について

- これらは、先住動物と譲渡動物(新参動物)とを、いつ、どこで、どのようにして、引き合わせたかについての設問です。
- ※集計処理上、大雑把な回答の中から選択できるように設計していますので、個々の「具体的内容」をできるだけ詳しく聞いて下さい。
- ※「具体的内容」とは、動物同士の反応や様子、また飼い主の対応のことです。
- ※聞き書きではどちらの動物が、どんな反応を、どれだけの期間(日数)示したか。またその行動は、どうしたら、どのように変化したか、しなかったか。などをポイントにして下さい。

Q4,5について

- イヌおよびネコの考えられる個々の反応や社会的行動については、調査票の作成段階で20~30の事例を挙げて検討しましたが、関連する事例をできるだけしほり、8項目の選択肢にしてあります。

※したがって、食餌量の増減、排泄行動の変化、しつけや習慣の変化、マーキング行動の変化、飼い主への行動の変化、普段の居場所の変化などを、飼い主が記憶している範囲内で具体的に聞いて下さい。

※社会関係については、

お互いの個体間の距離(親しくなるほど近く=短くなる)の変化。食餌の場所はどこか。ネコの場合、一緒に食器で食べ合うか。食餌の順番はどうか。一緒に遊ぶか。毛づくろいをし合うか。寝るときはどのようにしているか。お互いの優位劣位の関係はどうか。威嚇をしたりケンカをするか。するとすれば、どこでどんなときするかなど。

※また、このような行動の変化がいつごろから起こったかを記録して下さい。

※もう一つ大事なことは、飼い主がそれにどう対応したかも聞き取ります。

Q6について

※該当する項目が4の場合、いつ譲渡したか聞き、かっこ内に記入して下さい。

問7,8について

※(1)(2)以外は事前に「調査依頼状」でお知らせしてある項目です。

参考：動物を引き取られてから、かなり時間的に経過しており、調査内容の中にはお訪ねして、すぐ回答が頂けないこともあると思われますので、あらかじめ動物を引き取られた日を下記のカレンダーに印をつけ、お知らせいたします。

また、大変恐縮ですが、次のような行動や反応を示すようになったのはいつ頃か、事前にご家族で確認されたり、記憶をたどっておいていただけたら、幸いです。

<調査依頼状より抜粋>

※イヌの場合は、飼い始めてから馴じむまでの行動を、ほぼ順番に質問しています。

※イヌの吠え声(なき声)について、

しばしば小型犬に多く見られるように、自分の要求を人に伝えるために吠える場合となわばり意識の発達で見知らぬ人への警戒や注意から吠える場合とは、分けておく必要があります。

しかし、小型の愛玩犬の場合は、わかりにくい場合があると思いますので、どうしても両者を区別できない場合は、無理に判断せず「不明」とします。ただし、どんなとき吠えるのか、記録しておいて下さい。

問9について

※一応ネコの場合、譲渡の際に室内で飼うよう指導して渡してあるので、このような聞き方をしていますが、該当者にはできるだけ、そのときの様子やネコの行動をよく聞いて下さい。

※とくに、問9-1,9-2では、時期を具体的に聞いて下さい。

問11-1について

※回答肢は獣医学的な知見と前回調査の結果を参考に作成していますが、どんなとき、そうなのか、具体的に聞いて下さい。

あ と が き

今回の調査に先立ち、平成7年1月17日に発生した兵庫県南部地震から一月後の2月17日より(社)日本愛玩動物協会では、兵庫県南部地震動物救援本部、兵庫県保健環境部のご協力を得て、「避難所における被災動物の状況及び飼い主等の対応に関する調査」を、震災のショックと精神的なダメージを受けた人々の中に入って飼い主の協力を得ながら調査を遂行し、その結果は、早くも同年3月に公表いたしました。新聞・テレビにも報道され、その後の救援活動にも役立つことができたと考えております。

今回の「譲渡動物の行動と里親の対応調査」は、地震後の動物救援活動として実施されていたイヌ及びネコの譲渡活動について、昨年6月に当協会で調査の実施を決定し、兵庫県南部地震動物救援本部、西宮保健所及び調査関係者の協力を得ながら、それ以来実に7ヵ月を要して企画及び調査の実施準備を進めてきたものです。

動物の行動は、里親の観察を通して行う面接調査であり、調査員には、相応の知識と客観性を要します。当協会では、幸い適正な飼養・管理に関する指導員として「愛玩動物飼養管理士」を育成しており、前回同様、阪神在住の「愛玩動物飼養管理士」を調査員としてお願いし、42名がボランティアとして参加しました。彼らの知識と情熱が、回収率と記入の精度をあげ、精密なフィールドワークを成功させたといえましょう。

これら一連の調査は、つねに陣頭指揮にあたった当協会理事である尾崎敬承氏のたゆまざる熱意と識見なしには、成しえなかったといっても過言ではありません。また、同氏を含め調査委員会のメンバーである武富和夫氏、新妻昭夫氏、西村尚一氏の努力によって、この報告書が作成されたことを感謝いたします。また、飼養調査については、動物研究家の根岸延之氏をお訪ねして、適切なお教示をいただきました。

新しい飼い主に対するなれ具合も、譲渡後3ヵ月では、子イヌ、子ネコとも9割であったのに対し、成犬、成猫とも8割とこれに迫る高率であり、新しい環境への対応も里親との絆の形成においても、予想を遥かに上回るものでした。

今後、成熟動物の譲渡においても、里親が増えていくことを期待し、また、本調査結果の研究が進み、これから里親になる方々に譲渡後の適正な飼養方法が伝わっていくことを願ってやみません。

平成8年10月

社団法人日本愛玩動物協会

理事長 尾 上 多 喜 雄

●調査スタッフの構成

調査委員会

委員長 尾 上 多喜雄(理事長)
 武 京 和 夫(理事・獣医師)
 新 妻 肇 夫(理学博士・動物行動学)
 西 村 尚 一(常任理事)
 尾 崎 敬 承(理事)

調査員

寒 章 子(京大津市)	中 川 豊 介(大阪市)	西 村 多賀子(尼崎市)
岡 本 仁(彦根市)	横 川 利 於(堺市)	那 須 美白紀(枚方市)
藤 山 ちよ(大阪市)	河 田 千賀子(酒宮市)	村 田 博 美(宝塚市)
羽 尾 恵恵子(大阪市)	田 中 さなえ(亀岡市)	大 村 京 子(大阪市)
古 谷 佳 世(大阪市)	高 橋 佳寿子(三田市)	
富 永 智 子(神戸市)	大 橋 龍 一(明石市)	大 橋 由喜枝(明石市)
三 野 美 保(大阪市)	有 口 順 子(加古川市)	
楠 葉 真 理(豊中市)	日比野 一 恵(高槻市)	
太 田 甲 子(三田市)	大 槻 千 里(福知山市)	福 伝 芳 子(加古川市)
三 原 加寿子(堺市)	日 中 総 江(京都市)	
田 原 ひとみ(京都市)	河 原 尚 美(宇治市)	遠 部 山 香(京都市)
川 入 美穂子(大阪市)	西 田 千 穂(和泉市)	豊 島 緑 (岸和田市)
勝 田 千恵美(酒宮市)	河 波 智佳子(尼崎市)	朝 丘 幸 子(大阪市)
吉 田 明 子(大阪市)	澤 田 徳 枝(大阪市)	村 江 秀 子(岸原市)
掛 布 博 子(江南市)	菊 池 亜矢子(東京)	川 野 かおる(福岡)
<集計>		
日比野 達 郎(東京)	中 尾 三 枝(東京)	飯 田 亜紀子(東京)
菊 池 亜矢子(東京)	木 村 幸 一(東京)	

●協力

兵庫県南部地震動物救援本部
 兵庫県西宮保健所

報告書発行日 平成8年10月

社団法人 日本愛玩動物協会

〒162 東京都新宿区神楽坂3-6 近藤ビル2F

☎03-3235-7855代 Fax03-3235-7880